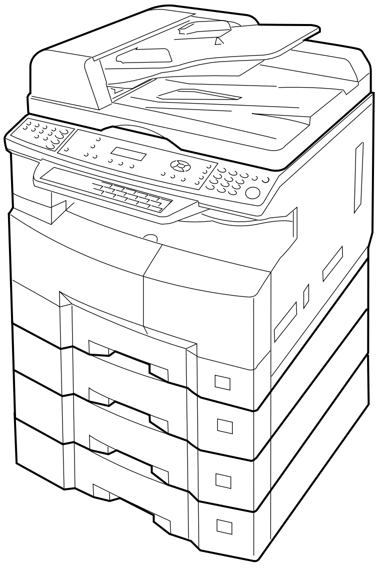


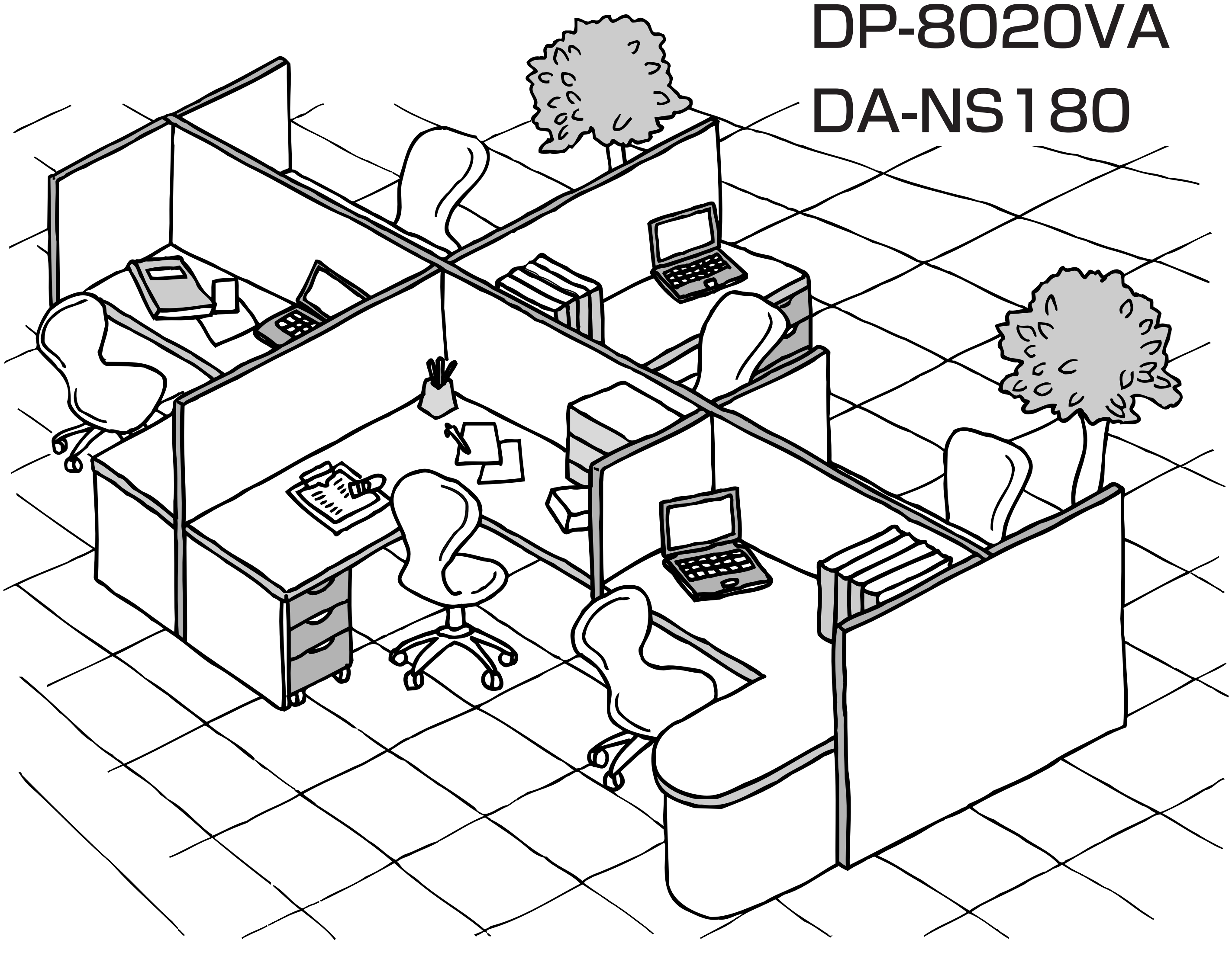
Panasonic®

# 取扱説明書

## （本体管理／コピー／ネットワークスキャナー編）

## デジタル複合機

品番 DP-8020P
DP-8020VA
DA-NS180



WORKIO™

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ **ご使用前に「安全上のご注意」（10～14ページ）を必ずお読みください。**
■ この取扱説明書は大切に保管してください。

●イラストはオプションを装着した例です。

# はじめに

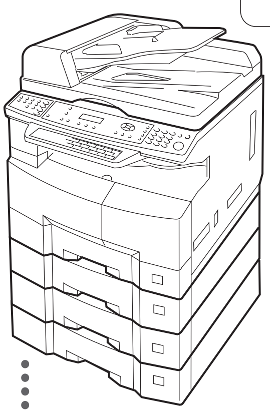
## オフィスにピッタリ、1 台 5 役＋αです

### コピー機として

・ コピーサイズ ：はがき～A3
原稿サイズ ：はがき～A3
・ 写真原稿から文字原稿まで、原稿の種類に応じたコピーができます。

### ネットワークプリンターとして

・ オフィス内ネットワークの共有プリンター（600/300dpi）として使用できます。

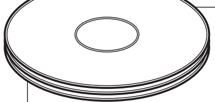


### ファクス機／インターネットFAX／Eメール機として

・ G3通信（ファクス）機として使用できます。（DP-8020VA）
・ インターネットFAX/Eメールユニットを利用して、インターネットFAX/Eメール機能が使用できます。

### ネットワークスキャナーとして

・ ネットワークスキャナーユニットを利用して、モノクロネットワークイメージスキャナーとして使用できます。



### アプリケーションソフト

・ 装置設定、Device Monitor、Document Management Systemなどの機能を標準ソフトウェアとして添付しております。このソフトウェアにより、上記の機能を更に便利にご使用いただけます。

● DP-8020 は、P/VA の 2 タイプがあります。
タイプごとの機能は下記の通りです。本文中では、必要なときのみタイプ名を表記します。

| 機能 | P | VA |
|---|---|---|
| コピー | 標準 | 標準 |
| プリンター | 標準 | 標準 |
| ファクス | 不可 | 標準 |
| インターネット FAX/E メール | オプション | 標準 |
| ネットワークスキャナー | オプション | 標準 |

## 取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、〈本体管理／コピー／ネットワークスキャナー編〉と〈ファクス／インターネット FAX ／ E メール編〉をそれぞれ印刷物、ソフトウェアの各編を別添付の CD にて提供しております。

**本体管理／コピー／ネットワークスキャナー編〈本書〉**
本機の共通操作（用紙／トナー補給、紙づまり処置方法、各種ファンクション設定など）とコピーやネットワークスキャナーの操作について説明しています。

**ファクス／インターネット FAX ／ E メール編〈DP-8020VA：別添付〉〈DP-8020P：右記オプションに添付〉**
ファクス機能（DP-8020VA のみ）、インターネット FAX 機能や E メール機能の使いかたについて説明しています。
・インターネット FAX/E メールユニット（オプション）

**ソフトウェアの各編（CD）**
プリンター、アドレス帳、装置設定、Device Monitor、Document Management System 機能の使いかたや、困ったときの対処方法などを検索が便利な CD で説明しています。

**お知らせ**
● CD 内の各取扱説明書をご覧になるには、Adobe® Reader® が必要です。

# 本取扱説明書の概要

■操作目的別に本書の概要を記載しています。


**お使いになる前に**

- 各部のなまえとはたらき（☞ 20 ～ 26 ページ）
- 設置について（☞ 27 ～ 35 ページ）
- 文字入力（☞ 36、37 ページ）
- 原稿のセット（☞ 38 ～ 41 ページ）

**コピー**

- 基本操作（☞ 42 ～ 45 ページ）
- コピーの便利な機能（☞ 46 ～ 67 ページ）
- コピー動作組み合わせ表（☞ 68 ページ）

**ネットワークスキャナー**

- ネットワークスキャナー機能について（☞ 70 ～ 79 ページ）

**ファンクション設定モード**

本機各機能の初期設定値の変更方法

- コピー、プリンター、スキャナー機能について、一般用、キーオペレーター専用それぞれの設定内容（☞ 80 ～ 90 ページ）
- ファクス／ E メール機能については、別添付の取扱説明書（ファクス／インターネット FAX ／ E メール編）を参照してください。

**印刷ができないとき／異常と思われるとき**

- 異常／エラー表示一覧（☞ 91 ページ）
- 用紙がないとき（☞ 92、93 ページ）
- トナーがないとき（☞ 94、95 ページ）
- 紙づまりのとき（☞ 96 ～ 99 ページ）
- 電池交換／日付・時刻表示の調整が必要なとき（☞ 100、101 ページ）
- 異常と思われるとき（☞ 102、103 ページ）
- 用紙、封筒について（☞ 104 ～ 106 ページ）
- 日常のお手入れ（☞ 107 ページ）

**ご参考に**

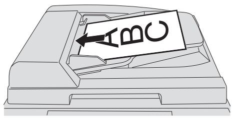
- 仕様、アフターサービス、オプションと消耗品について（☞ 108 ～ 112 ページ）
- 索引（☞ 113 ～ 115 ページ）



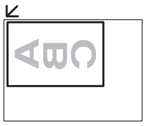
本書の説明は Microsoft® Windows® 2000 日本語版、Microsoft® Windows® XP 日本語版 、Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版および Microsoft® Windows Vista® 日本語版を前提として表記しています。
Microsoft 、Windows 、Windows Server 、Windows Vista は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
PEERLESSPAGE™ および PEERLESSPrint®、Memory Reduction Technology® は、PEERLESS Systems Corporation の商標または登録商標です。
PCL は、米国ヒューレット・パッカード社およびその子会社の商標または登録商標です。
Adobe、Reader はアドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
Universal Font Scaling Technology (UFST) およびすべての書体は、Monotype Imaging 社保有のフォントです。
日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイル Wnn を使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE,Co. Ltd.1999 All Right Reserved.
その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

# アイコン、イラスト説明

各アイコン、イラストの説明

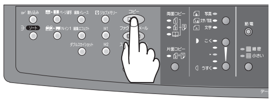


ADF に原稿をセットする

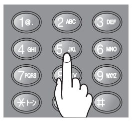


原稿台ガラスへ原稿をセットする

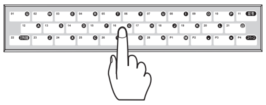
コントロールパネル上のキーを押す



キーを押す



数字、番号を入力する



キーボードから入力または指定する

次の手順へ進む

次の手順へ進む
（次の行、または前のページ）

**お知らせ**

- 本文中のコントロールパネルのイラストでは、キーボードを省略して記載している場合があります。
- 本文中の本体のイラストでは、第 2 給紙ユニットまたは第 2/ 3/ 4給紙ユニットを装着した例で記載している場合があります。
- 本書では郵便事業株式会社（日本郵政）製のはがきを官製はがきと記載しています。

メ　モ

# もくじ


**はじめに ........ 2**

オフィスにピッタリ、1 台 5 役+αです ........ 2

取扱説明書の構成 ........ 2

**本取扱説明書の概要 ........ 3**

**アイコン、イラスト説明 ........ 4**

**安全上のご注意 ........ 10**

**取扱上のお願い ........ 15**


## お使いになる前に


**お使いになる前に ........ 18**

- ■ 本機の節電機能を設定したいとき ........ 18
- ■ 暗証番号（ユーザーコード）入力メッセージが表示されるとき ........ 18
- ■ キーオペレーター専用のパスワードを設定したいとき ........ 19
- ■ 電源スイッチを切るとき（オプションのハードディスクユニット装着時） ........ 19
- ■ 最大コピー部数制限について ........ 19
- ■ 連続コピースピード低下について ........ 19
- ■ 除湿ヒーターに関するお願い ........ 19

各部のなまえとはたらき ........ 20

- ■ コントロールパネル（操作キー） ........ 24
- ■ コントロールパネル（液晶ディスプレイ／ランプ表示） ........ 26

機器の設置および設定をする ........ 27

回線種別を設定する（DP-8020VA） ........ 28

- ■ 概要 ........ 28
- ■ 回線種別を見分ける ........ 28
- ■ 回線種別を設定する ........ 29

用紙をセットする ........ 30

- ■ 給紙カセットにセットする ........ 30
- ■ 手差しトレイにセットする ........ 31
- ■ 給紙カセットの用紙サイズを変更する ........ 32

日付･時刻を合わせ、自局登録をする（DP-8020VA） ........ 34

- ■ 概要 ........ 34
- ■ 日付・時刻の合わせかた、自局登録のしかた ........ 34

文字入力のしかた ........ 36

- ■ キーボードの入力モードの切り替え ........ 36
- ■ カタカナの入力のしかた（キーボード） ........ 36
- ■ 英字の入力のしかた（キーボード） ........ 37
- ■ 数字・＊・♯の入力のしかた（テンキー） ........ 37
- ■ 数字・記号の入力のしかた（キーボード） ........ 37
- ■ スペースの入れかた ........ 37
- ■ 文字の修正のしかた ........ 37

原稿をセットする ... 38
■ 概要 ... 38
■ ADF に原稿をセットする ... 38
■ 原稿台ガラスに原稿をセットする ... 40
■ こんな原稿のときは ... 41
■ 原稿の読取範囲について ... 41

## コピー編

基本モード ... 42
基本操作 ... 42
■ 基本手順 ... 42
■ 原稿サイズと同じサイズでコピーしたいとき ... 44
■ 固定または任意倍率でコピーしたいとき ... 44
便利な機能 ... 46
片面原稿を両面コピー、両面原稿を両面 / 片面コピーしたいとき ... 46
■ 1 ➡ 2 ... 46
■ 2 ➡ 2、2 ➡ 1（DP-8020VA） ... 46
両面原稿を両面または片面でコピーしたいとき ... 48
■ 2 ➡ 2、2 ➡ 1（DP-8020P と ADF） ... 48
ブック原稿を両面でコピーしたいとき ... 50
■ ブック ➡ 両面 ... 50
2 枚／ 4 枚の片面原稿を 1 枚の片面にコピーしたいとき ... 52
■ N イン 1 ... 52
ブック原稿をページごとにコピー、両面原稿を片面に並べてコピーしたいとき ... 54
■ ページ連写 ... 54
■ ダブルスカイショット ... 54
コピーの端、周囲、中央に余白を付けたいとき ... 56
■ 編集イレース（とじ代／エッジ） ... 56
■ 編集イレース（ブック） ... 56
用紙の中央にコピー、イメージを並べてコピー、コピーを自動丁合したいとき ... 58
■ 編集エフェクト（センタリング／イメージリピート） ... 58
■ ソート ... 58
ADF を開けたままコピーしたいとき ... 60
■ スカイショットモード ... 60
■ 伝票モード ... 60
薄い原稿を ADF より連続コピー、次のコピーを予約したいとき ... 62
■ SADF モード ... 62
■ コンカレントコピー ... 62
コピー中に割り込んで他のコピーをしたいとき、節電機能を設定したいとき ... 64
■ 割り込みモード ... 64
■ 節電（セツデンモード、スリープ／シャットダウンモード） ... 64
■ ジョブメモリー ... 64

コピーの終了をコンピューターに通知したいとき 66
■ 終了通知 66
コピー動作組み合わせ表 68
便利なオプション 69
システム構成 69
■ オプション 69

## ネットワークスキャナー編

ネットワークスキャナー編 70
ネットワークスキャナーを設定したいとき 70
■ 本機に表示させるパソコン名を登録する 70
■ 本機で登録内容を確認する 70
イメージを取り込みたいとき 72
■ 読み取りとパソコンへのイメージデータ転送 72
パソコンから本機にパソコン名の登録ができないとき 74
■ パソコンから本機にパソコン名の登録ができないとき 74
● 上記手順で本機に直接登録したパソコン名を変更・削除したいとき 74
読み取り・転送データ形式などを設定したいとき 76
■ スキャナーパラメーター 76
■ セレクトモード 76
ネットワークを経由しないで直接パソコンに取り込みたいとき 78
■ ダイレクト接続 78

## 本体管理編

ファンクション設定モード 80
概要 / 基本設定手順 80
■ 概要 80
■ 基本設定手順 80
■ 共通機能（一般用） 82
■ 共通機能（キーオペレーター専用） 82
■ コピー機能（一般用） 85
■ コピー機能（キーオペレーター専用） 86
■ プリンター機能（一般用） 87
■ プリンター機能（キーオペレーター専用） 88
■ スキャナー機能（スキャナーパラメーター） 88
設定のしかた（例） 89
■ ネットワークの設定をしたいとき 89
■ 部門カウンター管理機能を設定したいとき 90

## 困ったときには

印刷ができないとき／異常と思われるとき 91

異常／エラー表示一覧 ........ 91
■「U##」エラーコード ........ 91
■「J##」エラーコード ........ 91
用紙がないとき ........ 92
■ 給紙カセット ........ 92
■ 手差しトレイ ........ 92
トナーがないとき ........ 94
■ トナーボトル／廃トナーボックスを交換する ........ 94
紙づまりのとき ........ 96
■ 紙づまりを取り除く（排紙部）（J46） ........ 96
■ 紙づまりを取り除く（搬送部、定着部）（J01, J30, J31, J33, J45, J48, J95） ........ 96
■ 紙づまりを取り除く（オプション：第 2/3/4 段目給紙カセット部）（J02, J03, J04, J07, J08, J09, J12, J13, J14, J22, J23, J24） ........ 96
■ 紙づまりを取り除く（ADF：オプション）（J70, J71, J79, J92, J93） ........ 98
■ 紙づまりを取り除く（i-ADF：DP-8020VA は標準装備、DP-8020P はオプション）（J70, J71, J72, J73, J76, J78, J79, J92, J93） ........ 98
■ 紙づまりを取り除く（J19, J32, J82, J85, J87：自動両面部） ........ 98
電池交換／日付・時刻表示の調整が必要なとき ........ 100
異常と思われるとき ........ 102
用紙について ........ 104
■ 用紙についてのお願い ........ 104
■ 用紙重量・容量について ........ 105
■ OHP・ラベル紙について ........ 105
■ 封筒について ........ 106
日常のお手入れ ........ 107
■ 本体のお手入れ ........ 107
■ 読取部のお手入れ ........ 107
■ 自動給紙圧の調整（ADF：DA-AS181 のみ） ........ 107

## ご参考に

**ご参考に ........ 108**
仕　様 ........ 108
■ 本体部 ........ 108
■ ADF（DA-AS181）／ i-ADF（DA-AR202）（DP-8020VA：標準装備） ........ 109
■ ネットワークスキャナーユニット（DA-NS180）（DP-8020VA：標準装備） ........ 109
■ 2/3/4 段目増設給紙ユニット（DA-DS190/DS191/DS192）（オプション） ........ 109
オプションと消耗品 ........ 110
■ オプション ........ 110
■ 消耗品 ........ 110
**アフターサービスについて ........ 112**
**索引 ........ 113**

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠ 注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

| | |
|---|---|
| ⚠ | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
| ⊘ | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

■本体・オプションの取り扱いについて

## ⚠ 警告

### ■定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

### ■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

● ぬれた手をよくふいて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

### ■同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

# ⚠ 警告

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

〔傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。〕

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● 電源コードや電源プラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■ 本機（オプションを含む）を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

● 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

■ シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

禁止

ガソリンなどが発火し火災をおこす原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

# 安全上のご注意 必ずお守りください

## ⚠ 警告

### ■ 必ず、アース線接続を行う

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

アース線接続

● アース線接続ができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。

### ■ アース線接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行う。また、アース線接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行う

感電の原因になります。

### ■ アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、火災、感電の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

### ■ 済スタンプは乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

## ⚠ 注意

### ■ 床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

### ■ 本機のキャスター及びアジャスターは固定する

動いて、けがをする原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

### ■ 油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

# ⚠注意

## ■ 紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

- 紙づまりは確実に取り除いてください。

## ■ 高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

## ■ 鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

- 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

## ■ 動作中に光源ランプを直視しない

禁止

ランプの光により、目を傷める原因になることがあります。

## ■ 本機の通風孔をふさがない

禁止

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

## ■ 取扱説明書で指示がない部分は操作しない

禁止

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをする原因になることがあります。

- 内部をさわるときは、十分に注意してください。

## ■ 本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

## ■ 原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない

禁止

ガラスが割れてけがをする原因になることがあります。

- ガラスが割れたときは、電源プラグを抜いてサービス実施会社へご連絡ください。

## ■ エラー（E#-##）表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災、感電の原因になることがあります。

- （E#-##）は数字を確認（メモ）して、サービス実施会社へご連絡ください。

## ■ 電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

## ■ トナーまたはトナーの入った容器を火中に投げ入れない

禁止

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

## ■ トナーまたはトナーの入った容器を子供の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

# 安全上のご注意 必ずお守りください

■電池の取り扱いについて

## ⚠警告

### ■充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

### ■電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

### ■電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

### ■電池の⊕極と⊖極は正しく接続する

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

### ■電池に直接ハンダ付けをしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

### ■液が目に入ったら、すぐに洗い流す

目を傷める原因になります。

- こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

## ⚠注意

### ■直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

液もれ・発熱・破裂の原因になることがあります。

### ■電池は間違ったタイプに交換しない

禁止

破裂の原因になることがあります。

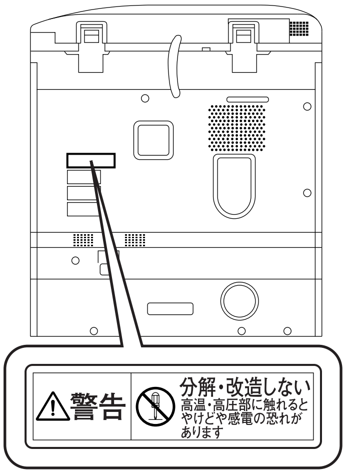
- 使用済の電池は、説明書に従って処分してください。

# 取扱上のお願い

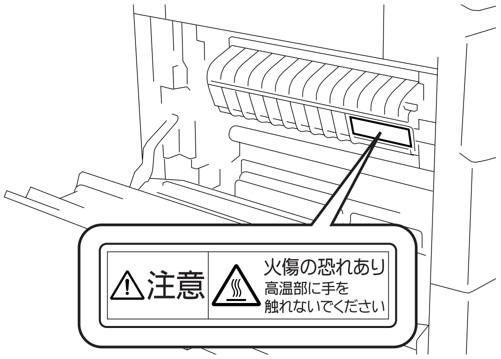
## 警告・注意ラベル

本機には、火災や感電、けがを未然に防ぐため注意を促す警告ラベル・注意ラベルを貼付しています。

● 背面




● 左側面（左カバー内）




● 原稿台ガラス部

## 設置場所

■ 次の様な場所への設置は避けてください。
- 高・低温、低・多湿な場所
（適用温度・湿度：10 ～ 30℃、30 ～ 80% RH）
- 温度変化の激しい場所
- 冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
- 加湿機の近く
- テレビ、ラジオなど電子機器の近く
- 直射日光のあたる場所
- ほこり、アンモニアガスが発生する場所
- シンナー、ガソリンなどの近く
- 換気の悪い場所
- 床、土台が不安定な場所、振動の激しい場所

■ 本機の右側面部、背面部は壁から 10cm 以上離してください。

## 換気について

本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

## 移動時

■ 本機の移動はサービス実施会社におまかせください。
- 転居の際は、サービス引継が必要です。
（事前にサービス実施会社にご相談ください。）

## 用紙・トナーに関するお願い

- 用紙、トナーは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
- 用紙は 60 ～ 90g/m$^2$（手差しでは 55 ～ 133g/m$^2$）の上質紙・再生紙が使用できます。できるだけ当社の推奨紙をお使いください。
- トナーの補給は、サービス実施会社にご連絡ください。
- 当社指定品、推奨品以外の用紙やトナーを使用されますと、コピー品質への悪影響および性能を損なう場合があります。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- トナー容器は分解・改造しないでください。
- 用紙づまりの処置やトナーの入った容器を交換するときは、トナーが飛び散らないようにしてください。トナーが目や口に入った場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。トナーで手や衣服が汚れた場合はすぐに水で洗い流してください。
- トナーまたはトナー容器の不適切な取り扱いにより、トナーが飛散した場合は、飛散個所から離れ、トナーの皮膚接触、吸引を避けてください。また、トナー飛散の処置については、サービス実施会社にご相談ください。
- トナーまたはトナーの入った容器は子供の手の届かないところに置いてください。

## 使用時

- 動作中に電源を切ったり、本体カバーなどを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。（紙づまりの原因になります。）
- 連休などで長期間本機をご使用にならないときは、不測の事態による火災を防ぐため、必ず電源プラグを抜いてください。

# その他

## ■ 電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## ■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの
①国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
②未使用の郵便切手、官製はがき
③政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類

●注意を要するもの
①株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

## ■ 電源高調波についてのお知らせ

**JIS C 61000-3-2 適合品**
本機は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## ■ ネットワーク設定についてのお願い

本機のネットワーク設定については、事前の予備知識が必要です。手順上で出てくる表示の意味が分からない方は、ネットワーク管理者へ設定をお願いしてください。ネットワーク管理者がおられないときは、サービス実施会社へご依頼ください。

## ■ 製品リサイクルについて

●使用済や不要となった製品は、回収して、環境保護、資源有効活用のためリサイクルしています。本機を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

●使用済や不要となった感光体ドラム、トナー容器、廃トナーボックスなどの消耗品は、回収して、環境保護、資源有効活用のため、適切な処理が必要です。消耗品を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

## ■ 物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOCの放散については、エコマークNo.117「複写機 Version 2.4」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております。DQ-KJ2-P、DQ-KJ5-P、DQ-KJ10-Pを使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ-122:2006の付録２に基づき試験を実施しました。）

# お使いになる前に

## ■本機の節電機能を設定したいとき

● 本機は、使用されないときに、消費電力を抑えることが可能な節電機能を装備しています。
使用状態に合わせ 3 種の節電機能が設定可能です。
現在の節電機能の設定確認と変更は、ファンクション設定モードの「セツデンモード」で行うことができます。（☞ 82 ページ）

<お願い>

節電機能が、「シャットダウン」になっていると下記の機能が動作いたしません。これらの機能をよくご使用になられる場合は、節電機能を初期設定（お買い上げ時）の「スリープ」のままにされていることをお勧めします。

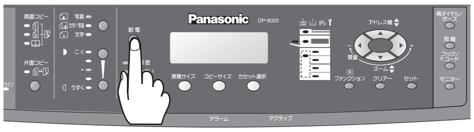
・プリンター機能（USB ローカル接続、ネットワーク接続の両方）
・インターネット FAX/E メール機能
・LAN ケーブルが接続されていないとき、ファクス受信ができないことがあります。

● 節電機能に入るとき

節電機能は、ファンクション設定モード（☞ 82 ページ）で設定した時間が経過すると自動的に設定したモードで動作します。ただし、設定モードの「ｾﾂﾃﾞﾝ」は、「節電」キーを押すことで、すぐにそのモードに入ります。

節電

● 節電機能を解除するとき



節電

「ｾﾂﾃﾞﾝ」モードの場合は、「節電」キー以外でも解除されます。

**お知らせ**

＊ ファクス機能装着モデル（DP-8020VA）は、節電機能の「シャットダウンモード」を設定しても、「シャットダウンモード」に移行せず、「セツデンモード」になります。もし、「シャットダウンモード」に移行させたいときは、システム登録の「96 NTT ﾌｧｸｼﾐﾘﾂｳｼﾝﾓｳ」を「1: ﾅｼ」に設定してください。（設定の手順は、取扱説明書「ファクス / インターネット FAX/E メール編」を参照してください。）

## ■暗証番号（ユーザーコード）入力メッセージが表示されるとき

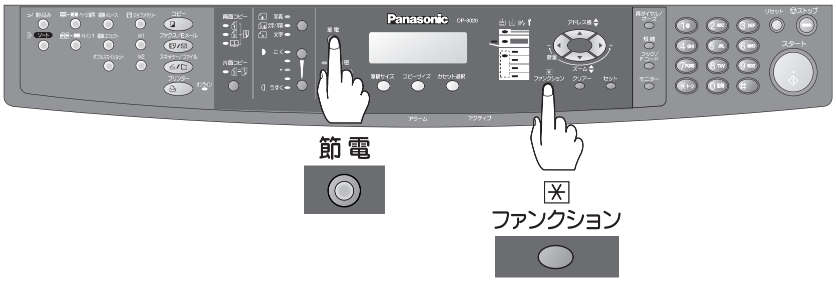
● 部門カウンター機能が設定されているときは、メッセージディスプレイに暗証番号（ユーザーコード）の入力用画面が表示されます。部門毎に設定された「暗証番号」を入力し、セットキーを押さないとコピー／ファクスの操作ができません。部門毎の暗証番号については、キーオペレーターにお問い合わせください。

## ■ キーオペレーター専用のパスワードを設定したいとき

● 本機の機能初期設定値は、「ファンクション設定モード」で確認や変更を行うことができます。
ただし、その中でキーオペレーター専用のパスワードが必要なものがあります。
キーオペレーターの方は、本機設置時にサービス実施会社と相談され決められた 3 桁のパスワードを必ず記録しておいてください。
もし、設置時にパスワードを決められていない場合は、サービス実施会社にご相談ください。

## ■ 電源スイッチを切るとき（オプションのハードディスクユニット装着時）

● 本機が節電モード（シャットダウン）に入っていないときに、そのまま電源スイッチの OFF・ON を行うと、レディ（準備完了）までに時間を要す場合があります。これは、ハードディスクユニットのエラーチェック動作のためです。エラーチェック動作を回避するためには、下記の手順で電源スイッチを OFF・ON してください。




1. 本機が節電モード（シャットダウン）に入っているかを確認する。
   ・シャットダウン時：
   そのまま電源スイッチを切る。
   ・それ以外の時：
   下記の手順に基づき、電源スイッチを切る。
2. 「ファンクション」キーを先に押したままで、「節電」キーを押す。しばらくし、節電キーのランプが点灯（シャットダウン）に変わったら、電源スイッチを切る。

## ■ 最大コピー部数制限について

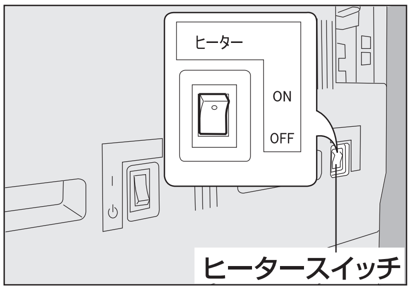
● コントロールパネルのディスプレイに「ﾌﾞﾓﾝﾍﾞﾂ ｻｲﾀﾞｲ ｺﾋﾟｰ ﾆ ﾀｯｼﾏｼﾀ」が表示されたときは、部門のコピー部数制限の上限に達したときです。部門管理者に問い合わせください。

## ■ 連続コピースピード低下について

● 大量コピー／プリント時や複数原稿のコピー時に、一時的にコピースピードが低下することがあります。これは、コピー画質を維持するための正常な動作です。

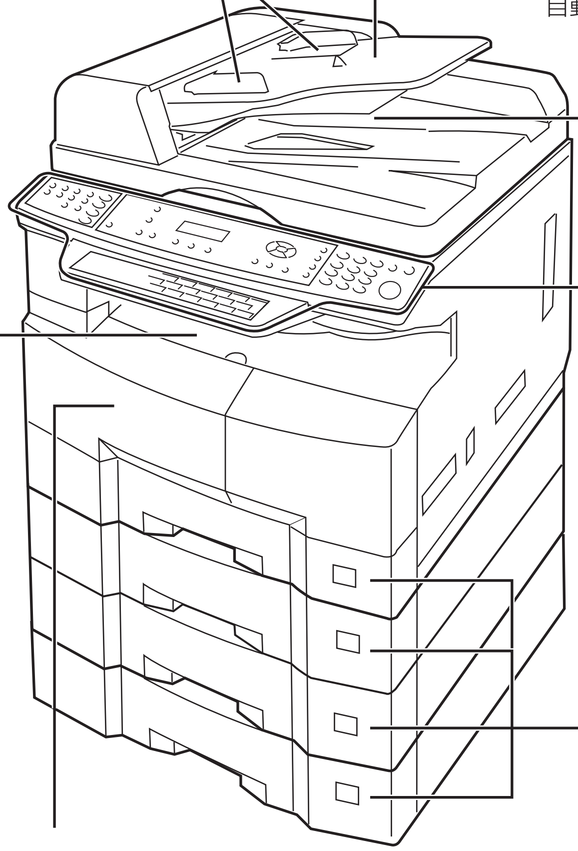
## ■ 除湿ヒーターに関するお願い

(1) 使用方法
　●使用する時は、ヒーターのスイッチを「ON」にしてください。
　●使用しない時は、ヒーターのスイッチを「OFF」にしてください。
(2) 使用上の注意
　●梅雨の時期や湿度が高いとき、または結露の発生する場合に使用してください。（紙づまりが頻繁に発生するとき）



# 各部のなまえとはたらき

## 【正面】



**原稿ガイド（☞ 38 ページ）**
原稿の幅に合わせてセットします。

**ADF（自動原稿送り装置）**
セットした複数枚の原稿が 1 枚ずつ自動的に読取部に送られます。

**原稿受け**
コピーや送信した原稿がこの上に排出されます。

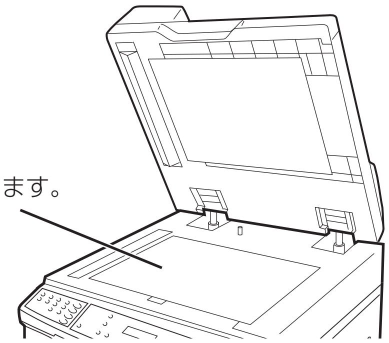
**コントロールパネル（☞ 24 ページ）**

**用紙受け**
コピー、プリントや受信した用紙がこの上に排出されます。

**給紙カセット**
A3、B4、A4、A4□、B5、B5□、A5、A5□の用紙がセットできます。

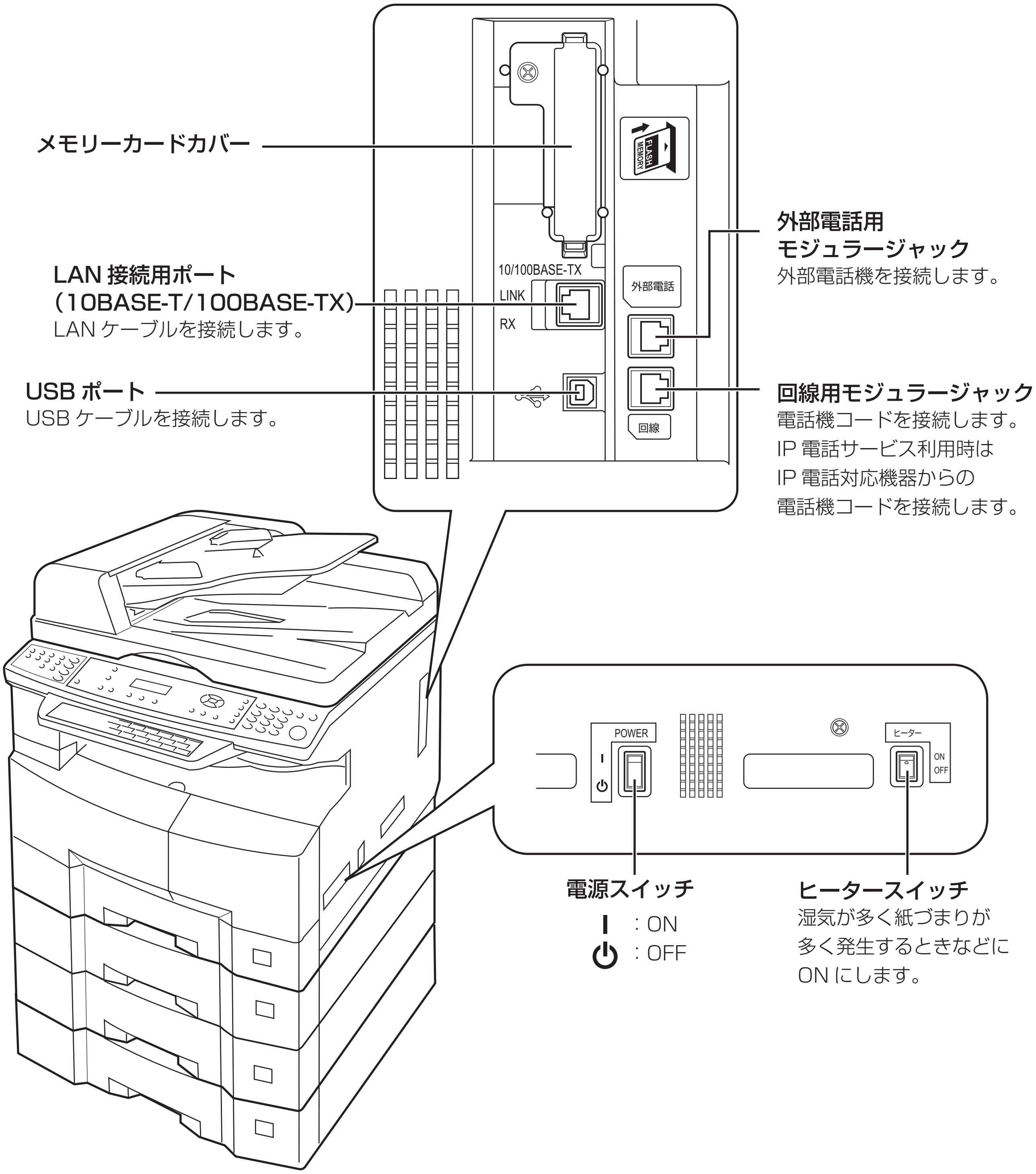
**前カバー**
トナーボトルや廃トナーボックスを交換するときなどに開けます。

### ■原稿台ガラス部



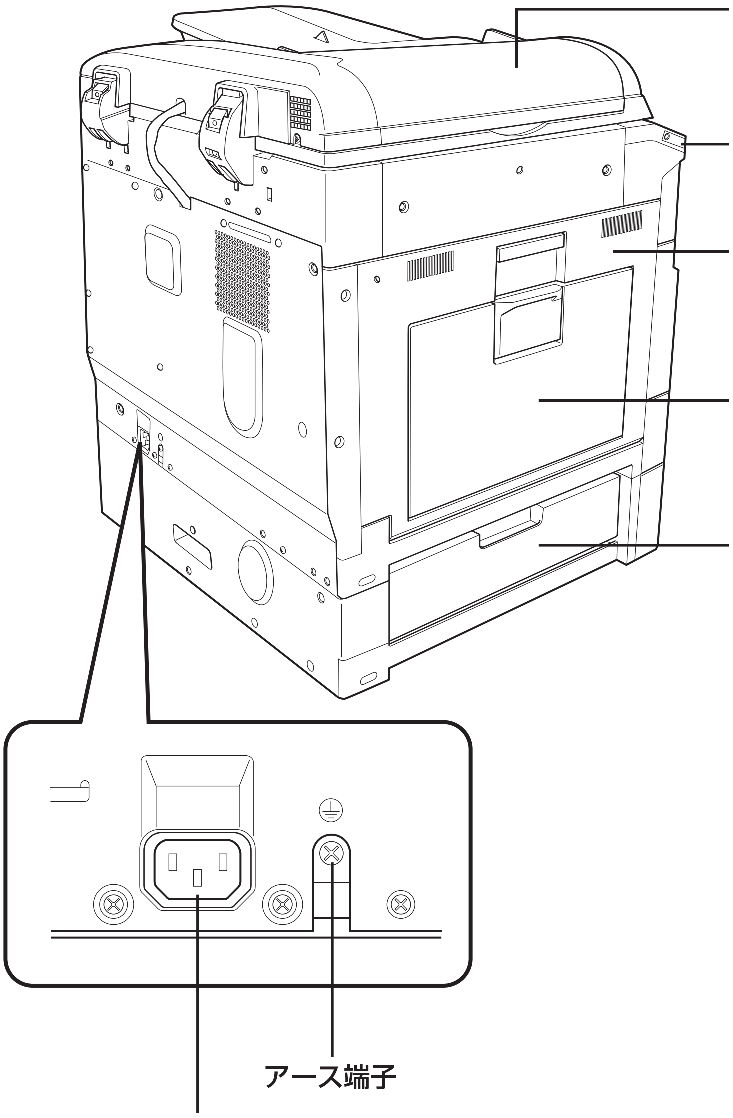
**原稿台ガラス**
原稿をセットします。

## 【右側面】


メモリーカードカバー
FLASH MEMORY
LAN 接続用ポート
（10BASE-T/100BASE-TX）
LAN ケーブルを接続します。
10/100BASE-TX
LINK
RX
USB ポート
USB ケーブルを接続します。
外部電話用
モジュラージャック
外部電話機を接続します。
外部電話
回線用モジュラージャック
電話機コードを接続します。
IP 電話サービス利用時は
IP 電話対応機器からの
電話機コードを接続します。
回線
POWER
ヒーター
ON
OFF
電源スイッチ
I ：ON
⏻ ：OFF
ヒータースイッチ
湿気が多く紙づまりが
多く発生するときなどに
ON にします。

# 各部のなまえとはたらき

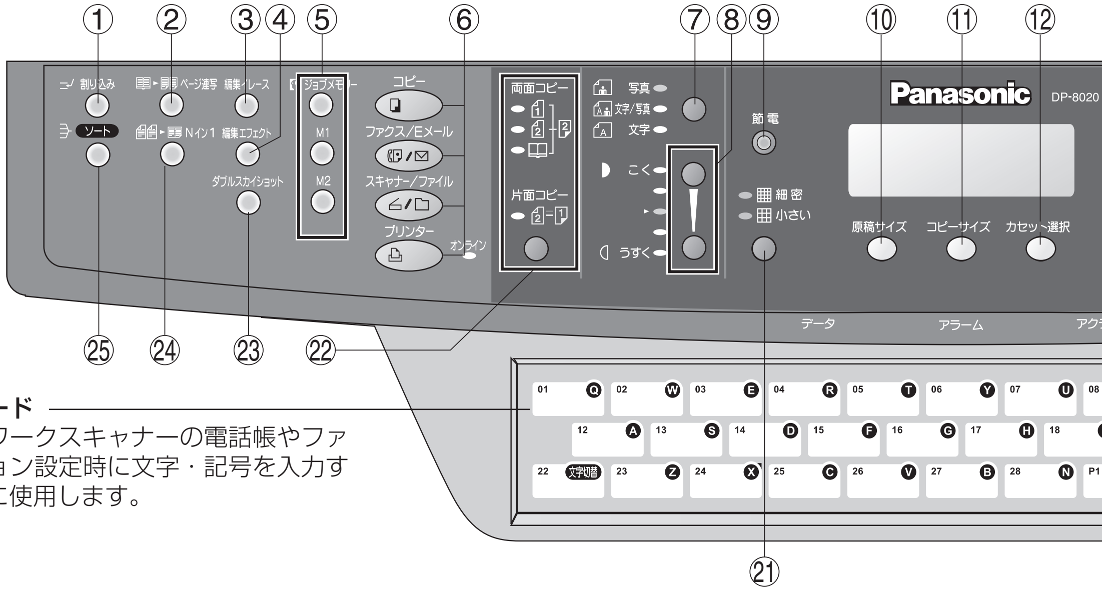
## 【背面・左側面】



メ　モ

# 各部のなまえとはたらき

## ■ コントロールパネル（操作キー）

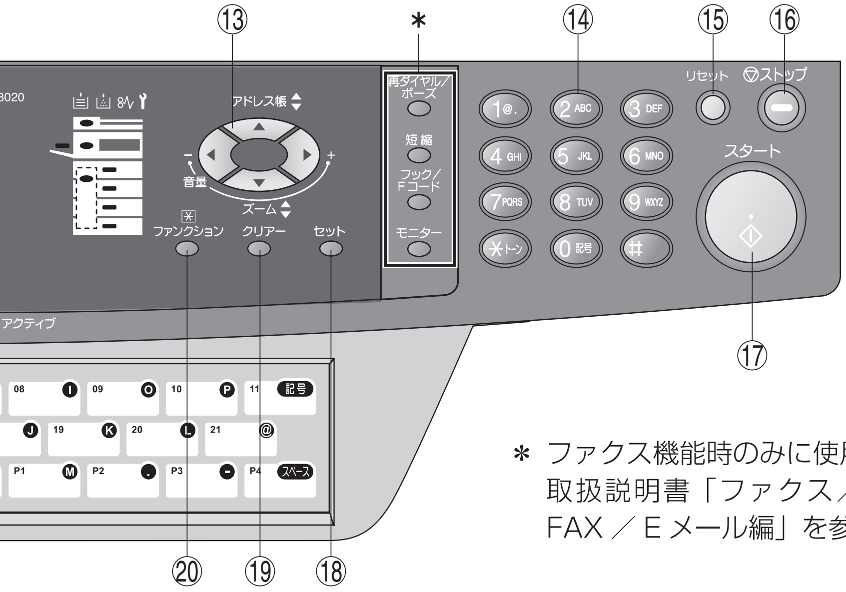



**キーボード**
ネットワークスキャナーの電話帳やファンクション設定時に文字・記号を入力するときに使用します。

No. ①～⑥、㉓ ～ ㉕ の各キーは、選択されるとキーそのものが点灯します。

| No. | アイコン | 内容 |
|---|---|---|
| ① | 割り込み | **割り込み**<br>割り込み機能を選択するとき（☞ 64 ページ） |
| ③ | 編集イレース | **編集イレース**<br>コピーの端、周囲、中央に余白を付けたいとき（☞ 56 ページ） |
| ⑤ | ジョブメモリー | **ジョブメモリー**<br>よく使用するコピーを本機に記憶させたいとき |
| ⑤ | M1 M2 | **M1/M2**<br>記憶させたコピーモードを呼びだすとき（☞ 64 ページ） |
| ⑦ | 写真 文字/写真 文字 | **画質**<br>原稿の種類を選ぶとき（☞ 45、72 ページ） |
| ⑧ | こく うすく | **読み取り濃度調整**<br>読み取り濃度を調整したいとき・こく、うすく（☞ 45、72 ページ） |
| ⑨ | 節電 | **節電**<br>節電機能に入るとき／解除するとき（☞ 64 ページ） |
| ⑪ | コピーサイズ | **コピーサイズ**<br>コピーサイズを設定するとき |

| No. | アイコン | 内容 |
|---|---|---|
| ② | ページ連写 | **ページ連写**<br>ブック原稿をページごとにコピーしたいとき（☞ 54 ページ） |
| ④ | 編集エフェクト | **編集エフェクト**<br>用紙の中央／一つのイメージを並べてコピーしたいとき（☞ 58 ページ） |
| ⑥ | コピー | **コピー**<br>コピー機能を使用するとき（☞ 42 ページ） |
| ⑥ | ファクス/Eメール | **ファクス／ E メール**<br>ファクス／ E メール機能を使用するとき（取扱説明書「ファクス／インターネット FAX ／ E メール編」参照） |
| ⑥ | スキャナー/ファイル | **スキャナー／ファイル**<br>ネットワークスキャナー機能を使用するとき（☞ 70ページ） |
| ⑥ | プリンター | **プリンター**<br>プリンター機能を使用するとき（ソフトウェア CD を参照） |
| ⑩ | 原稿サイズ | **原稿サイズ**<br>原稿サイズを選ぶとき |
| ⑫ | カセット選択 | **カセット選択**<br>コピーする用紙を選ぶとき |

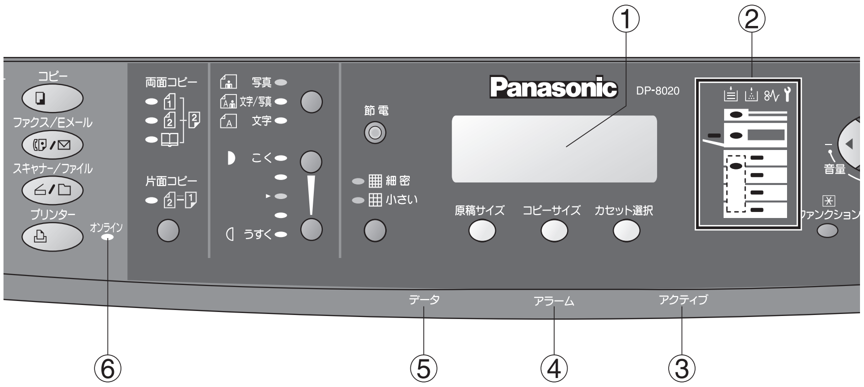


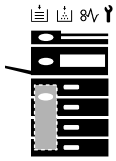

＊ ファクス機能時のみに使用します。
取扱説明書「ファクス／インターネットFAX ／ E メール編」を参照ください。

| No. | アイコン | 内容 | No. | アイコン | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑬ | アドレス帳 音量 ズーム | **ズーム／カーソル／アドレス帳**<br>液晶ディスプレイのカーソル（▼▲ ◀ ▶）を移動するときや項目を選択するとき、アドレス帳を検索するときなど | ⑭ | | **テンキー**<br>数字を入力するとき |
| | | | ⑮ | リセット | **リセット**<br>ファンクション設定から抜けるとき、または、コピー時に設定内容をクリアーしてコピー待機状態に戻すとき |
| ⑯ | ストップ | **ストップ**<br>コピー、通信、各種操作を中止するとき | ⑰ | スタート | **スタート**<br>コピーやファクスの送受信、ネットワークスキャナーの読み取りを開始するとき |
| ⑱ | セット | **セット**<br>各種登録／設定を確定するとき | ⑲ | クリアー | **クリアー**<br>入力した文字や数字などを消去するとき |
| ⑳ | ファンクション | **ファンクション**<br>ファンクション設定モードで各種登録や設定を行うとき（☞ 19、80 ページ） | ㉑ | 細密 小さい | **解像度**<br>ネットワークスキャナーの読み取り解像度を選ぶとき（☞ 72 ページ） |
| ㉒ | 両面コピー 片面コピー | **両面 / 片面コピー**<br>両面コピー機能を選ぶとき<br>・片面原稿→両面コピー<br>・両面原稿→両面コピー<br>・ブック原稿→両面コピー<br>・両面原稿→片面コピー<br>（☞ 46、48、50 ページ） | ㉓ | ダブルスカイショット | **ダブルスカイショット**<br>小さい原稿（A4 サイズ以下）を 1 枚ずつ読み取りし、1 枚に並べてコピーするとき（☞ 54 ページ） |
| ㉔ | Nイン1 | **N イン 1 コピー**<br>2 枚／ 4 枚の片面原稿を 1 枚に並べてコピーするとき（☞ 52 ページ） | ㉕ | ソート | **ソート**<br>複数部コピーを自動丁合いしたいとき（☞ 58 ページ） |

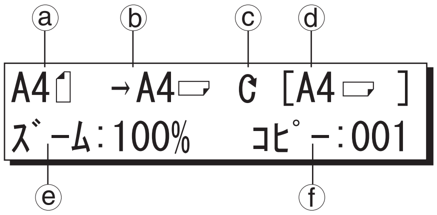
# 各部のなまえとはたらき

## ■ コントロールパネル（液晶ディスプレイ／ランプ表示）




| No. | アイコン | 内容 | No. | アイコン | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | | **液晶ディスプレイ**<br>各種情報を表示します<br>・コピー／原稿枚数<br>・エラー（U##、J##、E##）<br>・ファンクション設定内容<br>・その他 | ② |  | **警告表示**<br>本機が下記状態になったとき点滅・点灯します<br>：用紙がないとき（☞ 92 ページ）<br>：トナーがないとき（☞ 94 ページ）<br>：用紙がつまったとき（☞ 96 ページ）<br>：定期保守が必要なとき<br>・サービス実施会社へご連絡ください。 |
| ③ | アクティブ | **アクティブランプ（緑）**<br>本機が動作中のときに点滅します | ④ | アラーム | **アラームランプ（赤）**<br>本機の異常状態を点灯／点滅で表示します<br>**点灯**：トナーなし、紙づまりやマシンエラー（E##）などで動作停止のときや電池交換が必要なとき<br>**点滅**：本機が警告状態になったとき（動作は停止しません）<br>トナーの残量が少ない、給紙カセットに用紙がないとき |
| ⑤ | データ | **データランプ（緑）**<br>**点滅**：プリントデータをパソコンより受信中のとき<br>**点灯**：パソコンより受信したプリントデータを印刷中のとき | | | |
| ⑥ | オンライン | **オンラインランプ**<br>プリンターステータスがオンラインになっているときに点灯します<br>（☞ 81 ページ） | | | |

**液晶ディスプレイ（例：コピー機能時）**




ⓐ：原稿サイズ
ⓑ：コピーサイズ
ⓒ：用紙回転
ⓓ：給紙カセットの紙サイズ
ⓔ：コピー倍率
ⓕ：コピー部数

● 液晶ディスプレイの表示の濃淡を調整したいとき。

**濃くしたいとき：** クリアー を押しながら、コピーサイズ をお好みの濃さになるまで繰り返し押す。

**薄くしたいとき：** クリアー を押しながら、原稿サイズ をお好みの薄さになるまで繰り返し押す。

## お使いになる前に

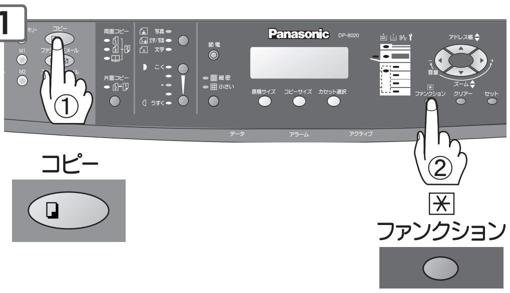
# 機器の設置および設定をする

本機の設置および基本的な設定は、当社の取付担当者が行います。
設置場所は、16 ページの取扱上のお願い「設置場所」などをよくお読みになり、最適な場所をお決めください。

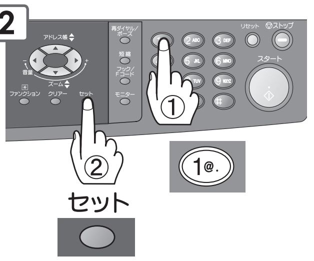
より便利にお使いいただくためにお客様の使用状況に合わせて設定を変更することができます。「ファンクション設定モード」(☞ 80 ページ) を参照して、お好みの設定に変更してください。

**(例) 電源を入れたときの状態をコピーからファクスに変えたいとき (DP-8020VA)**

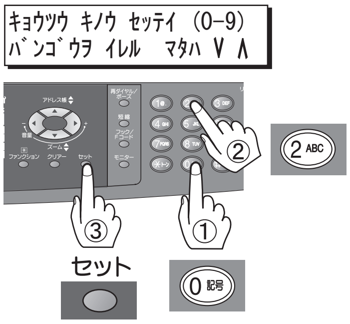
1



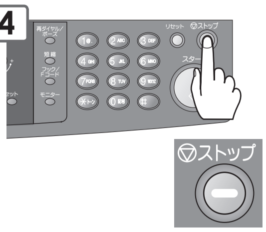

2



3




4

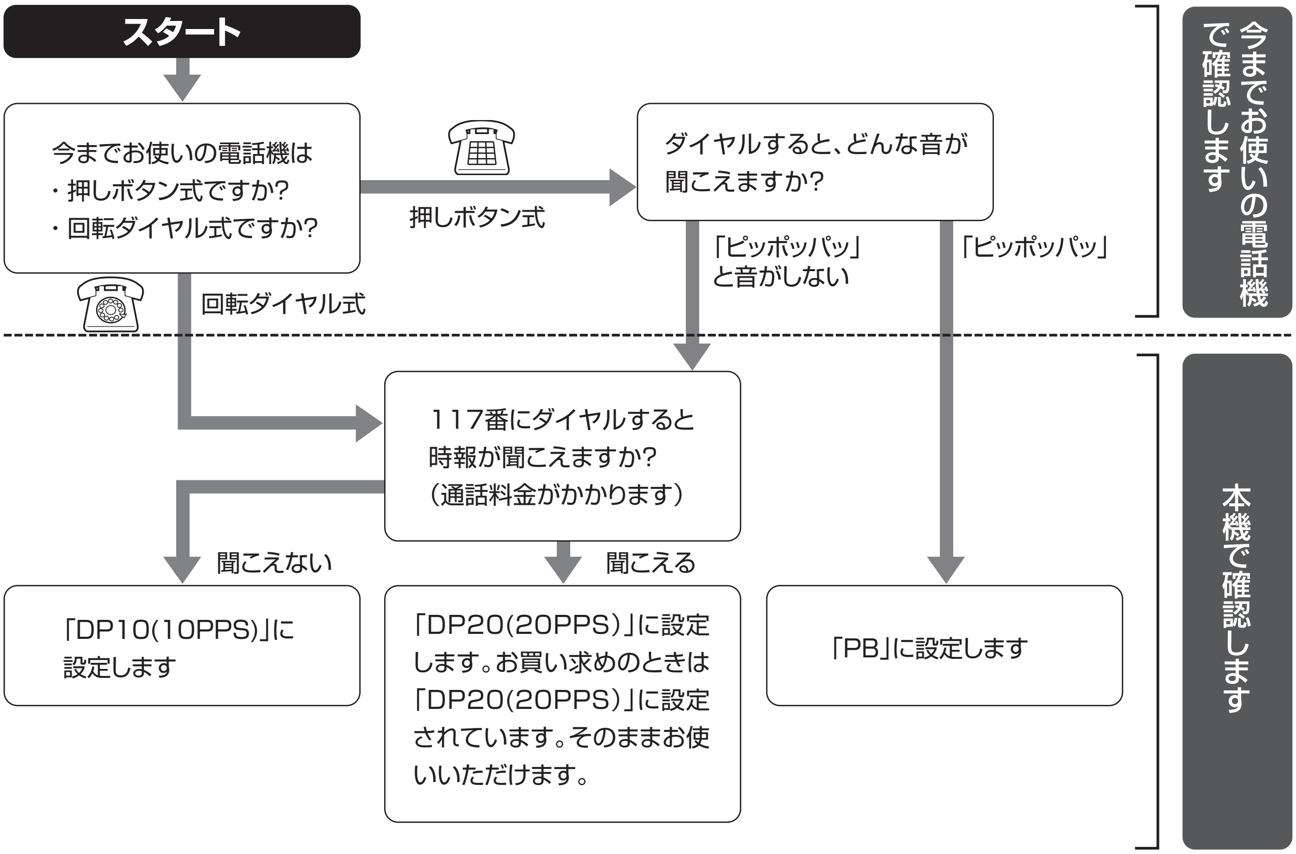


# 回線種別を設定する（DP-8020VA）

## ■ 概要

電話回線には、ダイヤル（DP）回線（ダイヤルスピード 10PPS と 20PPS の 2 種類）と、プッシュ（PB）回線とがあります。電話回線の種類を確認し、それに合わせて本機の回線種別を設定してください。（☞29 ページ）IP 電話サービスを利用するときは、プッシュ（PB）回線に設定してください。

## ■ 回線種別を見分ける




**お知らせ**

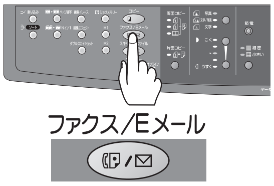
- 117 番に電話をかけると、通話料金がかかります。
- 回線種別を PB に設定しているときや、DP10 または DP20 に設定していて（＊トーン）を押したあと、プッシュ信号として ＊ や ＃ がご利用になれます。

**お願い**

- 回線種別の確認・設定は、必ず行ってください。正しく設定しないとお使いになれない場合があります。
- 回線の種別がわからないときは、局番なしの 116 番（無料）へお問い合わせください。
- TA（ターミナルアダプタ）に本機を接続して利用する場合は、本機の外部電話用モジュラージャックに電話機を接続しないでください。接続すると本機や電話機の機能が正常に動作しなくなることがあります。
- PBX（構内交換機）に接続するときは、サービス実施会社へお問い合わせください。

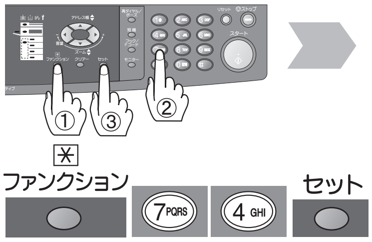
## ■ 回線種別を設定する

**1**



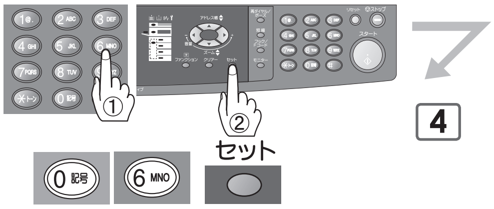

他の機能を使用中のときのみ押す

**2**




**3**

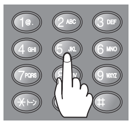
```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-177)
       NO.=█
```




・06 セット を押してダイヤル切替を選ぶ

**4**

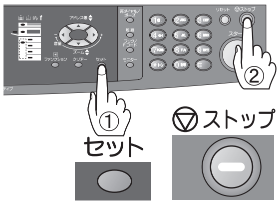
```
06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
 1:ﾌﾟｯｼｭ(PB)
```



1：プッシュ（PB）回線
2：ダイヤル（DP（10pps））回線
3：ダイヤル（DP（20pps））回線
**例：**2（ダイヤル（DP（10pps）））回線

**5**

```
06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
 2:10pps
```




**お知らせ**

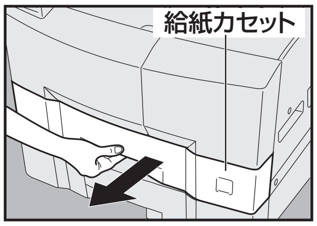
- 設定操作を中止するには ストップ を押します。
- 液晶ディスプレイの表示濃度を変更するには（☞ 26 ページ）

# 用紙をセットする

## ■給紙カセットにセットする

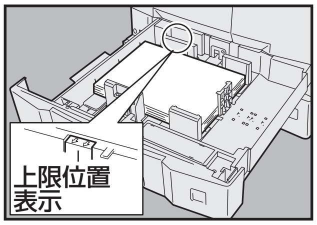
給紙カセットに一度にセットできる用紙は、最大 550 枚です。

**1** **給紙カセット（1 ～ 4：2 ～ 4 はオプション）**
下記手順は、本体のカセット 1 ですが、
オプション装着時のカセット（2 ～ 4）も同じ手順です。




→ 2

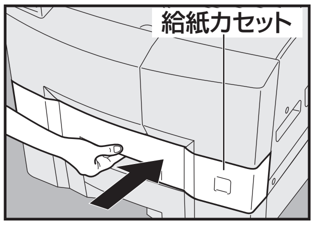
**2**




用紙をセット ：印刷面上向き
用紙厚さ　　：60 ～ 90g/$m^2$（両面印刷時：64 ～ 90g/$m^2$）
容量　　　　：550 枚（75g/$m^2$）

→ 3

**3**




確実に給紙カセットを閉じる
・“ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ”というメッセージが表示されているときは、給紙カセットがしっかりと閉じてない場合があります。給紙カセットをしっかりと閉じてください。

**お知らせ**

- 用紙ガイドを紙のサイズに正しく合わせないと紙づまりの原因となります。（☞ 91、96 ページ）
- 用紙サイズを変更するときは（☞ 32 ページ）
- 用紙の量は、用紙上限位置表示以下までです。
- 給紙カセットに用紙を継ぎ足すときは、紙づまりを少なくするため、残っている用紙を取り出し、新しい用紙と合わせ、よくさばいてからセットしてください。

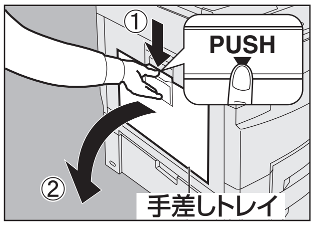
**お 願 い**

- 一度記録した紙の裏面を使用すると、紙のカールにより紙づまりの原因となることがあります。

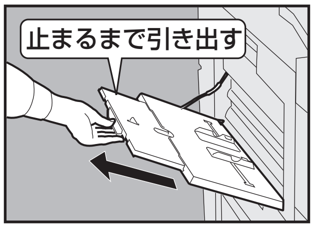
## ■手差しトレイにセットする

コピーサイズの用紙が給紙カセットにないとき、または、ラベル、OHP フィルム、光沢紙などの特殊な用紙にコピーするとき

1

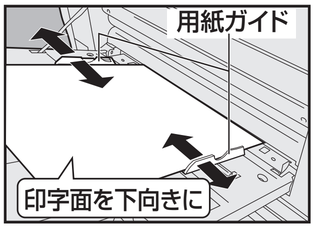



2



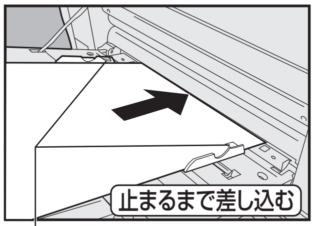

3

3




用紙ガイドを用紙幅に正しくセットする。
正しくセットしないとカールや紙づまりの原因になります。

4



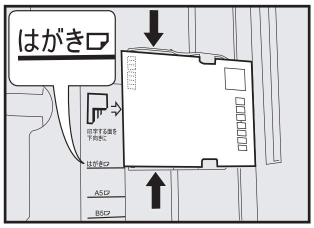

上限ガイド

**(上限ガイドまで)**

用紙厚さ：55 ～ 133g/m²
容量　　：50 枚（75g/m²）
　　　　　10 枚（ラベル、OHP フィルム、光沢紙などの特殊な用紙）
　　　　　5 枚（はがき）

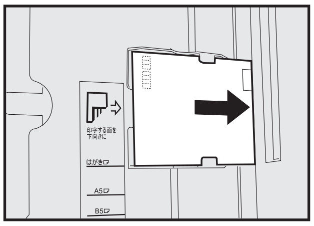
### はがきにコピーするとき

3




用紙ガイドをはがき幅に合わせる。

4



止まるまで差し込む。（最大 5 枚まで）

**お 願 い**

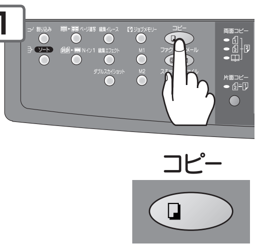
- 一度記録した紙の裏面を使用すると紙のカールにより紙づまりの原因となることがあります。
- セットする用紙の量は、規定の枚数より多くセットしないでください。規定の枚数を超える量をセットすると、紙づまりの原因となります。
- 官製はがき以外の厚いはがきにプリントすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となります。
- しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上にしてセットし直してください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙をセットするときは、印字される面を下にしてセットしてください。
- プリント中には、用紙を追加しないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙がセットされているときは、手差しトレイを閉じないでください。
- 手差しトレイをご使用にならないときは、確実に閉めてください。

# 用紙をセットする

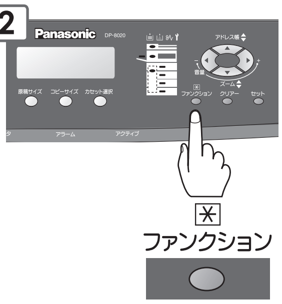
## ■給紙カセットの用紙サイズを変更する

給紙カセットの用紙サイズは、A3、B4、A4、B5、A5 などのサイズに設定することができます。
設定するときは、キーオペレーター専用のパスワードが必要です。

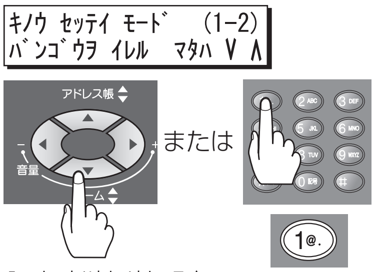
**1**




**2**



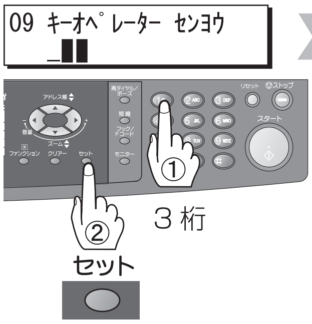

**3**




1: ｷｮｳﾂｳｷﾉｳｾｯﾃｲ

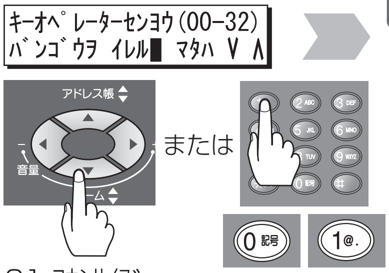
「1」を入力する。

**6**




３桁

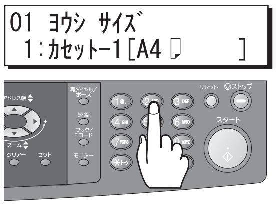
**7**




01 ﾖｳｼｻｲｽﾞ

「0、1」と
入力する。

**8**



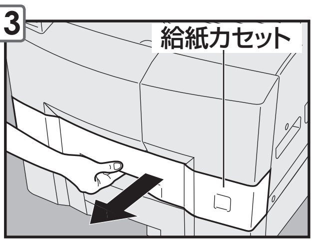

1：カセット -1
2：カセット -2
3：カセット -3
4：カセット -4

**お知らせ**

カセット -2 ～ 4 は、
オプションです。
(☞ 110 ページ)

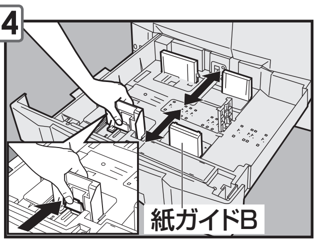
**12**

**13**




**例：**給紙カセット -1

**14**



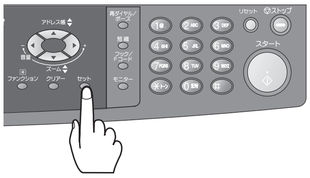

紙ガイド B を手順 **10** で指定したサイズに調整する

**お知らせ**

紙ガイド B は、ビスで固定されることをおすすめします。固定されるときは、サービス実施会社にご相談ください。

**4**

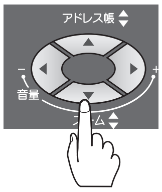
1:ｷｮｳﾂｳ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ



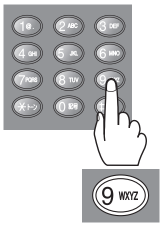
セット

**5**

ｷｮｳﾂｳ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ (0−9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ█ ﾏﾀﾊ ∨ ∧




または

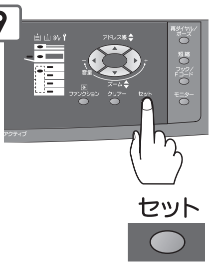


09 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰｾﾝﾖｳ

「9」のみを入力する。

→ **6**

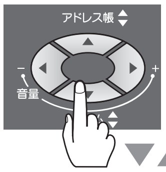
**9**



セット

**10**

ｶｾｯﾄｰ1
A4▯ ∧ ∨

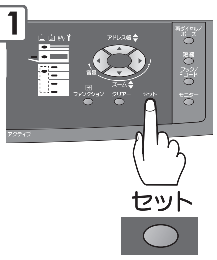



▼▲ 用紙サイズを選ぶ

**例：カセット -1**

A3 ⇄ B4 ⇄ A4▯ ⇄ A4 ⇄ B5▯ → B5 ⇄ A5▯ ⇄ A5 ⇄ FLS1 ⇄ FLS2 → LEDGER ⇄ LEGAL ⇄ LETTER▯ ⇄ LETTER ⇄ INVOICE → A3

**11**

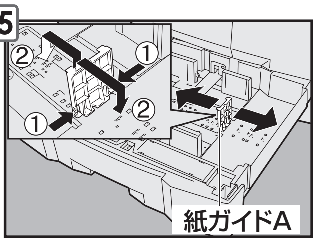


セット

他の給紙カセットの用紙サイズを設定するときは、手順 **8** ～ **11** をくりかえす。

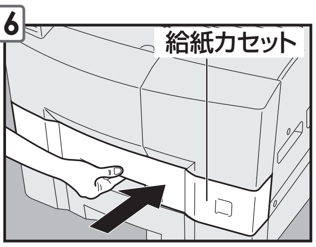
→ **12**

**15**




紙ガイド A を手順 **10** で指定したサイズに調整する

**16**




用紙サイズ表示ラベルを貼り変える。

お使いになる前に

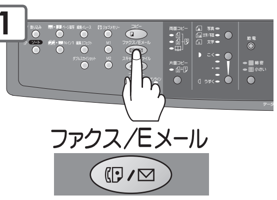
# 日付･時刻を合わせ、自局登録をする（DP-8020VA）

## ■ 概要

液晶ディスプレイの表示が正しくなるように、内蔵されている時計に現在の日付と時刻を登録してください。
時刻を指定して送信するときや、レポートなどに通信時刻を印字するために必要です。
自局登録することで、通信を行ったときに相手先の受信文書に発信元名称（会社の名称など）や発信元電話番号（ファクスの電話番号）が印字されます。また文字 ID（発信元名称）や数字 ID（ファクスの電話番号）は相手先のディスプレイに表示されます。

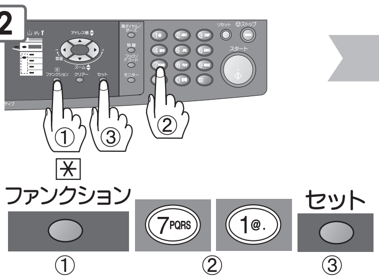
## ■ 日付・時刻の合わせかた、自局登録のしかた

**1**

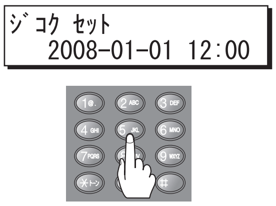



他の機能を使用中のときのみ押す

**2**



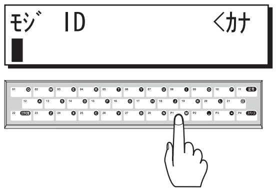

**3**




日付／時間を入力する
**例：**2008 04 12 1500

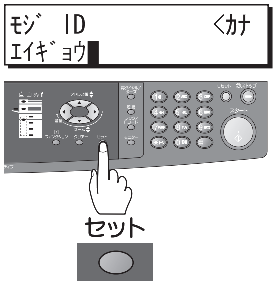
**6**

**7**




文字 ID（16 文字まで）を入力する
（☞ 36 ページ）
**例：**エイギョウ

**8**




**お知らせ**

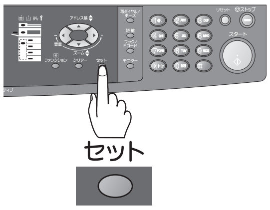
- 文字の入力を間違えたときは ◀ ▶ を使ってカーソルを移動し、クリアー を押して訂正します。
- 登録操作を中止するときは、ストップ を押します。

**お 願 い**

- DP-8020P の日付・時刻を合わせる方法は、「電池交換 / 日付・時刻表示の調整が必要なとき」（☞ 100 ページ）」の手順 6 ～ 13 で行ってください。
- 時刻はあくまで目安としてご利用ください。なお誤差が生じた場合は、登録し直してください。（時間精度：平均月差± 60 秒以内）
- 長時間電源が切れていると、日時がずれることがあります。その場合は、登録し直してください。

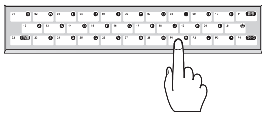
**4**

ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
2008-04-12 15:00




**5**

ﾊｯｼﾝﾓﾄ　　　　　<ｶﾅ

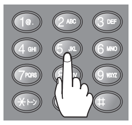


発信元（25 文字まで）を入力する
（☞ 36 ページ）
**例：** PANA

**6**

**9**

ｽｳｼﾞ　ID ﾄｳﾛｸ

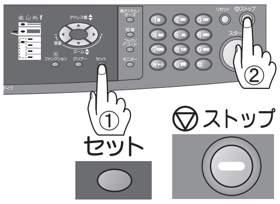


数字 ID（20 桁まで）を入力する（スペースを入力するときは モニター を押す）

**例：** 03 モニター 1234 モニター 5678

**10**

ｽｳｼﾞ　ID ﾄｳﾛｸ
03 1234 5678




待機状態へ戻ります

**お知らせ**

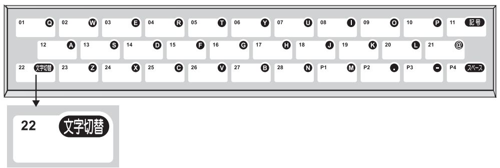
- 自局登録で「発信元」登録がない場合には「文字 ID」を、「文字 ID」がない場合には「数字 ID」が発信元印字欄に印字されます。
- 発信元や文字 ID、数字 ID を相手先の受信文書に印字しないようにするには、システム登録の「07 発信元印字」を「3: ナシ」に設定します。（☞ 取扱説明書（ファクス / インターネット FAX/E メール編）の「システム登録」）
- 相手先の受信文書に印字される発信元のフォーマットを設定することができます。システム登録の「08 発信元フォーマット」で設定します。（☞ 取扱説明書（ファクス / インターネット FAX/E メール編）の「システム登録」）

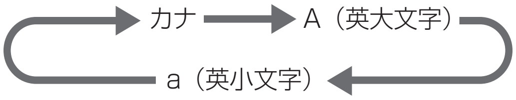
# 文字入力のしかた

文字IDや、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを登録するときには、文字入力することができます。カタカナ、英字、記号はキーボードを使って、数字はテンキーから入力します。

## ■キーボードの入力モードの切り替え

キーボードの 22 文字切替 を押すごとに入力モードが切り替わります。待機状態では「カナモード」に設定されています。




## ■カタカナの入力のしかた（キーボード）

22 文字切替 を押してカナモードにします。カナモード入力のときは、ローマ字カタカナ変換機能を使ってカタカナを入力します。下表のローマ字を入力すると、自動的にカタカナに変換されます。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ア A | イ I | ウ U | エ E | オ O |
| カ KA | キ KI | ク KU | ケ KE | コ KO |
| サ SA | シ SI | ス SU | セ SE | ソ SO |
| タ TA | チ TI | ツ TU | テ TE | ト TO |
| ナ NA | ニ NI | ヌ NU | ネ NE | ノ NO |
| ハ HA | ヒ HI | フ HU | ヘ HE | ホ HO |
| マ MA | ミ MI | ム MU | メ ME | モ MO |
| ヤ YA | | ユ YU | | ヨ YO |
| ラ RA | リ RI | ル RU | レ RE | ロ RO |
| ワ WA | | | | ヲ WO |
| | | | | ン NN |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ァ LA | ィ LI | ゥ LU | ェ LE | ォ LO |
| | | ッ LTU | | |
| ャ LYA | | ュ LYU | | ョ LYO |
| キャ KYA | キィ KYI | キュ KYU | キェ KYE | キョ KYO |
| シャ SYA | シィ SYI | シュ SYU | シェ SYE | ショ SYO |
| チャ TYA | チィ TYI | チュ TYU | チェ TYE | チョ TYO |
| ニャ NYA | ニィ NYI | ニュ NYU | ニェ NYE | ニョ NYO |
| ヒャ HYA | ヒィ HYI | ヒュ HYU | ヒェ HYE | ヒョ HYO |
| ミャ MYA | ミィ MYI | ミュ MYU | ミェ MYE | ミョ MYO |
| リャ RYA | リィ RYI | リュ RYU | リェ RYE | リョ RYO |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ガ GA | ギ GI | グ GU | ゲ GE | ゴ GO |
| ザ ZA | ジ ZI | ズ ZU | ゼ ZE | ゾ ZO |
| ダ DA | ヂ DI | ヅ DU | デ DE | ド DO |
| バ BA | ビ BI | ブ BU | ベ BE | ボ BO |
| パ PA | ピ PI | プ PU | ペ PE | ポ PO |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ギャ GYA | ギィ GYI | ギュ GYU | ギェ GYE | ギョ GYO |
| ジャ ZYA | ジィ ZYI | ジュ ZYU | ジェ ZYE | ジョ ZYO |
| ヂャ DYA | ヂィ DYI | ヂュ DYU | ヂェ DYE | ヂョ DYO |
| ビャ BYA | ビィ BYI | ビュ BYU | ビェ BYE | ビョ BYO |
| ピャ PYA | ピィ PYI | ピュ PYU | ピェ PYE | ピョ PYO |
| ヴァ VA | ヴィ VI | ヴ VU | ヴェ VE | ヴォ VO |

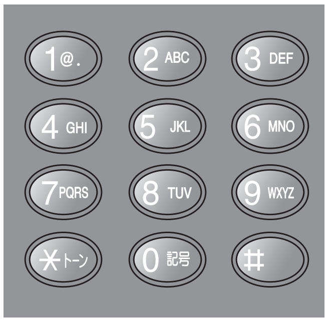
**お願い**

● DP-8020Pのテンキーからの文字入力の方法は、「文字入力のしかた（テンキー）」（☞ 71ページ）を参照してください。

## ■ 英字の入力のしかた（キーボード）

［文字切替］を押して、大文字／小文字を切り替えて入力します。

## ■ 数字・＊・＃の入力のしかた（テンキー）

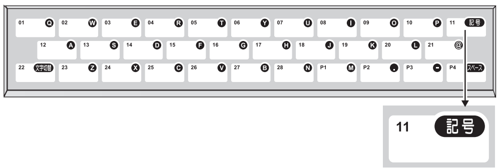



入力モードに関係なく、テンキーを押すと数字・＊・＃が入力できます。
押したテンキーに表記の数字・＊・＃がそのまま入力されます。

**お知らせ**

［＊トーン］を押すと、「＊」が入力されます。

## ■ 数字・記号の入力のしかた（キーボード）




［記号］を押したあと、▲▼で下記の記号を選択し入力します。
通常の文字入力時とメールアドレス入力時では表示される記号が異なります。

<table>
<tr><td>メールアドレス入力時</td></tr>
<tr><td>＿＃＊０９８７６５４３２１｝|｛｀＾］［？〉〈；＄″！：＆’，＝％＋〕〔／</td></tr>
<tr><td>文字入力時</td></tr>
<tr><td>＿＃＊０９８７６５４３２１：＆’，＝％＋〕〔／</td></tr>
</table>

## ■ スペースの入れかた

文字と文字の間にスペースを入力するには、キーボードの［スペース］を押します。

## ■ 文字の修正のしかた

＜入力を間違えたとき＞

◀▶を押して、カーソルを間違えた文字の右隣に移動し、［クリアー］を押してから入力し直します。

＜入力欄の文字をすべて消去するには＞

◀▶を押して、カーソルを入力欄の左はじの文字に移動し、［クリアー］を押します。

# 原稿をセットする

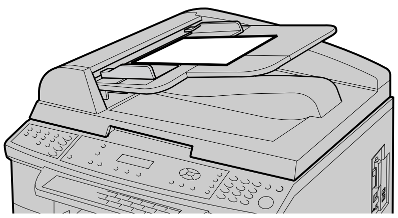
## ■ 概要

送信／コピーの際に原稿をセットする方法には、ADF（自動原稿送り装置）を利用する方法と、原稿台ガラスにセットする方法の2とおりがあります。セット方法は、原稿のサイズや厚さ、原稿の枚数などによって使い分けます。

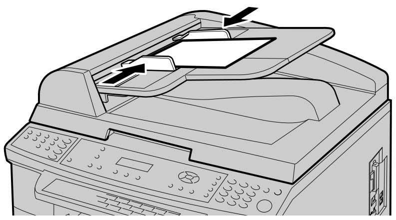
## ■ ADFに原稿をセットする

原稿のサイズや厚さ、原稿の枚数などを確認します。（下記参照）

1 原稿の先端を揃えて、送信／コピーする面を上に向けて置きます。



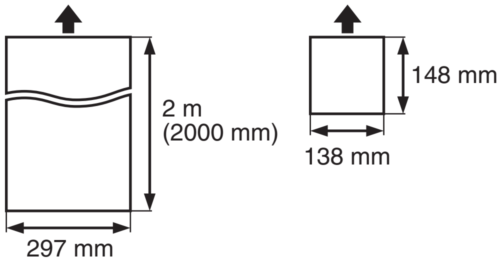
2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



● **ADFにセットできる原稿**

同サイズの原稿が一度に複数枚セットできます。セットできる原稿サイズと枚数は、次の範囲に限られます。それ以外のサイズの原稿を送信またはコピーする場合は、1枚ずつ原稿台ガラスにセットするか、適応するサイズに分割してコピー、あるいは拡大／縮小コピーをしてセットしてください。

**原稿セット方向**



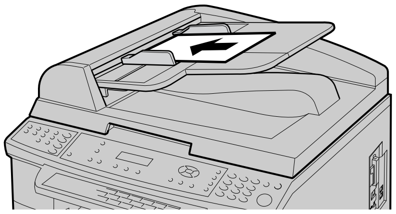

**原稿の最大サイズ**　**原稿の最小サイズ**

| | 1枚だけ送信／コピーする場合 | 2枚以上送信／コピーする場合 |
|---|---|---|
| **最大サイズ** | 送信時：幅 297mm ×長さ 2000mm<br>コピー時:幅 297mm ×長さ 420mm（A3判） | 幅 297 mm ×長さ 420 mm（A3判） |
| **最小サイズ** | 幅 138 mm ×長さ 148 mm | 幅 138 mm ×長さ 148 mm |
| **一度にセットできる枚数** | － | A4：最大 50枚<br>B4：最大 30枚<br>A3：最大 30枚（同質のものに限る） |
| **原稿の紙厚** | 0.05 mm ～ 0.15 mm | 0.06 mm ～ 0.10 mm |
| **原稿の紙質** | 上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの） | |

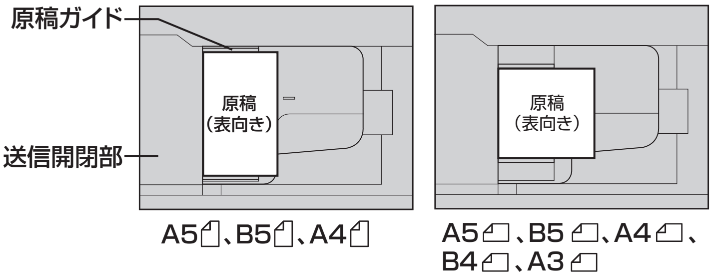
**お 願 い**

- ADFには、異なるサイズや異なる厚さの原稿を同時にセットしないでください。
- ADFにセットするときは、原稿を強く押し込みすぎないようにしてください。
- ADFに原稿を追加すると、原稿づまりや重送（複数枚を一度に送る）のおそれがあります。原稿を追加するときは、十分に注意してください。
- ADFにセットするときは、クリップやステープラーの針は、取り除いてからセットしてください。
- 朱肉や修正液が付いているときは、よく乾かしてからセットしてください。
- ぬれた原稿はセットしないでください。

3 原稿の先が突き当たるまで差し込みます。
「ピッ」という音が鳴ります。



**原稿サイズとセット方向**




## お知らせ

- 大きな原稿（A3 サイズまたは B4 サイズ）を送信するときは、原稿幅が 272 mm 以上のときは A3 サイズの原稿として、252 mm 以上のときは B4 サイズの原稿として、それぞれ相手機の用紙サイズに合わせて自動的に縮小して送信されます。

| 送信原稿のサイズ / 相手先 | A3 | B4 | A4 |
|---|---|---|---|
| A3 機 | 等倍 | 等倍 | 等倍 |
| B4 機 | B4（86%縮小） | 等倍 | 等倍 |
| A4 機 | A4（70%縮小） | A4（81%縮小） | 等倍 |

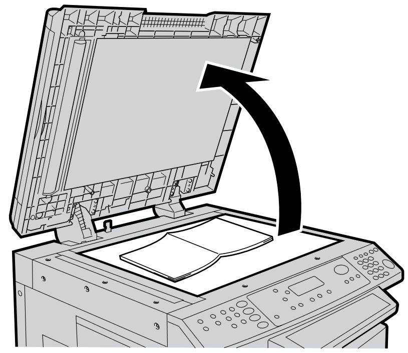
- 長さ 420 mm 以上の原稿を ADF から送信する場合は、手で支えながら送信してください。
- 原稿サイズやセットのしかたによっては、上下 10 mm、左右 5 mm の範囲は読み取れない場合があります。（☞ 41 ページ「■原稿の読取範囲について」）
- 黄色い文字は読み取ることができません。また、薄い色で書かれた文字は読み取りできないことがあります。
- ADF に原稿をセットする場合、読み取りができる原稿の厚さの目安は以下のとおりです。官製はがきは約 0.23 mm の厚さがあるため、原稿台ガラスを使用してください。
  （例）　新聞紙：0.05 ～ 0.06 mm
  　　　　上質紙：0.10 mm
- 長さが 148 mm で幅が 138 mm ～ 210 mm の原稿を ADF にセットした場合は、A5 判と判断します。

# 原稿をセットする

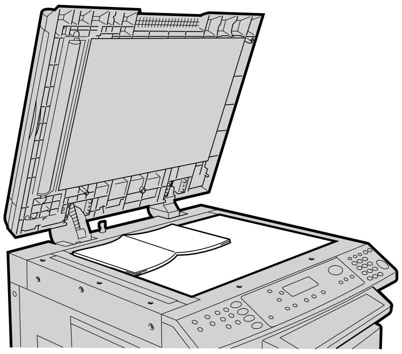
## ■原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿のサイズなどを確認します。

1 ADF を持ち上げて開き、送信／コピーする面を下に向けて、原稿を原稿台ガラスにのせます。



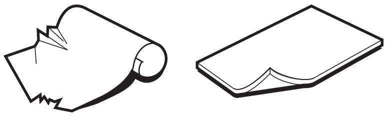
2 原稿を左奥スミのガイドに突き当てます。

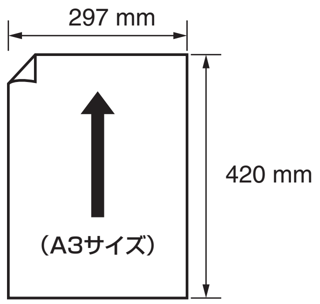


● **原稿台ガラスにセットできる原稿**

本など厚みのある原稿や破れた原稿など、ADF にそのままセットできない原稿（☞ 41 ページ「■こんな原稿のときは」）がセットできます。

セットできる原稿サイズは次のとおりです。



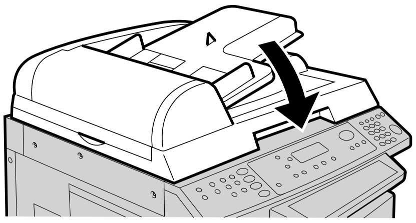



**原稿の最大サイズ**

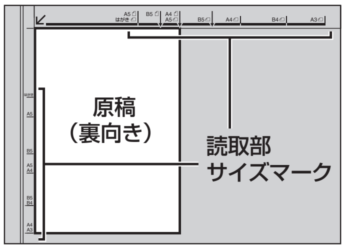
### お知らせ

- 原稿のサイズやセットのしかたによっては、上下 10 mm、左右 5 mm の範囲は読み取れない場合があります。（☞ 41 ページ「■原稿の読取範囲について」）
- 黄色い文字は読み取ることができません。また、薄い色で書かれた文字は読み取りできないことがあります。
- サイズの読み取りにくい原稿を原稿台ガラスにセットするときは、［原稿サイズ］を押して原稿のサイズを指定します。（☞ 24 ページ）
- 折りたたんである原稿は、原稿サイズの自動検知が正しくできない場合があります。折りぐせを直してからセットし、液晶ディスプレイの表示が正しくセットされていることを確認してください。ぬれた原稿はセットしないでください。

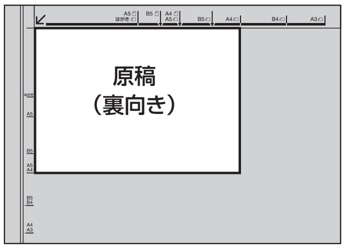
3 ADF を静かに閉じます。



**原稿サイズとセット方向**




A5、B5、A4




はがき、A5、B5、A4、B4、A3

## ■ こんな原稿のときは

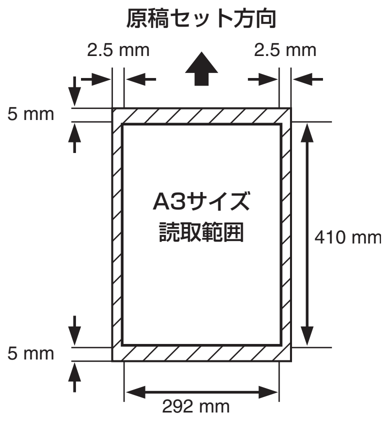
以下のような原稿を ADF にセットすると、原稿がつまったり、相手先で受信した内容が乱れたりすることがあります。原稿台ガラスにセットするか、複写機でコピーしたものを原稿としてご使用ください。

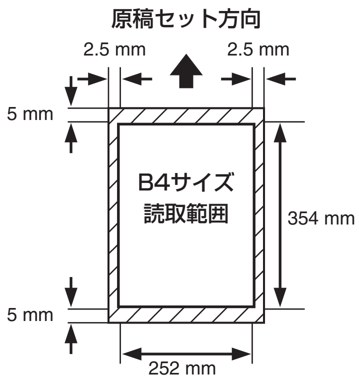
（○：送信可）

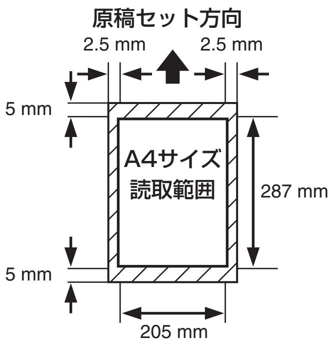
| 原稿の種類 | 原稿台ガラスにセットする |
|---|---|
| 感圧紙や裏カーボン紙などの化学処理をした原稿 | ○ |
| 破れている原稿、しわや曲がりの激しい原稿 | ○ |
| 裏または表がコーティングされている原稿 | ○ |
| 紙厚が薄すぎる原稿（0.05 mm 未満） | ○ |
| 紙厚が厚すぎる原稿（布地、金属板、印画紙など） | ○ |
| 小さすぎる原稿（138 mm × 148 mm 未満） | ○ |
| 穴の開いた原稿 | ○ |
| つなぎ合わせや貼り合わせのある原稿 | ○ |

## ■ 原稿の読取範囲について

斜線で示す部分は読み取れませんのでご注意ください。



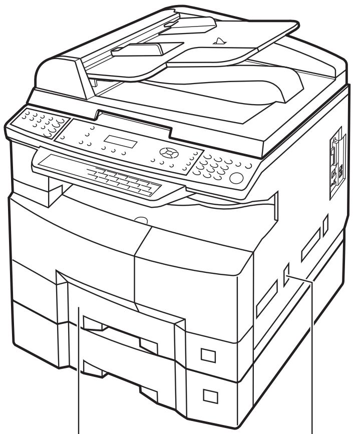



# 基本モード

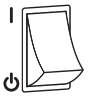
## 基本操作

### ■ 基本手順



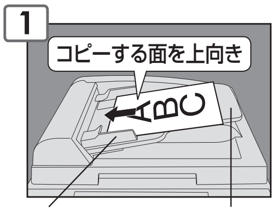
用紙をセットする
(☞ 30 ページ)

本機右側の
電源スイッチ
を「ON（ I ）」
にする




〈自動原稿送り装置：ADF〉

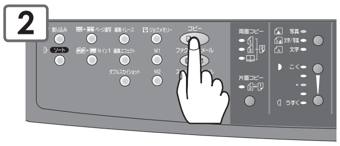
1



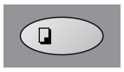

**原稿ガイド**
原稿ガイドを原稿幅に正しく合わせます。

**原稿台（ADF）**
A5/B5/A4：最大 50 枚
B4/A3：最大 30 枚

2



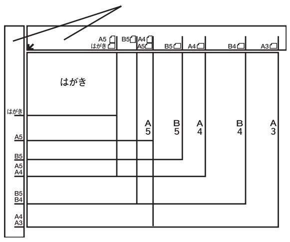
コピー



他の機能を使用中のときのみ

〈原稿台ガラス〉

**原稿ガイド**




**コピーする面を下向き**

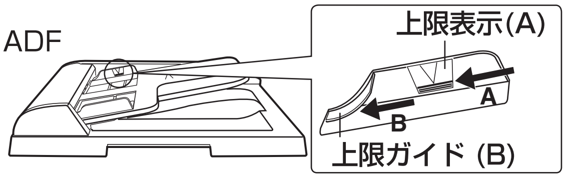
- 原稿を原稿台ガラスの左上コーナーに合わせセットする。
- A5 より小さい原稿は A5 の枠内にセットする。

---

**自動原稿送り装置（ADF）使用時のお願い**

- 次の特殊な原稿は使用できません。原稿台ガラスよりコピーしてください。
  はがき用紙、画用紙、OHP フイルム、半紙、ラベル用紙、厚紙・薄紙、アート紙、フィルム、感熱紙、和紙など
- また、次のような原稿は使用しないでください。
  破れ、大きな穴やとじ穴（コンピュータ用紙）のある原稿、大きくカールしたり折れのある原稿

ADF




原稿枚数は、上限表示（A）／上限ガイド（B）まで
・ A4 サイズで 50 枚

自動原稿送り装置は、片面原稿専用と片面／両面原稿共用の 2 機種があります。
片面原稿専用：ADF
片面／両面原稿共用：i-ADF
本文中では、両機種とも ADF という表現にしております。i-ADF（両面 ADF）または、ADF（片面 ADF）それぞれ違いの表記が必要な場合は、「i-ADF」または「ADF」と記載いたします。

**◇（スタート）ランプが赤く点灯しているとき**

コピーモード時、◇（スタート）ランプが赤く点灯しているときは、用紙切れや装置異常などにより、コピーできない場合です。「異常／エラー表示一覧」(☞ 91 ページ)を確認してください。コピー可能なときは◇（スタート）ランプは緑で点灯します。

**オートクリアータイムについて**

コントロールパネルでコピー動作を設定中に中断し放置すると、一定時間経過後（初期設定値：1 分間）、設定されていた内容が解除されます。解除されるまでの時間は、ファンクション設定モードで変更可能です。(☞ 82 ページ)

**3**

**原稿サイズ** 原稿サイズが正しく検知されないとき

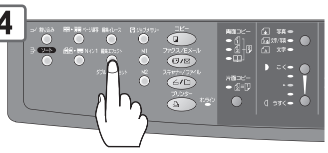
```
A4▭ →A4▯ C [A4▯    ]
ｽﾞｰﾑ:100%   ｺﾋﾟｰ:001
```

原稿サイズを選ぶ

| | | | |
|---|---|---|---|
| **A3** | ▭ : A3 | **B5** | ▭ : B5R |
| **B4** | ▭ : B4 | **A5** | ▯ : A5 |
| **A4** | ▯ : A4 | **A5** | ▭ : A5R |
| **A4** | ▭ : A4R | **ハガキ** | **: はがき** (*) |
| **B5** | ▯ : B5 | | |

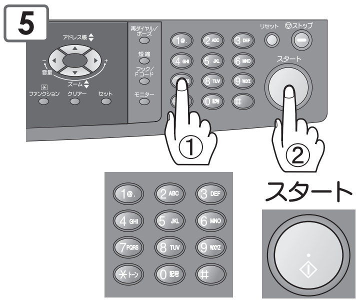
＊：「ハガキ」は原稿台ガラスのみ

**4**



コピー機能を選択する
(☞ 46 ～ 67 ページ)

**5**




コピー部数
(最大：999 部)

### お知らせ

● コピーを中断するには ストップ を押します。ただし、原稿が読み込まれたすぐあとに ストップ を押したときは、1 ページコピーされることがあります。
●コピー設定をクリアーするには リセット を押します。
●原稿がつまったときは（☞ 98 ページ）
●用紙がつまったときは（☞ 96 ～ 99 ページ）

### お知らせ

● **メモリーフルについて**

原稿読み取り中に本機の内蔵メモリーがいっぱいになると、「ﾒﾓﾘｰﾖｳﾘｮｳ ｵｰﾊﾞｰ ﾂﾂﾞｹﾏｽｶ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ」とメッセージが表示され、原稿の読み取りが中断されます。メッセージにしたがい操作してください。

**「1: ﾊｲ」を選択したとき**　：メモリーフル表示が出た、1 枚前までの読み取りを完了した原稿までコピーされます。

**「2: ｲｲｴ」を選択したとき**：読み取ったすべての原稿のイメージが消去され、コピー動作が中止されます。

（両面原稿を両面コピーモードでコピー中のときは、「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示され、読み取ったすべての原稿イメージが消去されます。）

内蔵メモリー容量の増設をご希望のときは、お買い上げの販売店またはサービス実施会社にご相談ください。

●**コピー部数設定について (DP-8020VA)**

コピー部数の設定は、最大 999 までですが、4 ～ 8 桁まで入力することができる場合があります。このときは、液晶ディスプレイが電話番号入力用表示となり、ファクス機能に切り替わります。間違えて 4 桁以上入力したときは、リセット または ストップ を押してから コピー を押してコピー機能に戻してください。

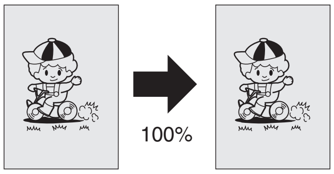
● **PC プリント中のコピー動作について**

パソコンからプリント中に、通常のコピー操作を行うことでコピー予約ができます。液晶ディスプレイに「ｺﾋﾟｰｶﾞ　ﾖﾔｸｻﾚﾏｼﾀ」が表示されます。コピー動作が可能になりしだい、自動的にコピーします。

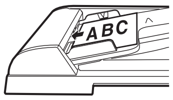
●**ハガキでの動作制限について**

原稿サイズ A3 または B4 でのハガキへのコピーは、任意倍率（ズーム）50%以下となるため指定できません。

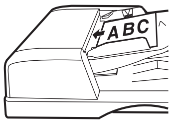
## ■原稿サイズと同じサイズでコピーしたいとき




1 ADF

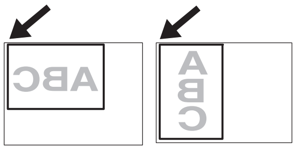



i-ADF




または

原稿台ガラス




＊「ハガキ」は、原稿台ガラスのみ

2

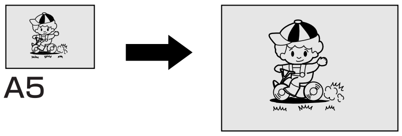
原稿サイズ

原稿サイズが正しく検知されないとき

- A3 ：A3
- B4 ：B4
- A4 ：A4
- A4 ：A4R
- B5 ：B5
- B5 ：B5R
- A5 ：A5
- A5 ：A5R
- ハガキ ：はがき (*)

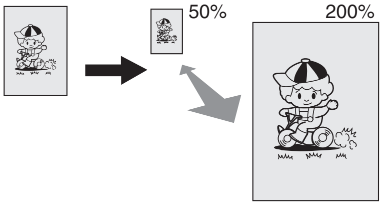
## ■固定または任意倍率でコピーしたいとき

固定倍率（例：拡大コピー）

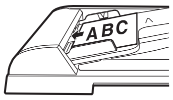



任意倍率

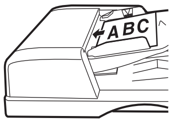
50 ～ 200%の範囲で 1%単位で倍率設定可能です。




1 ADF

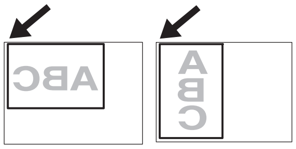



i-ADF




または

原稿台ガラス




＊「ハガキ」は、原稿台ガラスのみ

2

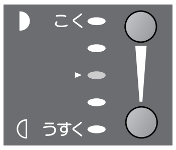
原稿サイズ

原稿サイズが正しく検知されないとき

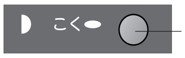
- A3 ：A3 (*1)
- B4 ：B4 (*1)
- A4 ：A4
- A4 ：A4R
- B5 ：B5
- B5 ：B5R
- A5 ：A5
- A5 ：A5R
- ハガキ ：はがき (*)

＊1：コピーサイズがハガキのときは A3、B4 は表示されません。

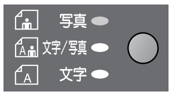
**3**



→ こく ・ うすく で
読み取り濃度を調整する


こく ：コピーがかすれるとき

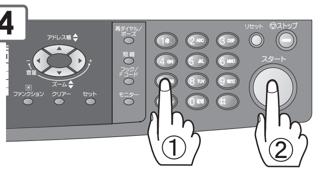
うすく ：コピーがにじむとき

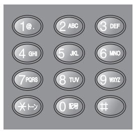


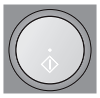
→ 原稿種類を選ぶ

**写真**　　　：写真中心の原稿
**文字／写真**：文字／写真混在の原稿
**文字**　　　：文字中心の原稿

**4**






スタート

コピー部数
（最大：999 部）

**原稿台ガラスからコピー時**

ソートモード（☞ 58 ページ）を選択し、複数部コピーしたときは、下記の手順でコピーを継続してください。

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

1: ﾊｲ → 他の原稿をセットし、スタート を押す。
2: ｲｲｴ → コピーが開始されます。

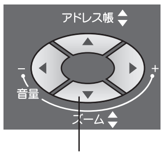
**3** 固定倍率でコピー

コピーサイズ

- **A3** ：A3
- **B4** ：B4
- **A4** ：A4
- **A4** ：A4R
- **B5** ：B5
- **B5** ：B5R
- **A5** ：A5
- **A5** ：A5R
- **ハガキ** ：**はがき** (*2)

＊2：原稿サイズが A3、B4 のときは表示されません。

任意倍率でコピー



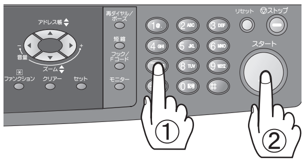
▲ 最大 200%（1%単位）
▼ 最小 50%（1%単位）
・押し続けると 10% 単位で変わります。

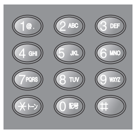
お知らせ

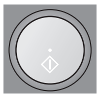
**コピーサイズの用紙が給紙カセットにないとき**

・手差しトレイを使用する。（☞ 31 ページ）
A4 サイズをはがきサイズにコピーしたときは、A4 原稿の縁の約 15mm 程度はコピーされないことがあります。

**4**






スタート

コピー部数
（最大：999 部）

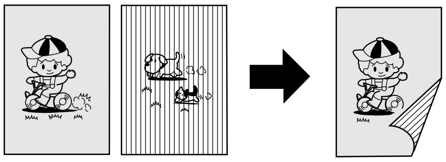
コピー編

# 便利な機能

## 片面原稿を両面コピー、両面原稿を両面 / 片面コピーしたいとき

### ■ 1 ➡ 2

片面原稿を両面でコピーしたいとき

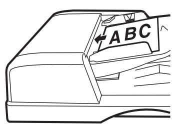


N イン 1 コピー（☞ 52 ページ）と組み合わせて使用可能です。

**お知らせ**

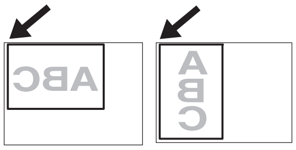
- 原稿読み取り中にメモリーフル表示になった状態で放置すると、読み取られた原稿イメージは消去されます。
- 組み合わせて行える動作については（☞ 68 ページ）
- ハガキサイズの片面→両面コピーは、等倍ではコピーできません。
  コピーサイズを変更したときはコピーできます。

**1** i-ADF/ADF



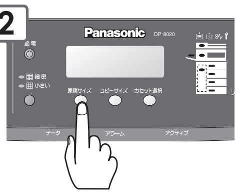
または

**原稿台ガラス**



＊「ハガキ」は、原稿台ガラスのみ

**2**

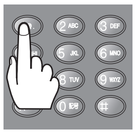



**原稿サイズ**

原稿サイズが正しく検知されないとき（☞ 44 ページ）

**原稿台ガラスのみ**
**手順 6 〜 9 までを行う**

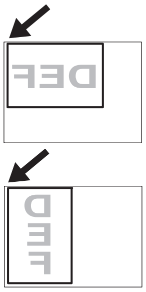
**6** ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ



1：ﾊｲ
　次の手順に進む

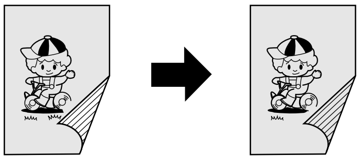
・「2：ｲｲｴ」を選ぶと読み取られた原稿のみが片面にコピーされます。

**7** 次の原稿

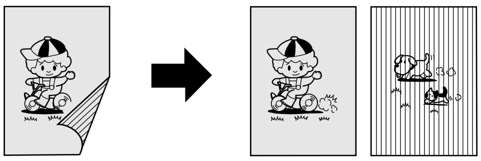


### ■ 2 ➡ 2、2 ➡ 1（DP-8020VA）

**2 → 2 コピー**
両面原稿を両面でコピーしたいとき



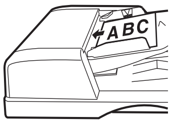
**2 → 1 コピー**
両面原稿を片面でコピーしたいとき



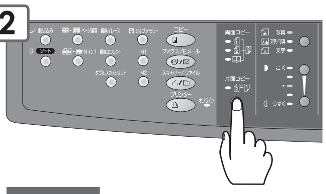
**お知らせ**

＊ i-ADF ではなく、ADF から両面原稿を読み取るときは、（☞ 48 ページ）
- 原稿読み取り中にメモリーフル表示になった状態で放置すると、読み取られた原稿イメージは消去されます。

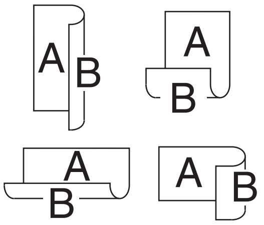
**1** i-ADF のみ＊

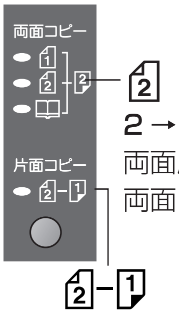


**2**



**長辺とじ原稿**　**短辺とじ原稿**

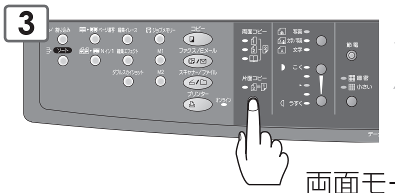




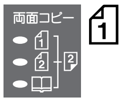

**2 → 2 コピー：**
両面原稿から両面コピー

**2 → 1 コピー：**
両面原稿から片面コピー

**3**

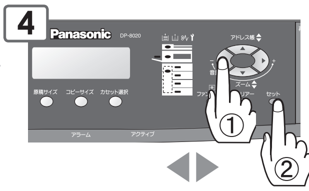


両面モード
を選ぶ



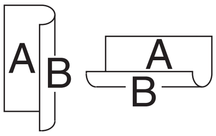

1 → 2 コピー：
片面原稿から両面コピー

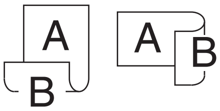
**4**



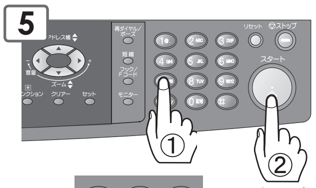
コピーのとじ
位置を選ぶ

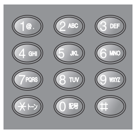
セット


長辺とじ

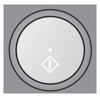

短辺とじ

**5**



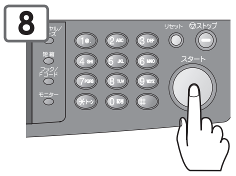

コピー部数
（最大: 999 部）

スタート

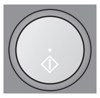


6 - 9
原稿台
ガラスか
らコピー
時のみ

**8**



スタート

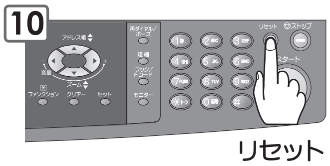


**9** ソートモードを選択し、複数部コピー
をしたときは、下記の手順でコピー
を継続してください。

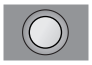
```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

1: ﾊｲ → 次の原稿を手順 7 と 8 で
読み取ります。
2: ｲｲｴ →コピーが開始されます。

**10**

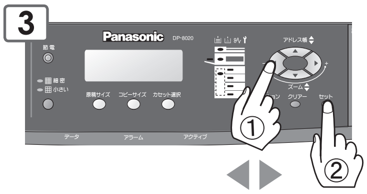


リセット



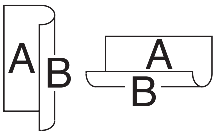
本モードを
解除する

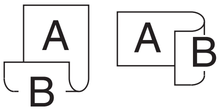
**3**



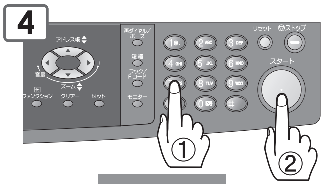
2 → 1 コピーのみ
原稿のとじ位置を選ぶ

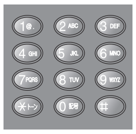
セット


長辺とじ

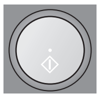

短辺とじ

**4**

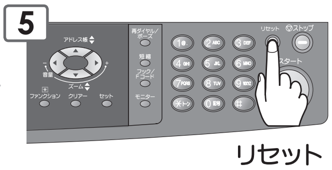



コピー部数
（最大：999 部）

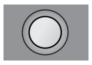
スタート



**5**



リセット

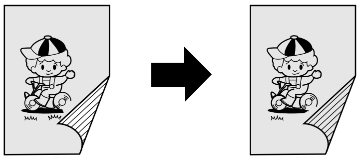


本モードを
解除する

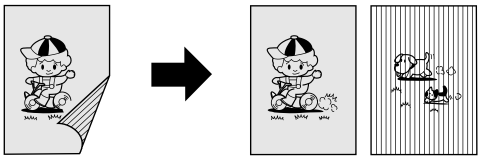
# 両面原稿を両面または片面でコピーしたいとき

## ■2➡2、2➡1（DP-8020P と ADF）

**2→2 コピー**
両面原稿を両面でコピーしたいとき



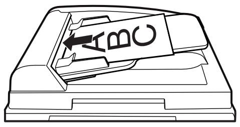
**2→1 コピー**
両面原稿を片面でコピーしたいとき



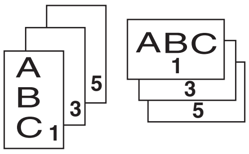
**お知らせ**

- 原稿読み取り中に内蔵メモリーがいっぱいになると、「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示され、読み取った原稿イメージは消去されます。

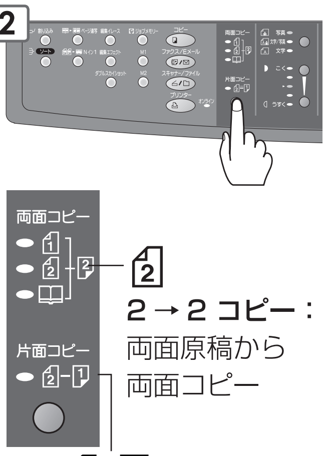
**1** ADF のみ



奇数ページのみをセットする



**2**



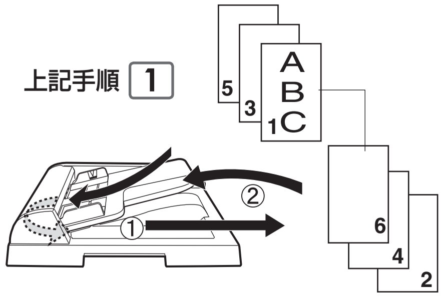

2→2 コピー：
両面原稿から両面コピー

2→1 コピー：
両面原稿から片面コピー

**5** 次の原稿（偶数ページ）をセットする

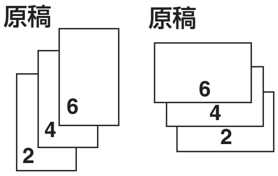
```
ｹﾞﾝｺｳﾉ ﾑｷﾊ ｿﾉﾏﾏﾆｼﾃ
ADFﾆ ｹﾞﾝｺｳｦ ｾｯﾄ
```

手順 1 でセットし、読み取りが終わり、排紙された状態のまま（反転された状態）で原稿をセットする。



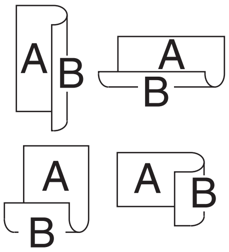

偶数ページ

長辺とじ原稿　短辺とじ原稿



**3**

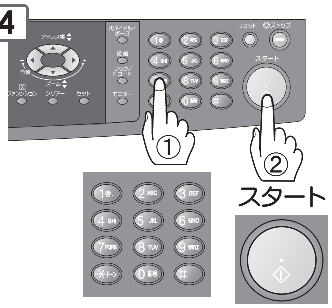
**2 → 1 コピーのみ**
原稿のとじ位置を選ぶ




**長辺とじ**

**短辺とじ**

**4**

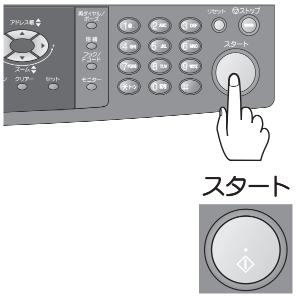



コピー部数
（最大：999 部）

**5**

**6**

```
ｹｲｿﾞｸ ｼﾏｽ
ｽﾀｰﾄｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```




**7**

```
ADFﾆｹﾞﾝｺｳｦｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

**お知らせ**

もし、最初に読み取った奇数ページ原稿と後で読み取った偶数ページの原稿枚数が異なると読み取られたすべてのイメージが消去されます。この場合は、手順 1 と 4 -② ～ 7 を繰り返してください。

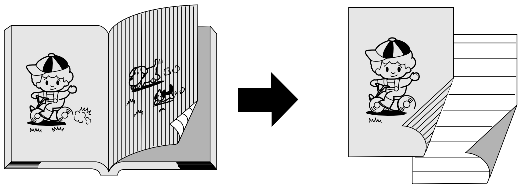
**8**

**本モードを解除する**

# ブック原稿を両面でコピーしたいとき

## ■ ブック ➡ 両面

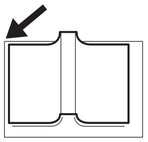
ブックフォーマットとページ順は、ファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「14 ﾌﾞｯｸ->2 ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」で変更することができます。
（☞ 86 ページ）



（ブックフォーマット：背合わせ）　（ページ順：1 → 2）

**ブックフォーマットが「背合わせ」のとき：**

**1** **原稿台ガラス**



見開きの原稿サイズ（A3、B4、A4R、B5R、A5R）

**2**

**原稿サイズ**

見開きでの原稿サイズを選択 *1

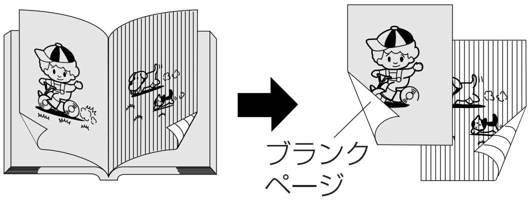
原稿が正しく検知されない場合のみ操作してください。

**5** ソートモードを選択し、複数部コピーをしたときは、下記の手順でコピーを継続してください。
（☞ 58 ページ）

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

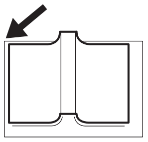
1: ﾊｲ → 次の原稿を手順 **1** と **4** -②で読み取る。
2: ｲｲｴ → 読み取った原稿のみがコピーされる。

**ブックフォーマットが「見開き」のとき：**




（ブックフォーマット：見開き）　（ページ順：1 → 2）

**1** **原稿台ガラス**



見開きの原稿サイズ（A3、B4、A4R、B5R、A5R）

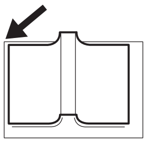
**2**

**原稿サイズ**

見開きでの原稿サイズを選択 *1

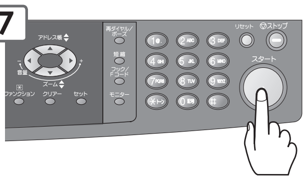
原稿が正しく検知されない場合のみ操作してください。

**6** **原稿台ガラス**

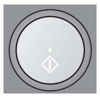


次の原稿（ページ）

**7**



**スタート**

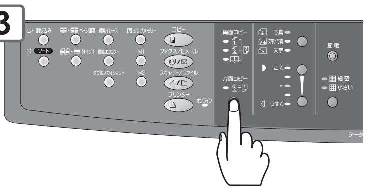


**お知らせ**

＊1 原稿サイズが正しく設定されていないと、上記サンプルのように正しくコピーされません。

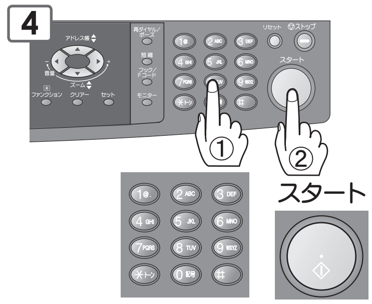
● 原稿読み取り中にメモリーフルになると、コピーを停止またはエラー表示を行います。コピーを停止するか、エラー表示を行うかは、ファンクション設定のコピー機能（キーオペレーター専用）「08 ﾒﾓﾘｰﾌﾙｼﾞ ﾉﾄﾞｳｻ」で設定できます。（☞ 86 ページ）お買い求め時は「ｲﾝｻﾂ（エラー表示を行う）」に設定されています。

**3**



📖 ブックから両面コピーを選ぶ *2

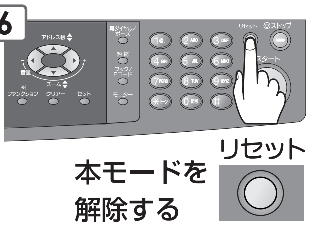
**4**




コピー部数
（最大：999 部）

**5**
ソートモード選択時のみ

**6**



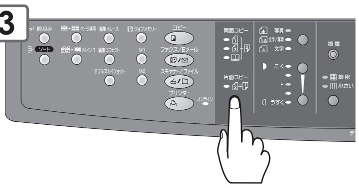

本モードを解除する

お知らせ

＊ 2 コピーサイズは自動的に設定されます。もし、コピーサイズの用紙がないときは、手差しトレイに用紙をセットするか、 コピーサイズ で別のコピーサイズを設定してください。

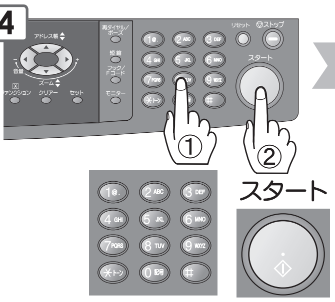
---

**3**



📖 ブックから両面コピーを選ぶ *2

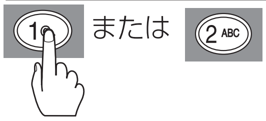
**4**




コピー部数
（最大：999 部）

**5**

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```




**6**

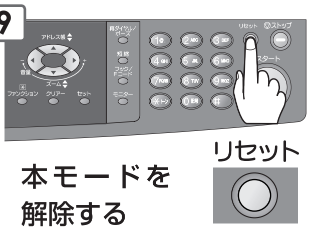
1: ﾊｲ → 次の原稿を読み取るために手順 6 へ進む。
2: ｲｲｴ → 読み取った原稿のみがコピーされる。

**8** ソートモードを選択し、複数部コピーをしたときは、下記の手順でコピーを継続してください。
(☞ 58 ページ)

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

1: ﾊｲ → 他の原稿を手順 6 と 7 で読み取る。
2: ｲｲｴ → 読み取った原稿のみがコピーされる。

**9**



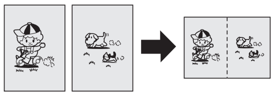

本モードを解除する

便利な機能

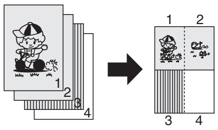
# 2 枚／ 4 枚の片面原稿を 1 枚の片面にコピーしたいとき

## ■N イン 1

●2 イン 1 コピー

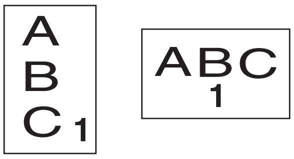


●4 イン 1 コピー




お知らせ

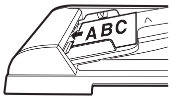
- 1→2 コピーと組み合わせて使用することが可能です。
- 原稿内容の向き（タテ／ヨコ）が正しく設定されていないと、下図（N イン 1 コピーイメージ一覧）のように、ページ順に整列したコピーができません。そのときは、ファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「05 N ｲﾝ 1 ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ」で正しい原稿内容の向きに設定してください。
(☞ 85 ページ)



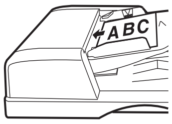

タテ　　ヨコ

- レイアウトの設定（初期設定値)は､ファンクション設定モードのコピー機能（一般用)「05 N ｲﾝ 1 ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ」で変更することできます。
(☞ 85 ページ)
- ハガキサイズの原稿の場合は､「N ｲﾝ 1」機能は利用できません。

**1** ADF

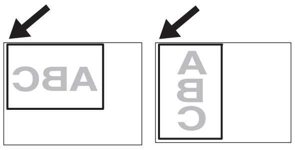



i-ADF




または

原稿台ガラス

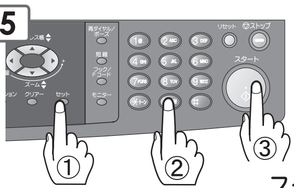



**2**

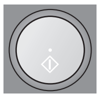
原稿サイズ

原稿サイズが正しく検知されないとき
(☞ 44 ページ)

**5**

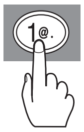



セット　コピー部数（最大:999 部)　スタート



**6** 手順 6 ～ 10 は、原稿台ガラスからコピー時のみ

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```



1: ﾊｲ → 次のステップに進む
2: ｲｲｴ → 読み取った原稿のみがコピーされます。

**10** ソートモード（☞ 53 ページの お知らせ ）を選択し、複数部コピーを指定したときは、下記の手順でコピーを継続してください。

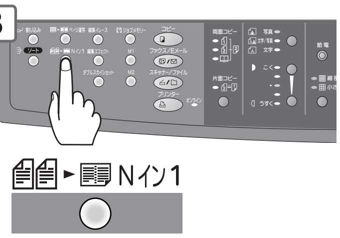
```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

1: ﾊｲ → 他の原稿を手順 7 と 8 で読み取ります。
2: ｲｲｴ → 読み取った原稿のみがコピーされます。

N イン 1 コピーイメージ一覧

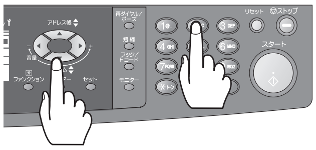
| モード | 原稿 | レイアウト |
|---|---|---|
| 2 イン1 | 1　2　（ヨコ） | 1/2　2/1 |
| | A5/B5/A4 のみ　1　2　（タテ） | 1 2　2 1 |

**3**




**4**

```
N イン 1            (1-2)
バンゴウヲ イレル  マタハ V Λ
```



▲▼ または 1@. または 2ABC
2 イン 1　　4 イン 1

**2 イン 1**

```
1:2イン1?
セット デ センタク
```

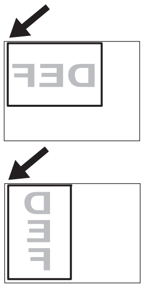
または

**4 イン 1**

```
2:4イン1?
セット デ センタク
```

5

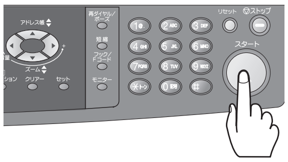
**7** 原稿台ガラス



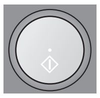
次の原稿

**8**

```
ケイゾク シマス
スタートキーヲ オシテクダサイ
```



スタート



2 イン 1 の場合と 4 イン 1 で 4 枚目の原稿で「スタート」を押すと、コピーを開始して手順 10 または 11 へ進みます。

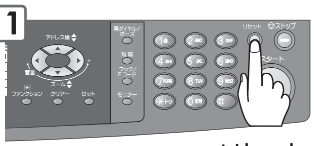
**9** 4 イン 1 コピーのみ

```
ツギノ ゲンコウガ アリマスカ?
1:ハイ 2:イイエ
```

1:ハイ → 原稿の 3 枚目、4 枚目があるときは「ハイ」を選び、手順 7・8 へ進みます。
2:イイエ → コピーを開始します。

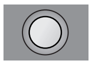
10

**11**



本モードを解除する

リセット



お知らせ

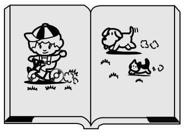
- 原稿台ガラスからのコピーでのデフォルト設定は「ノンソート」です。
- ファンクション設定のコピー機能（一般用）「11 FB コピーシアゲデフォルト」で「ソート」に変更できます。（☞ 85 ページ）

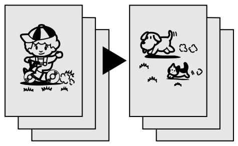
| モード | 原稿 | レイアウト |
|---|---|---|
| 4 イン 1 | 1 2 3 4 （ヨコ） | 1 2 / 3 4　1 3 / 2 4　2 1 / 4 3　3 1 / 4 2 |
| | A5/B5/A4 のみ<br>1 2 3 4 （タテ） | 1 2 / 3 4　1 3 / 2 4　2 1 / 4 3　3 1 / 4 2 |

# ブック原稿をページごとにコピー、両面原稿を片面に並べてコピーしたいとき

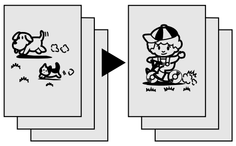
## ■ページ連写

ブック原稿をページごとにコピーしたいとき





ページ順：1 → 2
左ページよりコピーする

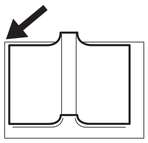


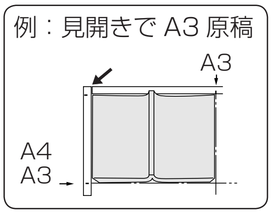
ページ順：2 → 1
右ページよりコピーする

**お知らせ**

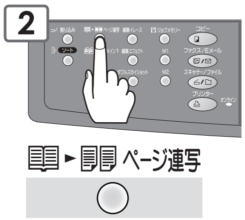
ページ順の初期設定値は、ファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「16 ﾍﾟｰｼﾞ ﾚﾝｼｬ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」で変更することができます。（初期設定値：1 → 2）
（☞ 86 ページ）

**1** 原稿台ガラス






**2**



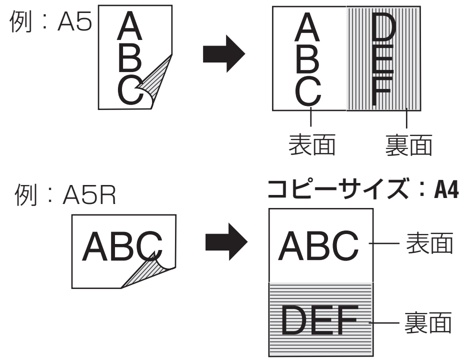

**6** ソートモードを選択し、複数部コピーを指定したときは、下記の手順でコピーを継続してください。（☞ 58 ページ）

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

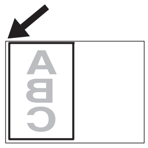
1：ﾊｲ → 他の原稿を手順 **1** と **5** - ②で読み取る。
2：ｲｲｴ → 読み取った原稿のみがコピーされる。

## ■ ダブルスカイショット

両面原稿（A4 サイズ以下）を片面ずつ読み取り、片面 1 枚に並べてコピーしたいとき



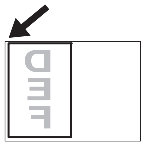

**1** 原稿台ガラス



原稿（表面）原稿サイズ：A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R のみ

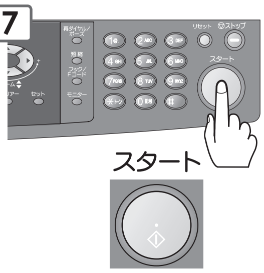
**2**

**6** 原稿台ガラス



原稿（裏面）

**7**

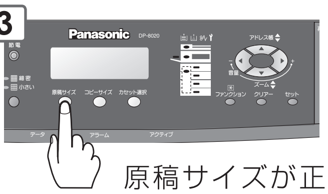



**お知らせ**

ADF を開けたまま、または、閉じた状態のどちらでもコピーできます。開けたままでコピーすると、下記のような現象が出ることがあります。そのときは、ADF を閉じてコピーしてください。

- 原稿台ガラス上が周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。
- 黒い外縁（白い縁がない）がある原稿は、黒い部分を正しくコピーしない（白く抜ける）ことがあります。

**3**



原稿サイズ

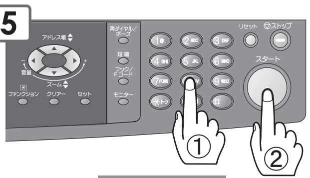
原稿サイズが正しく検知されないとき A3、B4 または A4R、B5R、A5R のみ *[1]

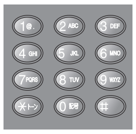
**4**

コピーサイズ

| 原稿サイズ | | コピーサイズ *[2] |
|---|---|---|
| A3 | → | A4 |
| B4 | → | B5 |
| A4R | → | A5 |
| B5R | → | B5 |
| A5R | → | A5 |

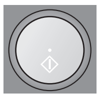
**5**





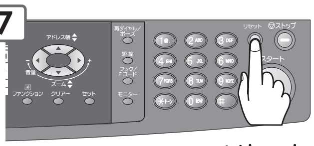
コピー部数
( 最大：999 部 )

スタート



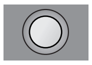
**6**

**7**



本モードを解除する

リセット

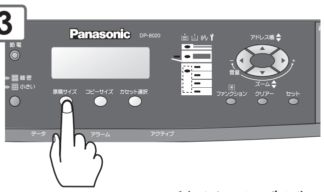


お知らせ

＊ 1 もし、原稿サイズが正しく設定されていないと、左ページのサンプルのように正しくコピーされません。

＊ 2 コピーサイズは自動的に設定されます。もし、コピーサイズの用紙がないときは、手差しトレイに用紙をセットするか、 コピーサイズ で別のコピーサイズを設定してください。

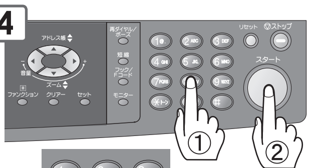
**3**

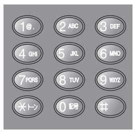


原稿サイズ

原稿サイズが正しく検知されないとき A4、A4R、B5、A5、B5R、A5R のみ

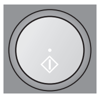
**4**





コピー部数
( 最大：999 部 )

スタート



**5**

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

**6**

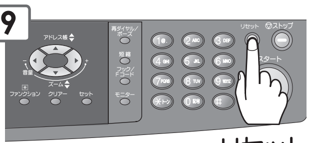
1: ﾊｲ → 次のステップに進む
2: ｲｲｴ → 読み取られた原稿のみがコピーされます。

**8** ソートモードを選択し、複数部コピーを指定したときは、下記の手順でコピーを継続してください。

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

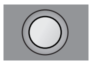
1: ﾊｲ → 他の原稿を手順 6 と 7 で読み取ります。
2: ｲｲｴ → 読み取られた原稿のみがコピーされます。

**9**



本モードを解除する

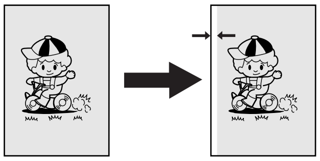
リセット



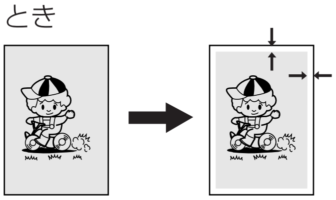
# コピーの端、周囲、中央に余白を付けたいとき

## ■編集イレース（とじ代／エッジ）

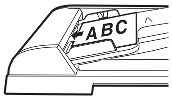
**とじ代**
コピーの端（左、右、上または下）に余白を付けたいとき



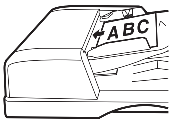
**エッジ**
コピーの周囲に余白を付けたいとき



1 ADF

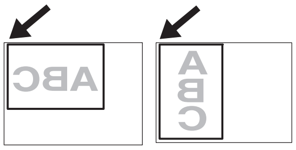


i-ADF



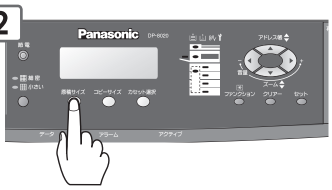
または

**原稿台ガラス**




＊「ハガキ」は、原稿台ガラスのみ

2




**原稿サイズ**

原稿サイズが正しく検知されないとき

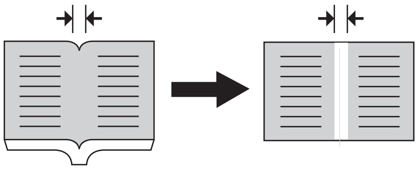
- **A3** ▭ : A3
- **B4** ▭ : B4
- **A4** ▯ : A4
- **A4** ▭ : A4R
- **B5** ▯ : B5
- **B5** ▭ : B5R
- **A5** ▯ : A5
- **A5** ▭ : A5R
- **ハガキ** : はがき (*)

**お知らせ**

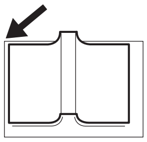
- 手順 6 で何も操作をしないと、セット を押さなくても約 10 秒で 編集イレース が点灯に変わり、表示されている値で設定されます。
- とじ代の位置、余白のサイズ、エッジの幅の個別変更などは、ファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「00 ﾄｼﾞｼﾛ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」および「01 ｴｯｼﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」で変更することができます。（☞ 85 ページ）

## ■編集イレース（ブック）

**ブック**
コピーの中央に余白をつけたいとき

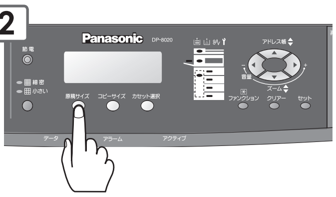


1 **原稿台ガラス**



＊「ハガキ」は、原稿台ガラスのみ

2




**原稿サイズ**

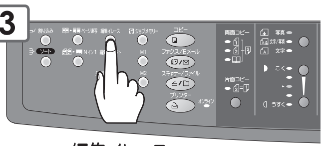
原稿サイズが正しく検知されないとき

- **A3** ▭ : A3
- **B4** ▭ : B4
- **A4** ▯ : A4
- **A4** ▭ : A4R
- **B5** ▯ : B5
- **B5** ▭ : B5R
- **A5** ▯ : A5
- **A5** ▭ : A5R
- **ハガキ** : はがき (*)

**お知らせ**

- 手順 6 で何も操作をしないと、セット を押さなくても約 10 秒で 編集イレース が点灯に変わり、表示されている値で設定されます。

**3**

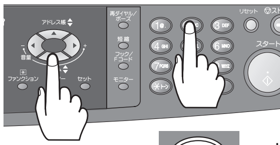


編集イレース

キー点滅

**4**

```
ｲﾚｰｽ ﾓｰﾄﾞ (1-3)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ  ﾏﾀﾊ V Λ
```



▲▼または 1@. ：トジシロ

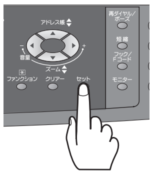
2ABC ：エッジ

**5**

```
1:ﾄｼﾞｼﾛ
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

または

```
2:ｴｯｼﾞ
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```



セット

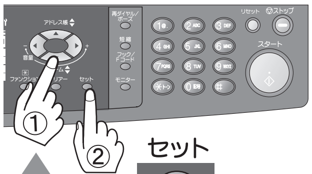
→ **6**

**6** とじ代

```
ﾋﾀﾞﾘ ﾄｼﾞｼﾛ
           10mm VΛ
```

エッジ

```
ｼｭｳｲ ﾖﾊｸ
ｼﾛﾇｷ ﾖﾊｸ=     5mm  Λ
```

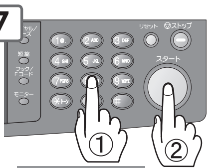


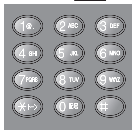
▲▼ とじ代、エッジ幅、5～99mm

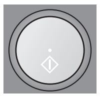
① ② セット

編集イレース が点灯に変わります。

**7**



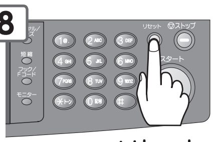




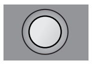
① ② スタート

コピー部数
(最大：999 部)

**8**



リセット



本モードを解除する

（エッジの場合）

ファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「01 ｴｯｼﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」で「ｺﾍﾞﾂ ﾖﾊｸ」に変更すると、下記の手順となります。

```
> ｽｲﾁｮｸ ﾎｳｺｳ:5 mm
< ｽｲﾍｲ ﾎｳｺｳ :5 mm
```

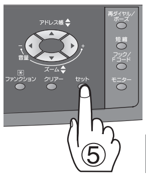
▶

```
ｽｲﾁｮｸ ﾎｳｺｳ ﾉ ﾖﾊｸ(Y)
ｼﾛﾇｷ ﾖﾊｸ=     5mm  Λ
```

▶

```
ｽｲﾍｲ ﾎｳｺｳ ﾉ ﾖﾊｸ (X)
ｼﾛﾇｷ ﾖﾊｸ=     5mm  Λ
```

▶



① ▶ **キー**　② ▲▼ 5-99 mm　③ ▶ **キー**　④ ▲▼ 5-99 mm　⑤ セット

**3**

編集イレース

キー点滅

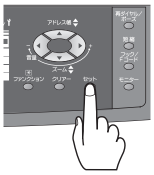
**4**

```
ｲﾚｰｽ ﾓｰﾄﾞ (1-3)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ  ﾏﾀﾊ V Λ
```

▲▼または 3DEF ：ブック

**5**

```
3:ﾌﾞｯｸ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

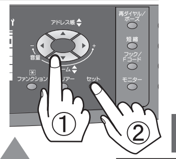


セット

→ **6**

**6**

```
ﾌﾞｯｸ ﾄｼﾞｼﾛ
ｼﾛﾇｷ ﾊﾊﾞ=     20mm VΛ
```

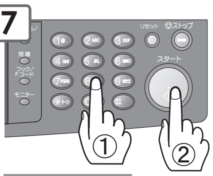


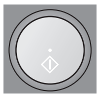
① ② セット

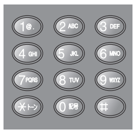
▲▼ 5～99 mm

編集イレース が点灯に変わります。

**7**



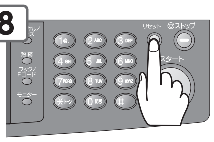




① ② スタート

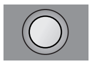
コピー部数
(最大：999 部)

**8**



本モードを解除する

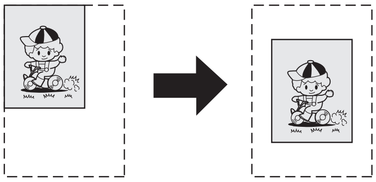
リセット



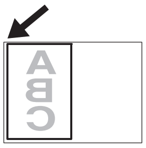
コピー編

## ■編集エフェクト（センタリング／イメージリピート）

**センタリング**
用紙の中央にコピーしたいとき

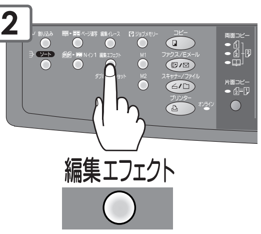


**1** 原稿台ガラス



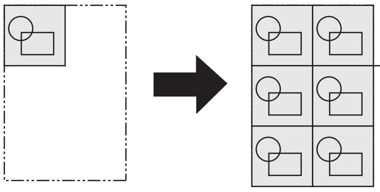
ADF を開ける

**2**



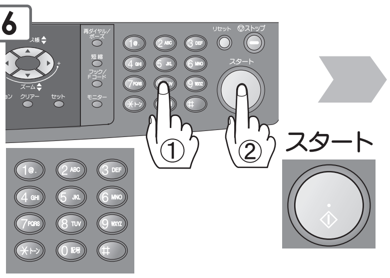

キー点滅

**イメージリピート**
一つのイメージを並べてコピーしたいとき
最小原稿サイズ：20 × 20mm



**ミシン目**
ファンクション設定モードで印刷するか、しないかを選択できます。
(☞ 86 ページ)

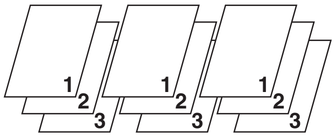
**6**



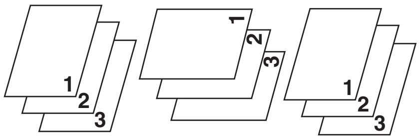

コピー部数
(最大:999 部)

## ■ソート

**ソート**
複数部コピーを自動丁合いさせたいとき



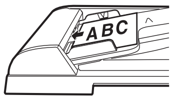
**回転ソート**
複数部コピーが自動丁合いされ、丁合いごとに 90 度回転して排出されます。



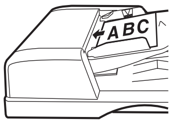
A4 サイズのみ。

**ノンソート**
コピーはそのまま排出されます。

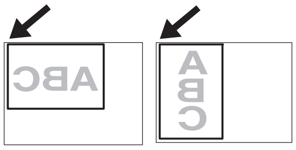
**1** ADF



i-ADF

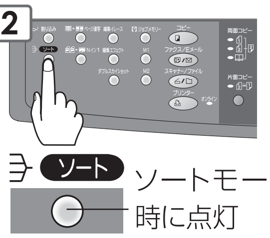


または
**原稿台ガラス**



＊「ハガキ」は、原稿台ガラスのみ

**2**




ソートモード時に点灯

**ソートモードの初期値**

| | |
|---|---|
| ADF からのコピー時 | ：ソート |
| 原稿台ガラスからのコピー時 | ：ノンソート |
| 回転ソート | ：オフ |

**手順 5 ～ 8 は原稿台ガラスからのコピー時のみ**

**5**

ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

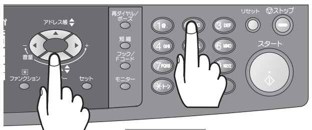
1：ﾊｲ
→ 手順 6 に進みます。
2：ｲｲｴ
→ 読み取られた原稿のみがコピーされます。

お知らせ

- ソート / 回転ソートのデフォルト設定は、ファンクション設定で切り替えることができます。
  ADF または FB ｺﾋﾟｰｼｱｹﾞﾃﾞﾌｫﾙﾄ（☞ 85 ページ）
  回転ソート：オフ（☞ 82 ページ）

3

```
ｴﾌｪｸﾄ            (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ  ﾏﾀﾊ V Λ
```



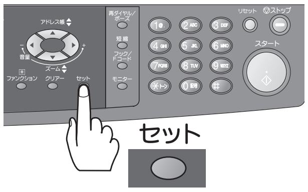
▲▼ または 1 : センタリング
2 : イメージリピート

4

```
1:ｾﾝﾀﾘﾝｸﾞ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ  ｾﾝﾀｸ
```

または

```
2:ｲﾒｰｼﾞ ﾘﾋﾟｰﾄ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ  ｾﾝﾀｸ
```



セット

5

```
ｶｾｯﾄ ｾﾝﾀｸ
ｶｾｯﾄ1            V Λ
```

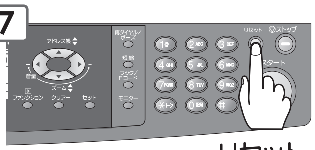
① ② セット

▲▼
ｶｾｯﾄ 1
ｶｾｯﾄ 2
ｶｾｯﾄ 3
ｶｾｯﾄ 4
ﾃｻﾞｼ

編集エフェクト が点灯に変わります。

6

7



本モードを解除する

リセット

お知らせ

ADF を開けたままでコピーします。

- 原稿台ガラス上または周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。
- 原稿の周囲に余白（2 mm 以上）がないと正しく原稿範囲が検知されず、コピー画像が極端にみだれる場合があります。そのときは、ファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「07 ｽｶｲｼｮｯﾄ ﾉ ｷﾘｶｴ」で、スカイショットモード機能を「オフ（機能なし）」にしてください。（☞ 85 ページ）

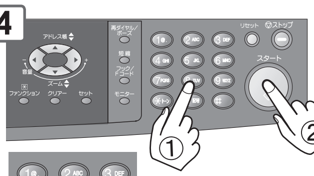
3

原稿サイズ

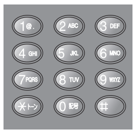
原稿サイズが正しく検知されないとき

| | |
|---|---|
| A3 ▭ : A3 | B5 ▭ : B5R |
| B4 ▭ : B4 | A5 ▯ : A5 |
| A4 ▯ : A4 | A5 ▭ : A5R |
| A4 ▭ : A4R | ハガキ : はがき (*) |
| B5 ▯ : B5 | |

4



① ② スタート



コピー部数
( 最大:999 部 )

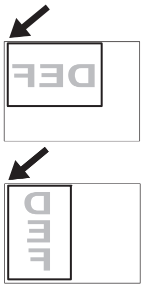
5 ～ 8

原稿台ガラスからのコピー時のみ

お知らせ

回転ソートでコピーするときは、A4 と A4R の 2 種類の用紙を別々の給紙カセット（手差しトレイを含む）にセットしてください。

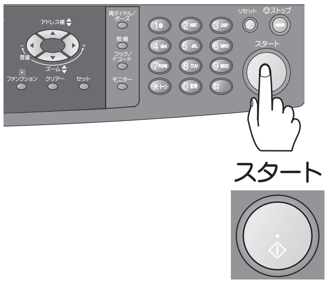
6 原稿台ガラス



次の原稿

7

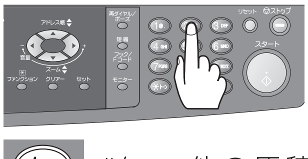
```
ｹｲｿﾞｸ ｼﾏｽ
ｽﾀｰﾄｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```



スタート

8

```
ﾂｷﾞ ﾉ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ｱﾘﾏｽｶ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```



1 :ﾊｲ → 他の原稿を手順 6 と 7 で読み取ります。
2 :ｲｲｴ → コピーが開始されます。

# ADF を開けたままコピーしたいとき

## ■スカイショットモード

ADF を開けたままコピーしてもコピーの周囲が黒く汚れないスカイショットモード機能です。

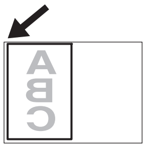
・スカイショットモードは原稿により「チクジ」と「ページ」に切り替えて使用することができます。切り替えるときはファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「07 ｽｶｲｼｮｯﾄ ﾉ ｷﾘｶｴ」で選択することができます。(☞ 85 ページ)

**1: オフ**　：なし（機能なし）

**2: チクジ**：スカイショットの範囲を検出しながらコピーします。
通常はこのモードで使用します。

**3: ページ**：「チクジ」よりも高精度にスカイショットします。色地原稿やコピー濃度を調整してスカイショットするときに適します。

**1** 原稿台ガラス




ADF を開ける

## ■伝票モード

あらかじめ設定された伝票サイズ（原稿サイズ）の範囲内のみがコピーされます。

・ADF を開けたまま、または、閉じた状態でもコピーすることができます。

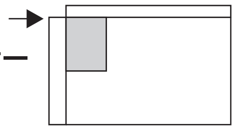
・ファンクション設定モードのコピー機能（一般用）「08 ﾃﾞﾝﾋﾟｮｳﾓｰﾄﾞ ｷﾘｶｴ」で「オン」にしてから本モードを使用します。(☞ 85 ページ)

**お知らせ**

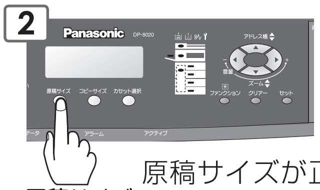
● 伝票モードでメモリー M1 または M2 を使用しているときはジョブメモリー（☞ 64 ページ）用として使用できません。

● 原稿台ガラス上が周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。そのときは、ADF を閉じてください。

**1**



**2**

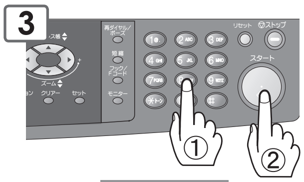


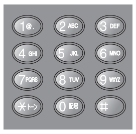
原稿サイズ

原稿サイズが正しく
検知されないとき

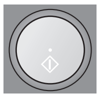
- **A3** ▭ **:** A3
- **B4** ▭ **:** B4
- **A4** ▯ **:** A4
- **A4** ▭ **:** A4R
- **B5** ▯ **:** B5
- **B5** ▭ **:** B5R
- **A5** ▯ **:** A5
- **A5** ▭ **:** A5R
- **ハガキ** **:** **はがき**

**3**



スタート



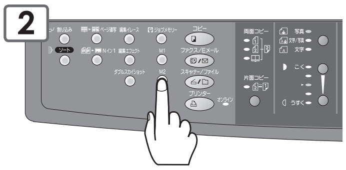
コピー部数
( 最大：999 部 )

**お知らせ**

ADF を開けたままでコピーします。

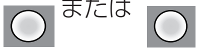
- 原稿台ガラス上または周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。そのときは、ADF を閉じてください。
- 原稿の周囲に余白（2 mm 以上）がないと正しく原稿範囲が検知されず、コピー画像が極端にみだれる場合があります。そのときは、スカイショットモード機能をファンクション設定モードで「オフ」にしてください。

**2**



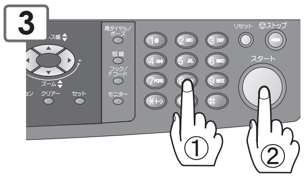
伝票サイズを選ぶ

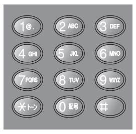
M1 または M2



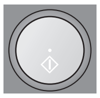
- M1 および M2 の伝票サイズは、ファンクション設定モードで変更できます。(☞ 86 ページ)

**3**



スタート



コピー部数
( 最大：999 部 )

便利な機能

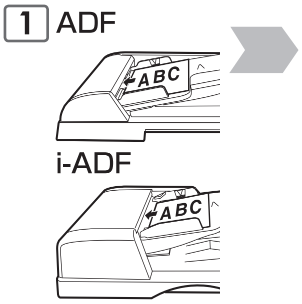
# 薄い原稿を ADF より連続コピー、次のコピーを予約したいとき

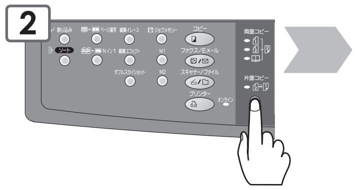
## ■ SADF モード

重ねて給紙しにくい薄い原稿（最小 50g/m$^2$）を ADF より読み込ませ連続コピーしたいとき

**お知らせ**

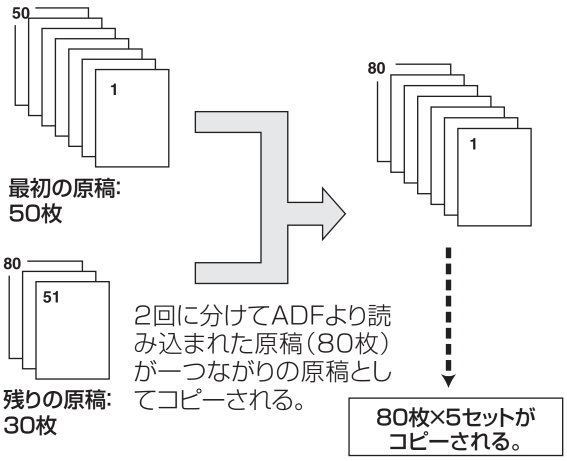
SADF モードの初期設定値は、「ｵﾌ」です。ご使用のときは、ファンクション設定モードのコピー機能（キーオペレーター専用）「12 SADF ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」で初期設定値を「ｵﾝ」にしてください。
（☞ 86 ページ）

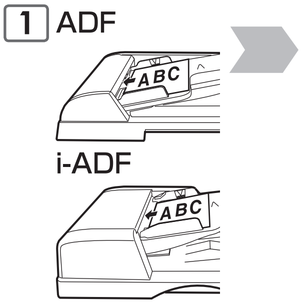


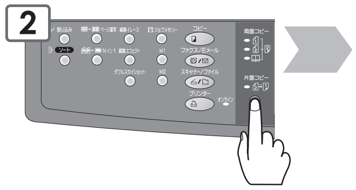




必要に応じコピーモードを設定する。

**応用例**：SADF 機能を活用すると ADF の原稿給紙上限枚数（50 枚）以上の原稿も連続してコピーすることができます。
例：80 枚の原稿を 5 部コピーする。



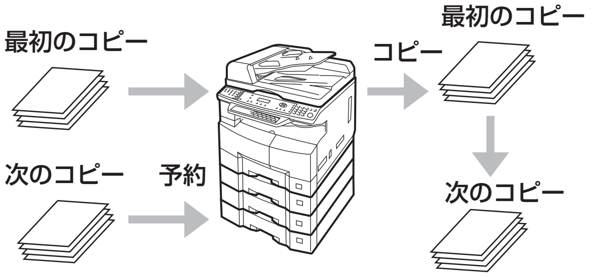

最初の原稿（50 枚）を原稿台（ADF）にセットする。

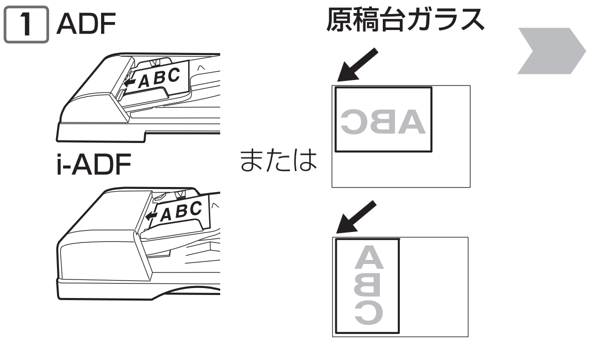
必要に応じコピーモードを設定する。

## ■ コンカレントコピー

コピー印刷中に次のコピー原稿を読み込ませたいとき

- 本機能使用時は、オプションのハードディスクユニットとメモリーボードが必要です。

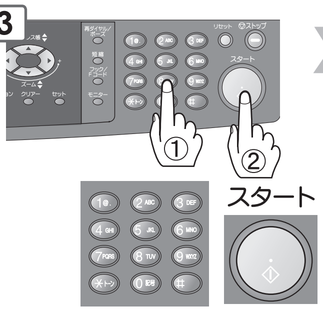



**お知らせ**

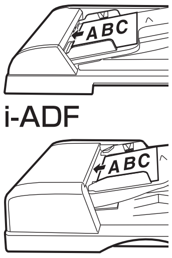
- SADF 機能は、両面→片面コピー、両面→両面コピーと組み合わせての使用はできません。（DP-8020P）
- コンカレントコピーは、SADF 機能を「オフ」のときのみ、使用可能です。もし、「オン」のときは、ファンクション設定モードでデフォルト値を「オフ」にしてください。

3




コピー部数
( 最大：999 部 )

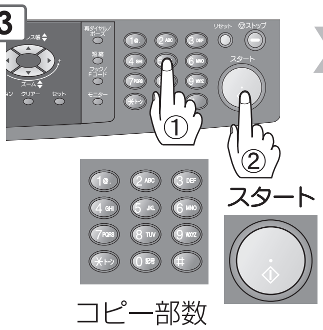
4 ADF




最初の原稿が読み込まれ、排出された後、5 秒以内に次の原稿をセットします。

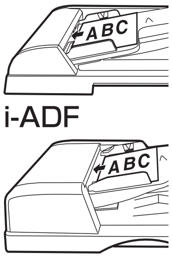
次の原稿が読み込まれ、連続してコピーされます。

3




コピー部数
( 最大：999 部 )
(**例**：5 部)

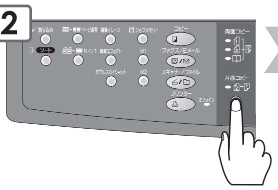
4 ADF




最初の原稿（50 枚）が読み込まれ、排出された後、5 秒以内に次の原稿をセットします。（30 枚）

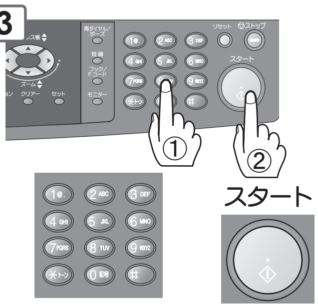
次の原稿 (30 枚) が読み込まれ、連続コピーされます。
(**例**：80 枚のソートコピーが 5 部)

2



必要に応じコピーモードを設定する。

3




コピー部数
(最大:999 部)

最初のコピーを開始します。

4 最初のコピーが開始したら、次の原稿をセットし、手順 1 ～ 3 を繰り返す。
次の原稿が読み込まれます。
- コピー予約数は最大 12 までです。

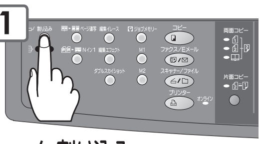
5 最初のコピーが終了したら、予約順に次のコピーが開始されます。

# コピー中に割り込んで他のコピーをしたいとき、節電機能を設定したいとき

## ■割り込みモード

コピー中に割り込んで
他のコピーをしたいとき

1

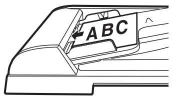


割り込み

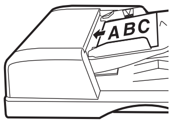
コピー動作中に押す

2 割り込ませるコピー

ADF

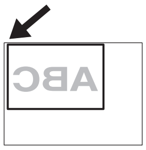


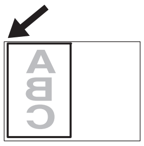
i-ADF



または

原稿台ガラス



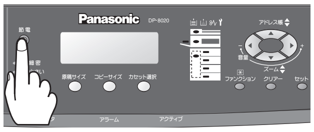


## ■節電（セツデンモード、スリープ／シャットダウンモード）

本機の節電機能を設定したいとき

### セツデンモード

**入りかた**




節電

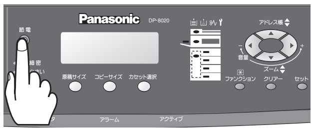
手動のとき

または ファンクション設定モードで選んだタイマーで最終ジョブ終了後に自動的に入る。
（初期設定値：スリープ、10 分 *[1]）

節電

点滅する

**解除のしかた**




節電

または、コントロールパネルのいずれかのキー

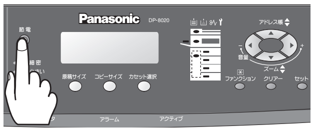
### スリープ／シャットダウンモード *[2]

ファンクション設定モードで選んだタイマーで
最終ジョブ終了後に自動的に入る。
（初期設定値：スリープ、10 分 *[1]）

節電

点灯する

**解除のしかた**




節電

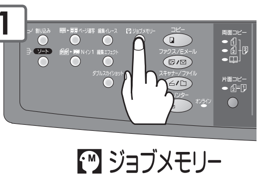
## ■ジョブメモリー

よく使用するコピーモードを本体に記憶させておきたいとき

コピーモードを設定する。

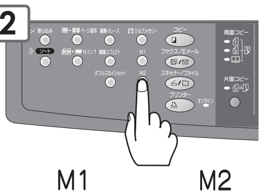
**ジョブの記憶のさせかた**

1



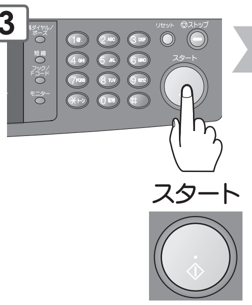
ジョブメモリー

2



M1 または M2

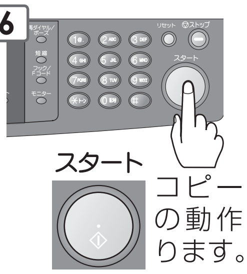
**3**




**4** 割り込ませたコピーが終了

**5**

**6**




コピー途中の動作に戻ります。

お知らせ

＊ 1 タイマーの設定（☞ 82 ページ）

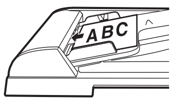
＊ 2 FAX モード システム登録「96 NTT ﾌｧｸｼﾐﾘﾂｳｼﾝﾓｳ」が「1: ﾅｼ」以外に設定されているとき、シャットダウンモードにならずにセツデンモードになります。

| 設定 | 消費電力 | レディまでの復帰時間 | 使用できない機能 |
|---|---|---|---|
| ナシ（機能ナシ） | 約 110 W | — | ――――――（通常待機状態） |
| セツデン | 約 19 W | 約 30 秒 | ―――――――― |
| スリープ | 約 9 W | 約 30 秒 | ―――――――― |
| シャットダウン | 約 1.4 W | 約 30 秒 | · プリンター（USB ローカルおよびネットワーク）<br>· インターネット／ E メール<br>· ファクス<br>LAN 接続されており、DHCP サーバー機能が「アリ」のときに本機がシャットダウンモードに入っていると受信できないことがあります。 |

· 上記消費電力は、ヒータースイッチ「OFF」時です。ヒータースイッチ「ON」時は、それぞれ約 17 W 加算されます。

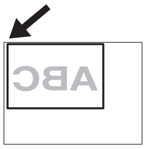
**記憶ジョブを呼び出しコピーする**

**1** ADF

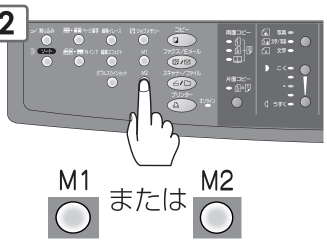


または

**原稿台ガラス**

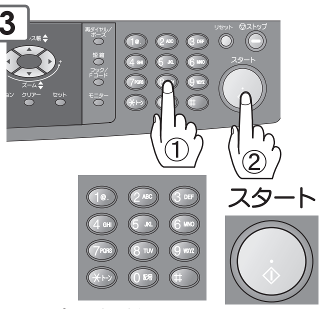


**2**




M1 または M2 を押した後に、原稿サイズが表示されないときは、原稿サイズ でサイズを設定してください。

**3**




コピー部数
( 最大：999 部 )

お知らせ

● M1、M2 に記憶されたコピージョブは、電源を切っても保持されます。

● 伝票モードで M1、M2 を「オン」にしているときは、ジョブメモリーモードは使用できません。



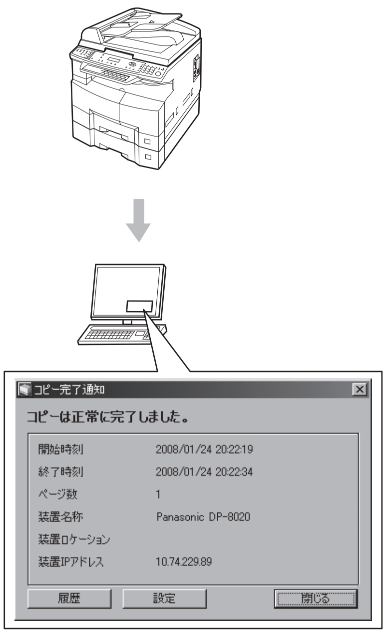
コピー編

# コピーの終了をコンピューターに通知したいとき

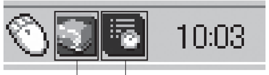
## ■終了通知

終了通知を使用すると、コピーの終了をコンピューターに通知できます。

この機能を使用するためには、通知先のコンピューターに Panasonic コミュニケーションユーティリティと Job Status Utility がインストールされている必要があります。
インストールの方法は、添付されている CD 内の取扱説明書「ソフトウェア (Panasonic Document Management System セットアップ編 )」を参照してください。




**1**




通知先のコンピューターにコミュニケーションユーティリティと Job Status Utility のアイコンが表示されていることを確認する

- タスクバーに Job Status Utility アイコンが表示されない場合は、［スタート］、［すべてのプログラム］、［Panasonic］、［Job Status Utility］、［Job Status Utility］の順に選択します。

**通知先のコンピューターを選択する**

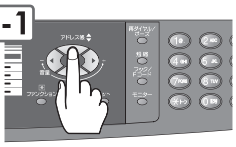
短縮

**4-1**

```
ﾀﾝｼｭｸ [_ ]
ﾀﾝｼｭｸNO. ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

アドレス帳

**4-1**



▲または▼

```
ｱﾄﾞﾚｽ ﾁｮｳ         <ｶﾅ
_
```

ワンタッチ

**4-1**

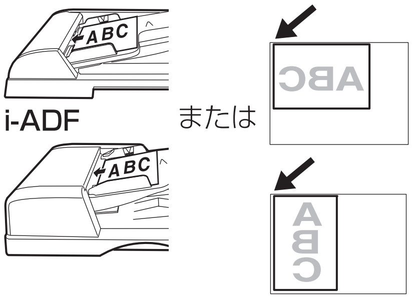
```
<10>ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
10.74.252.63
```

**お知らせ**

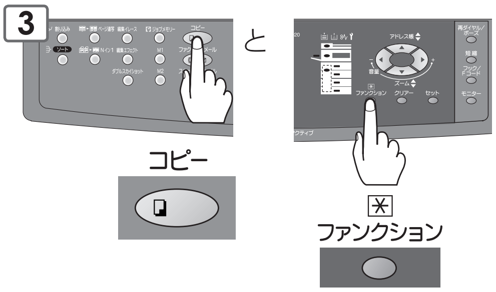
- 「ワンタッチ」はキーボード（DA-KB180）を装着しているときに表示されます。
- 終了通知は本機がネットワークに接続されているときに使用できます。
- 終了通知をリセットするには、コピーキーとファンクションキーを同時に押してください。
- 終了通知は、オートクリアータイム経過後や リセット を押しても停止します。

2 ADF

原稿台ガラス




3

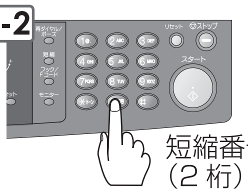



4-1

コピーキーとファンクションキーを同時に押す

```
ｼｭｳﾘｮｳ ﾂｳﾁ
ｿｳｼﾝｻｷ ｦ ｾﾝﾀｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

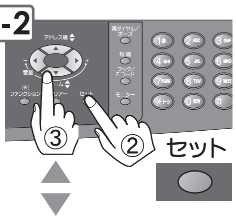
4-2



短縮番号（2 桁）

```
[01]ｴｲｷﾞｮｳ
10.74.252.66
```

4-2



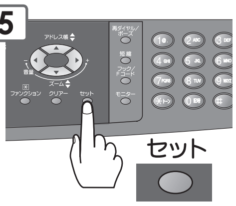

①最初の数文字を入力する (☞ 70 ページ)

```
ｱﾄﾞﾚｽ ﾁｮｳ        <ｶﾅ
ｴ_
```

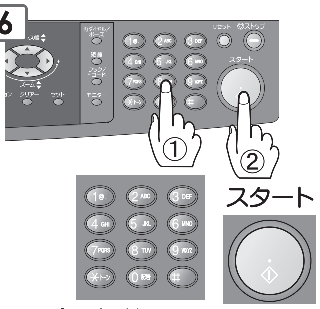
```
<06>ｴｲｷﾞｮｳ 3
<05>ｴｲｷﾞｮｳ 2
<01>ｴｲｷﾞｮｳ
10.74.252.66
```

③ ③

5




6




コピー部数
( 最大：999 部 )

コピーが終了すると通知先のコンピューターに終了通知が表示されます。

お知らせ

● 通知先のコンピューターを選択するためには、あらかじめ短縮、ワンタッチに登録してください。(☞ 74 ページ)

コピー編

# コピー動作組み合わせ表

| 最初の機能指定＼後の機能指定 | 1➡2 | 2➡1 | 2➡2 | ブック➡2 | ページ連写 | Nイン1 | ソート／回転ソート | ノンソート | ズーム | エッジ | ブック | とじ代 | イメージリピート | センタリング | 割り込み＊ | 伝票モード | スカイショット | ダブルスカイショット |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1➡2 | A | A | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | ◎ | A | A | ◎ | A |
| 2➡1＊ | A | A | A | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | A | A | × | × |
| 2➡2＊ | A | A | A | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | A | A | × | × |
| ブック➡2 | A | A | A | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | A | A | ◎ | × |
| ページ連写 | A | A | A | A | R | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | A | A | ◎ | × |
| Nイン1 | ◎ | A | A | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | A | A | ◎ | × |
| ソート／回転ソート | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | R | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | A | ◎ | ◎ |
| ノンソート | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | R | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | ◎ | ◎ | ◎ |
| ズーム | ◎ | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | A | ◎ | ◎ |
| エッジ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | ◎ | ◎ | A | × | A | A | ◎ | ◎ |
| ブック | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | ◎ | A | × | A | A | ◎ | ◎ |
| とじ代 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | A | × | A | A | ◎ | ◎ |
| イメージリピート | A | A | A | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | × | A | A | A | A | ◎ | A |
| センタリング | ◎ | A | A | A | A | A | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | × | A | A | A | A | ◎ | A |
| 割り込み | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | R | × | ◎ | ◎ |
| 伝票モード | × | × | × | × | × | × | × | × | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | A | × | × | A |
| スカイショット | ◎ | × | × | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | A | A | ／ | A |
| ダブルスカイショット | × | × | × | × | × | × | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | A | A | ◎ | R |

◎：組合わせて使用できる。
×：組合わせての使用はできません。
A：後から指定した機能が優先される。
R：最初に選択して、次にもう一度同じ機能を選択すると機能そのものがキャンセルされる。
／：組合わせそのものが存在しません。
＊：ADF（i-ADFを除く）を使用し、2➡1または2➡2コピー中は、割り込みモードは使用できません。

**お知らせ**

- はがき用紙を使用し、1➡2、2➡1、2➡2、ブック➡2、ページ連写、N in 1 モードは使用できません。
  なお、1➡2 はコピーサイズを変更した場合のみコピーできます。

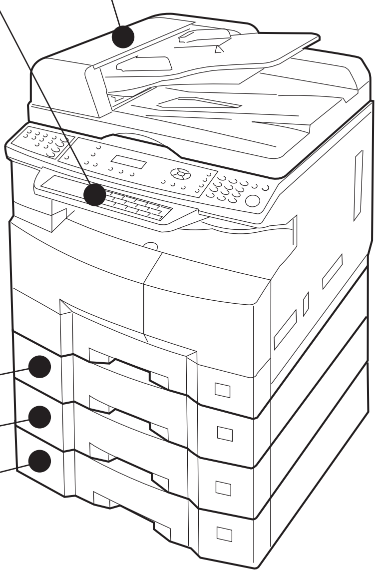
# 便利なオプション

## システム構成



### ■オプション

DP-8020 は、P/VA モデルの 2 タイプがあります。タイプによっては、一部のオプションが標準装備されております。(☞ 2 ページ)



**i-ADF**
（両面自動原稿送り装置）
(DA-AR202)
● DP-8020VA 標準装備

**ADF**
（自動原稿送り装置）
(DA-AS181)

**キーボード**
(DA-KB180)
● ファクス／ E メール、
ネットワークスキャナー用
● DP-8020VA 標準装備

**第 2 給紙ユニット**
(DA-DS190)
● 550 枚カセット× 1 段

**第 2/3 給紙ユニット**
(DA-DS191)
● 550 枚カセット× 2 段

**第 2/3/4 給紙ユニット**
(DA-DS192)
● 550 枚カセット× 3 段

**メモリーボード**
(DA-SM16B/64B/28B)
● 16/64/128 MB
● 電子ソート用

**ハードディスクユニット**
(DA-HD18)
● ハードディスクユニット装着時は、メモリーボード（16/64/128MB）の装着が必要です
● 拡張機能用
コンカレント、セキュリティー、メールボックス用

**インターネット FAX ／ E メールユニット**
(DA-NF180)

**機能拡張ユニット**
(DA-EM600)
● DA-PC820 装着時に使用

**ネットワークスキャナーユニット**
(DA-NS180)

**PDL ユニット**
(DA-PC820)
● プリンターコントローラー PCL6 用 *

**課金管理ソフトウェア**
(DA-WA11)

**お知らせ**

＊ PCL6 は、HP（米国ヒューレットパッカード社）のページプリンター言語です。
● 各オプションおよび組み合わせについての詳細は、お買い上げの販売店または、当社サービス実施会社へお問い合わせください。
● キーカウンターまたは、カード式カウンターをご採用のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# ネットワークスキャナー編

## ネットワークスキャナーを設定したいとき

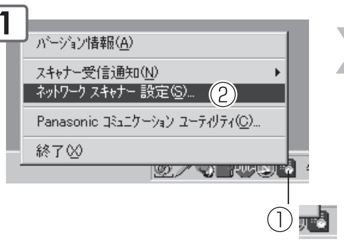
### ■ 本機に表示させるパソコン名を登録する

ご使用のパソコンに、本機に添付の CD 内のソフトウェアをインストールし、Panasonic コミュニケーションユーティリティを起動してネットワークスキャナーの設定を行うことにより、本機に表示させるパソコンを登録することができます。

**お知らせ**

- 本機にてパソコンの登録確認（下記「本機で登録内容を確認する」参照）ができないときは、本機のコントロールパネルでパソコン名を直接登録してください。（☞ 74 ページ）
  サブネットマスクグループが、ご使用のパソコンと本機とで異なるときの設定方法は、ソフトウェア（コミュニケーションユーティリティ編）取扱説明書を参照してください。サブネットマスクグループについては、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

**1**




① Panasonic コミュニケーションユーティリティのアイコンを右クリックする。
②「ネットワークスキャナー設定（S）」を選ぶ。

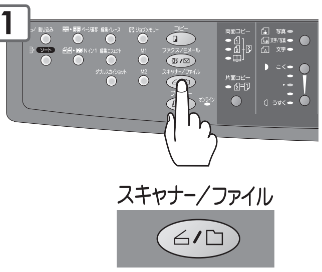
### ■ 本機で登録内容を確認する

上記で登録したパソコン名を本機で確認します。

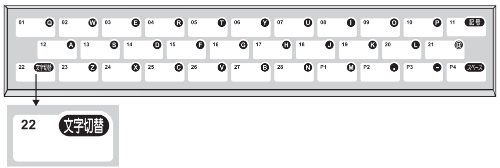
**お知らせ**

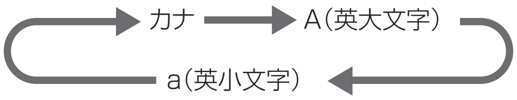
- 本機で登録されたパソコン名を確認するときは、登録したパソコンで Panasonic コミュニケーションユーティリティが起動されていることを確認してください。Windows 画面の右下にアイコン（上記手順 1 参照）が表示されています。
- Panasonic コミュニケーションユーティリティが起動されていないと、上記で登録したパソコン名が本機の液晶ディスプレイ上で確認できません。（ネットワークにログインしていないときも同様です。）

**1**




**<文字入力のしかた（キーボード）>**



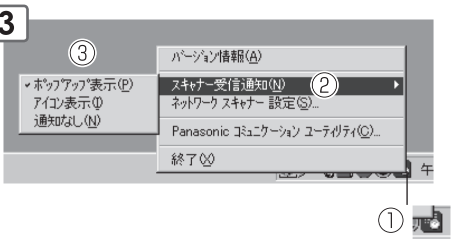

- 詳しい文字入力のしかたは（☞ 36 ページ）

カナ文字入力のときは、ローマ字カタカナ変換機能を使ってカタカナを入力します。
下記の入力例を参考に入力してください。
例：エイギョウ
〈キーボード操作〉----- 〈液晶ディスプレイ上の表示〉
[E] を押す。 --------- ｴ
▼
[I] を押す。 --------- ｴｲ
▼
[G]、[I] を押す。------ ｴｲｷﾞ
▼
[X]、[Y]、[O] を押す。ｴｲｷﾞｮ
小さい文字のときは、最初に [X] を押す。
▼
[U] を押す。 --------- ｴｲｷﾞｮｳ

**2**

①「PC から自動登録する」をオンにする
② 宛先名称（半角のみ）を入力する。
特殊な文字は入力不可です。
詳細は、添付 CD 内のソフトウェア（コミュニケーションユーティリティ編）取扱説明書を参照してください。
③「OK」をクリックする。

**3**



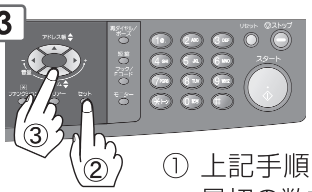

①Panasonic コミュニケーションユーティリティのアイコンを右クリックする。
②「スキャナー受信通知（N）」を選ぶ。
③「ポップアップ表示（P)」を選ぶ。

**2**

▲または▼

```
ｱﾄﾞﾚｽ ﾁｮｳ          <ｶﾅ
_
```

**3**

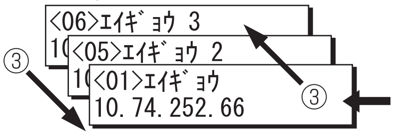



セット

① 上記手順 2 で登録した宛先名称の最初の数文字を入力する。
(☞ 70 ページ)

```
ｱﾄﾞﾚｽ ﾁｮｳ          <ｶﾅ
ｴ_
```

▼




▲または▼で登録したパソコン名を確認する。

**〈文字入力のしかた（テンキー)〉（数字と英数字のみ入力できます。）**

DP-8020P のみ、キーボード（オプション）を装着しないときは、テンキーで文字を入力します。

- キーを押すたびに、数字キー内の文字が切替わります。同じ文字や同じキー内の文字を入力するときは、▶キーでカーソルを移動させてから文字を入力してください。

| キー | 文字 | キー | 文字 |
|---|---|---|---|
| 1 @. | @→．→1 | 6 MNO | M→N→O→6→m→n→o |
| 2 ABC | A→B→C→2→a→b→c | 7 PQRS | P→Q→R→S→7→p→q→r→s |
| 3 DEF | D→E→F→3→d→e→f | 8 TUV | T→U→V→8→t→u→v |
| 4 GHI | G→H→I→4→g→h→i | 9 WXYZ | W→X→Y→Z→9→w→x→y→z |
| 5 JKL | J→K→L→5→j→k→l | | |



ネットワークスキャナー編

# イメージを取り込みたいとき

## ■読み取りとパソコンへのイメージデータ転送

添付の CD 内のソフトウェアをインストールし、Panasonic コミュニケーションユーティリティを起動して、ネットワークスキャナーの設定をしておくことで、本機で読み取ったイメージをネットワーク経由でご使用のパソコンに転送し、取り込むことができます。

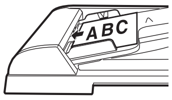
**ダイレクト接続**

本機とご使用のパソコンをハブ（Hub）などを経由せずに、直接 LAN ケーブルで接続して使用することが可能です。

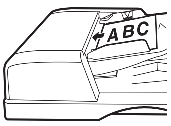
(☞ 78 ページ)

- LAN ケーブルは、クロスタイプを使用します。
- ネットワークの設定をします。（本機およびご使用のパソコン）

1 ADF

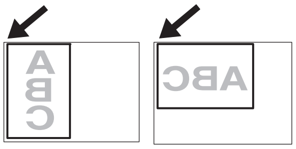



i-ADF

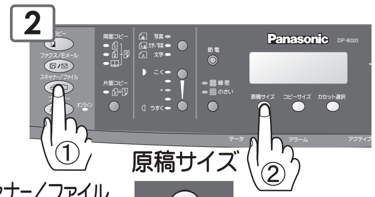



または

原稿台ガラス




2

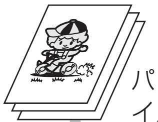



原稿サイズ

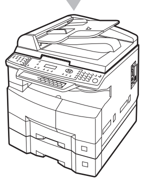
スキャナー／ファイル

原稿サイズを正しく検知できないとき

- A3 : A3
- B4 : B4
- A4 : A4
- A4 : A4R
- B5 : B5
- B5 : B5R
- A5 : A5
- A5 : A5R



パソコンを指定し、イメージを読み取る

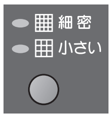


パソコンにポップアップ表示

パソコンに読み取りイメージ表示

詳細は、添付 CD 内のソフトウェア（Quick Image Navigator 編）の取扱説明書を参照してください。

**読み取り解像度を選ぶ**

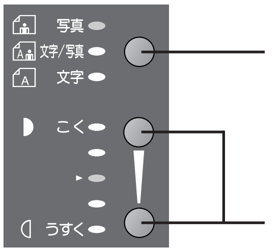



細密　：600 × 600 dpi
小さい：300 × 300 dpi

**「細密」「小さい」のいずれも選択していないとき**

普通　：150 × 150 dpi*
（＊読み取りモードで「文字」を選んだときのみ、選択できます。）

**読み取り濃度を調整する**

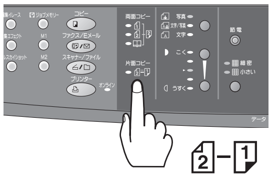



原稿種類
写真　　　：写真が中心
文字／写真：文字／写真が混在
文字　　　：文字が中心

「こく」、「うすく」で読み取り濃度を調整する。

- ファイル名、圧縮形式を設定したいときは (☞ 76 ページ)

**両面原稿を読み取りたいとき（DP-8020VA のみ）**



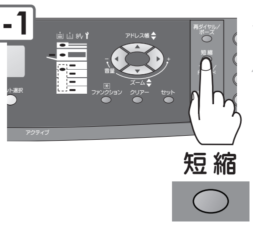
両面原稿から片面コピーモードを選択する。

データ転送先のパソコンを選択する *

＊イメージを送るパソコンの Panasonic コミュニケーションユーティリティが起動していることを確認してください。

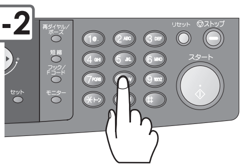
**短縮**

3-1




タンシュク [_ ]
タンシュクNO. ヲ イレテクダ サイ

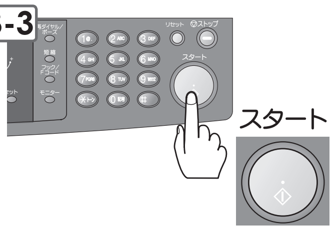
3-2



短縮番号（2 桁）

[01]エイギョウ
10.74.252.66

3-3

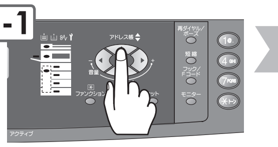



ブンショ ヨミコミ チュウ
ページ=001　　01%

→ 4

**アドレス帳**

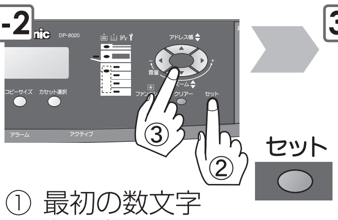
3-1



▲または▼

アドレス チョウ　　<カナ
_

3-2




① 最初の数文字を入力する
(☞ 70ページ)

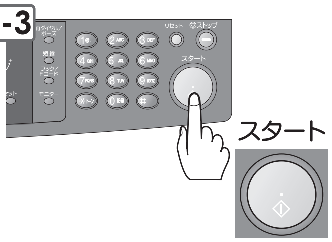
アドレス チョウ　　<カナ
エ_

▶ ③

<06>エイギョウ 3
<05>エイギョウ 2
<01>エイギョウ
10.74.252.66

③

3-3




→ 4

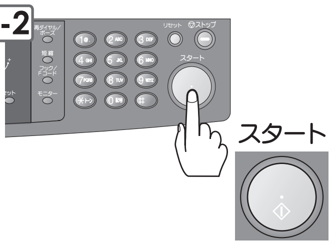
**ワンタッチ**

3-1

ワンタッチキー

<10>パナソニック
10.74.252.63

3-2




→ 4

4

ブンショ ヨミコミ チュウ
ページ=001　　00%

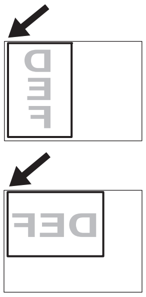
**原稿台ガラスから読み取り時のみ**

ツギノ ゲンコウガ アリマスカ?
1:ハイ 2:イイエ

1:ハイ → 手順 5 へ
2:イイエ → パソコンに、読み取ったイメージのみ転送されます。)

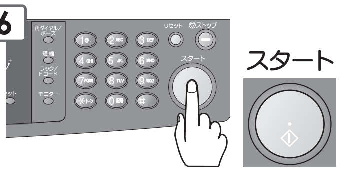
**ADF から読み取り時は、パソコンにイメージデータが転送されます。**

5 次の原稿



→ 6

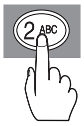
6




スタート ヲ オシテクダ サイ
A4▭

7

ツギノ ゲンコウガ アリマスカ?
1:ハイ 2:イイエ



2:イイエ

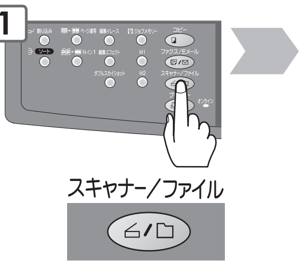
8 読み取りが完了すると、パソコンにイメージデータが転送されます。

# パソコンから本機にパソコン名の登録ができないとき

## ■パソコンから本機にパソコン名の登録ができないとき

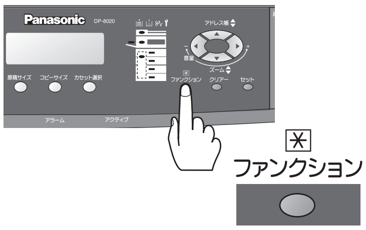
ご使用のパソコンより本機にパソコン名の登録ができないときは、本機のコントロールパネル上でご使用のパソコンを登録してください。

**1**



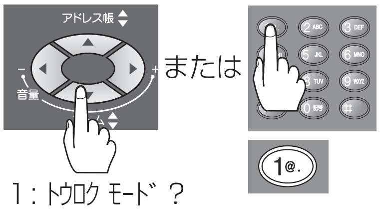

**2**

2008-04-12 04:28
ﾖﾐｺﾐ ﾃﾞｷﾏｽ




**3**

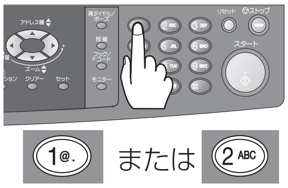
ﾌｧﾝｸｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧




1：ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ？

**7**

1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ



1@. または 2ABC
ワンタッチ　短縮

**お知らせ**

＊ 選択した ワンタッチ が、ファクス／Eメールの宛先として、すでに登録済みのときは、そのキーを押してもピピピ音が鳴り、「ｳｹﾂｹﾃﾞｷﾏｾﾝ」と表示します。

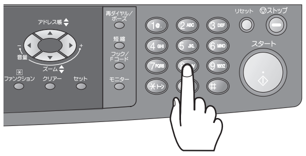
**8** **ワンタッチのとき**

ﾜﾝﾀｯﾁ< >
ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

ワンタッチキー＊

**短縮のとき**

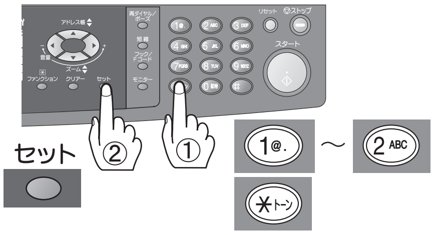
ﾀﾝｼｭｸ [_ ]
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧



短縮番号（2桁）

**9**

IP ｱﾄﾞﾚｽ <13>
▮




1@. ～ 2ABC
＊トーン

**例：** 10.74.252.66
1 → 0 →＊→ 7 → 4 →＊→ 2
→ 5 → 2 →＊→ 6 → 6

- 「＊トーン」キーは、「.」を入力するときに使用します。
- 入力したIPアドレスを訂正するときは、◀ ▶ でカーソル（▮）を訂正したい数字の上に移動させ、新しい数字を入力してください。

## ● 上記手順で本機に直接登録したパソコン名を変更・削除したいとき

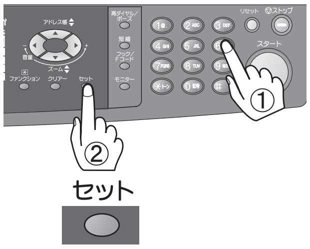
**1** 上記手順 1 ～ 8 を行う。

**お知らせ**

パソコンから本機にパソコン名の登録をしたときは、本操作は必要ありません。
Panasonic コミュニケーションユーティリティを終了するか、パソコンの電源をOFFすると、本機の液晶ディスプレイ上の宛先表示より、いったん削除されます。再度、パソコンの電源をONし、ログイン後に、Panasonic コミュニケーションユーティリティを起動させると、本機の液晶ディスプレイ上の宛先表示にパソコン名が再表示されます。

**2** **変更したいとき**

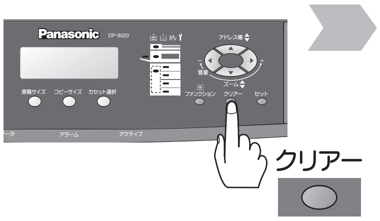
IP ｱﾄﾞﾚｽ <13>
10.74.252.66




入力したIPアドレスを訂正するときは、◀ ▶ でカーソル（▮）を訂正したい数字の上に移動させ、新しい数字を入力してください。

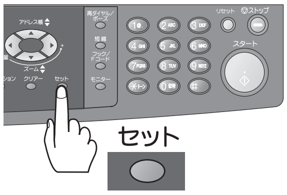
**2** **削除したいとき**

IP ｱﾄﾞﾚｽ <13>
10.74.252.66



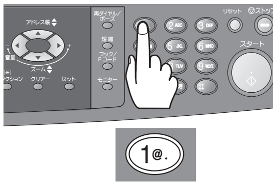
**4**

```
1:トウロク モード?
セット デ センタク
```



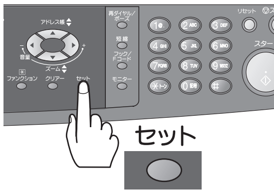

**5**

```
トウロク モード       (1-2)
バンゴウヲ イレル  マタハ V Λ
```




**6**

```
1:アドレス チョウ ?
セット デ センタク
```




**7**

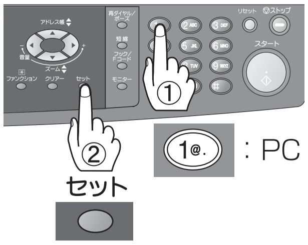
**10**

```
アテサキ メイショウ  <13> <カナ
エイギョウ▮
```

①パソコン名を
入力する
（最大：15半角文字）
（☞ 70 ページ）

**11**

```
アイテサキ: PC
1:PC 2:FTP
```

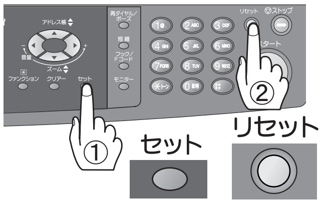



：PC

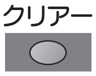
「2:FTP」についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

**12**

```
ポート バンゴウ
6509
```




続けて他のパソコンを登録するときは、②で リセット を押す前に、手順 8 〜 12 - ①を繰り返す。

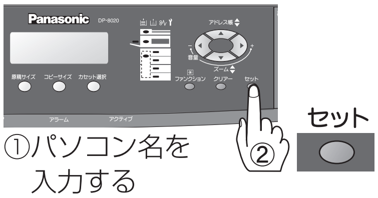



入力した文字を訂正するときは、◀ ▶ で訂正する文字の右隣にカーソル（▮）を移動し、クリアー を押してから新しい文字を入力する。

---

**3**

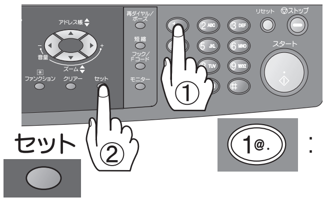
```
アテサキ メイショウ  <13> <カナ
エイギョウ 01▮
```




①パソコン名を
入力する
（最大：15半角文字）
（☞ 70 ページ）

**4**

```
アイテサキ: PC
1:PC 2:FTP
```

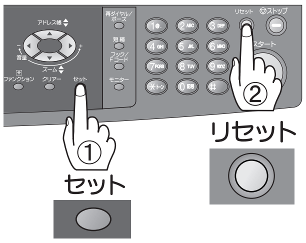



：PC

「2:FTP」についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

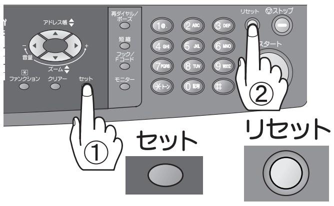
**5**

```
ポート バンゴウ
6509
```




**3**

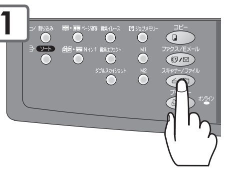
```
IP アドレス        <13>
_
```



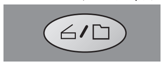
# 読み取り・転送データ形式などを設定したいとき

## ■スキャナーパラメーター

**1**



スキャナー／ファイル



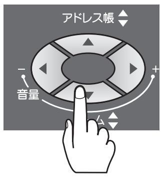
**2**

2008-04-12 15:00
ﾖﾐｺﾐ ﾃﾞｷﾏｽ

＊
ファンクション

**3**

ﾌｧﾝｸｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ　(1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ　ﾏﾀﾊ Ｖ Λ

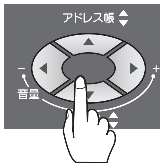


または

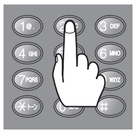
1：ﾄｳﾛｸﾓｰﾄﾞ？

**7**

ｽｷｬﾅｰ ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ　(0-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ■ ﾏﾀﾊ Ｖ Λ



または



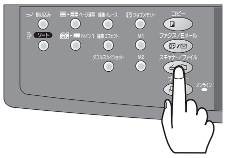
ファンクション設定（スキャナー機能）モードを設定してください（☞ 88ページ）。

● スキャナー機能設定印刷、画質、圧縮形式、解像度や送信ファイル形式の設定が行えます。

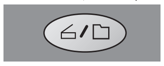
## ■セレクトモード

ファイル名や圧縮形式を設定したいとき

**1**

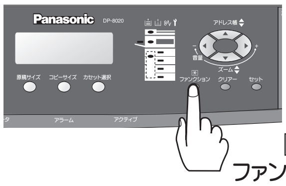


スキャナー／ファイル



**2**

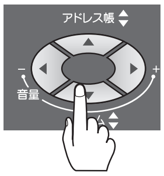
2008-04-12 15:00
ﾖﾐｺﾐ ﾃﾞｷﾏｽ



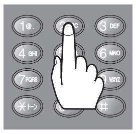
＊
ファンクション

**3**

ﾌｧﾝｸｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ　(1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ　ﾏﾀﾊ Ｖ Λ



または

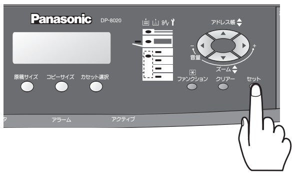


2：ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ？

### ファイル名を付けたいとき

**6**

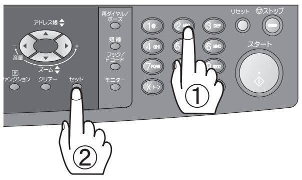
1:ﾌｧｲﾙﾒｲ
ｾｯﾄ ﾃﾞ　ｾﾝﾀｸ



セット

**7**

ﾌｧｲﾙ ﾀｲﾌﾟ=PDF
1:TIFF 2:PDF



セット

:TIFF

または

:PDF

### 圧縮形式を指定したいとき

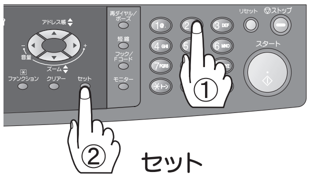
**6**

2:ｱｯｼｭｸ ｹｲｼｷ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ　ｾﾝﾀｸ

セット

**7**

ｱｯｼｭｸ ｹｲｼｷ :　MMR
 3:MMR　4:JBIG



セット

: MH

または

: MR

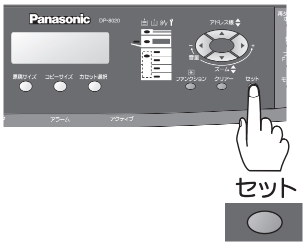
: MMR

または

: JBIG

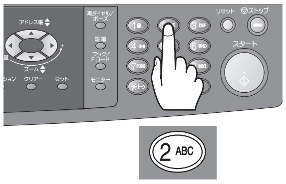
**4**

1:ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ



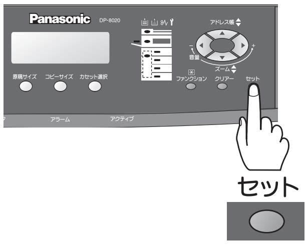

**5**

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ V Λ




**6**

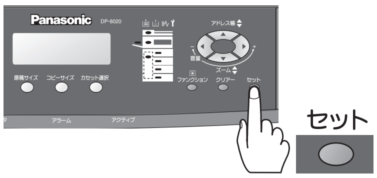
2:ｽｷｬﾅｰ ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ




**7**

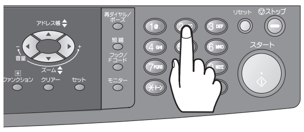
**4**

2:ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ




**5**

ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ V Λ



:ファイル名

または

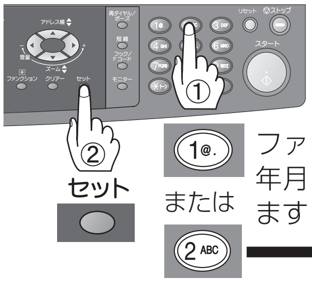
:圧縮形式

**6**

---

**8**

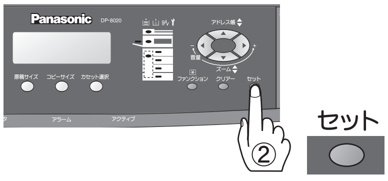
ﾌｧｲﾙ ﾒｲ=ﾆﾁｼﾞ
1:ﾆﾁｼﾞ 2:ﾍﾝｼｭｳ




ファイル名は年月日となります

または

（ヘンシュウ選択時）




①ファイル名入力
（最大:40 半角英文字 / 数字のみ）
(☞ 70 ページ)

ﾌｧｲﾙﾒｲ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ

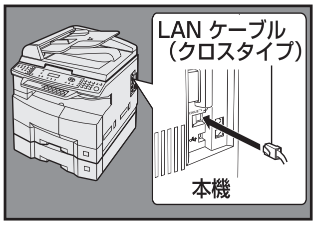
入力した文字を訂正するときは、◀▶で訂正する文字の右隣にカーソル（▮）を移動し、クリアー を押してから新しい文字を入力する。

# ネットワークを経由しないで直接パソコンに取り込みたいとき

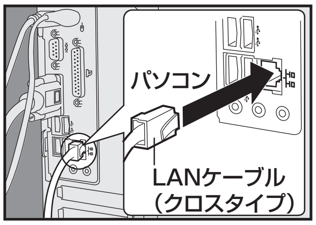
## ■ダイレクト接続

1 本機とパソコンの電源スイッチを「OFF」にする。

2 本機パソコンを LAN ケーブル（クロスタイプ）で直接つなぐ。



（本機右側面）



（パソコン背面）

5 本機とパソコンの電源スイッチを「OFF」、「ON」する。

6 パソコン名を本機に登録させる。
（☞ 70、74 ページ）

7 原稿を読み取り、パソコンへ転送させる。
（☞ 72 ページ）

お知らせ

ストレートタイプの LAN ケーブルは、使用できません。
LAN ケーブルについての詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
すでに、いずれかの社内ネットワークに接続されているときは、現在のネットワークの設定状況を事前に記録しておいてください。不具合が発生した時に、元のネットワーク設定に戻せるようにしてください。
ネットワーク設定については、事前の予備知識が必要です。右記の手順で出てくる表示の意味が分からない方は、ネットワーク管理者へ設定をお願いしてください。ネットワーク管理者がおられないときは、サービス実施会社へご依頼ください。

3 本機とパソコンの電源スイッチを「ON」にする。

4 本機とパソコンにネットワークアドレスを入力する。

● IP アドレスとサブネットマスクアドレスのみ。

**例：** **IP アドレス：** 192.168.0.1（本機）
192.168.0.2（パソコン）

**サブネットマスク：** 255.255.255.0
（本機とパソコンで同じサブネットマスク）

● **ネットワークアドレスの入力方法：**

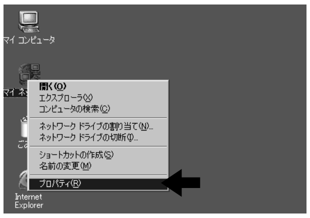
本機　：☞ 89 ページ

パソコン：下記参照

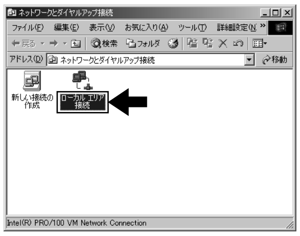
5

詳細は、各 Windows の取扱説明書を参照してください。

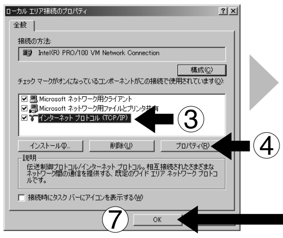
## Windows 2000



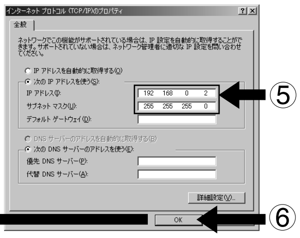
①「ﾏｲﾈｯﾄﾜｰｸ」を右クリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)」を選ぶ。



②「ﾛｰｶﾙｴﾘｱ接続」を右クリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)」を選ぶ。



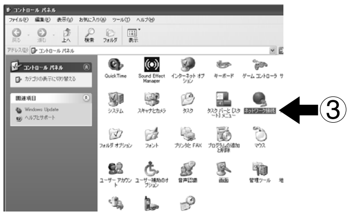
③「ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾌﾟﾛﾄｺﾙ (TCP/IP)」を選ぶ。
④「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)」をクリックする。
⑦「OK」をクリックする。



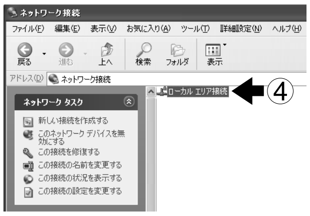
⑤「次の IP ｱﾄﾞﾚｽを使う (S)」を選択し、IP ｱﾄﾞﾚｽ (P)、ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ(U)を入力する。
⑥「OK」をクリックする。

## Windows XP

①「ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ」を開く。
② クラシック表示に切り替える。



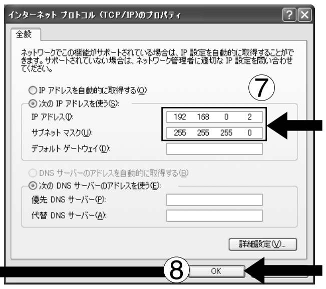
③「ﾈｯﾄﾜｰｸ接続」を選ぶ。



④「ﾛｰｶﾙｴﾘｱ接続」を右クリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)」を選ぶ。

⑤

⑤「ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾌﾟﾛﾄｺﾙ (TCP/IP)」を選ぶ。
⑥「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)」を選ぶ。
⑨「OK」をクリックする。



⑦「次の IP ｱﾄﾞﾚｽを使う (S)」を選択し、IP ｱﾄﾞﾚｽ (I)、ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ (U) を入力する。
⑧「OK」をクリックする。

# ファンクション設定モード

## 概要 / 基本設定手順

### ■ 概要

各機能の初期設定値（デフォルト値）は、ファンクション設定モードにより変更することができます。
使用されるモードごとに、使用頻度の高い機能を初期設定値として設定しておくと便利です。
ファンクション設定は、機能ごとに設定できます。

共通機能 ／ コピー機能 ／ プリンター機能 ／ ファクス／Eメール機能 ／ スキャナー機能

↓（共通機能・コピー機能・プリンター機能）

パスワード入力

↓

共通機能（キーオペレーター専用） ／ コピー機能（キーオペレーター専用） ／ プリンター機能（キーオペレーター専用）

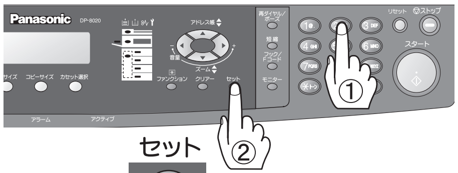
### ■ 基本設定手順

**1**

機能を選ぶ

ファンクション

**2** 設定したい機能を選ぶ




セット

①

**コピー** ： 共通 / コピー機能設定 → 1 ：共通機能設定　または　2 ：コピー機能設定

**プリンター** ： プリンター機能設定 → 4 ：プリンター機能設定

**スキャナー / ファイル** ： スキャナー機能設定 → **スキャナー機能設定（スキャナーパラメーター）**
（☞ 76、88 ページ）

**ファクス /E メール** ： ファクス /E メール機能設定 → **ファクス /E メール機能設定**
取扱説明書（ファクス / インターネット FAX/E メール編）参照

**お知らせ**

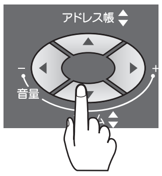
● キーオペレーター専用のパスワードは、本機設置時にサービス実施会社とキーオペレーターの方とご相談のうえ決定し、サービス実施会社にて設定します。
キーオペレーター専用のパスワードを知りたいときは、キーオペレーターにご相談ください。

**プリンター機能のファンクション設定について：**

本機で印刷される場合、ご使用のパソコンのアプリケーションソフトにて印刷設定を行いますので、通常設定する必要は、ほとんどありません。
本機で設定しても、ご使用のアプリケーションソフトで設定された内容が優先されます。
もし、設定が必要となった場合は、パソコン関連知識のある方にご相談のうえ設定し、印刷後は、設定前の状態に戻しておかれることをお勧めします。

- ファンクション「1」（メールボックス）とファンクション「2」（セキュリティボックス）は、オプションのハードディスクユニットを装着時に有効になります。（詳しくは、取扱説明書「ソフトウェア（Printer Driver 編）」を参照してください。）
- ファンクション「3」（ジョブカンリ）は次の場合ご使用ください。
  ①プリンターステータス：本機を（オンライン）または（オフライン）にしたいとき。
  ②プリントキャンセル　：プリント中のジョブを取り消したいとき。
  ③ジョブリスト　　　　：プリント予約を確認したいとき。

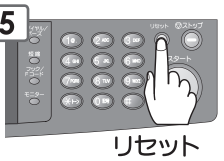
**3** 設定したいモードをカーソルキーかテンキーで選ぶ *



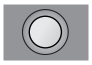

または

**4** 機能を設定する
①設定内容を選ぶ
②設定内容を確認し、 セット を押す

**5**



リセット

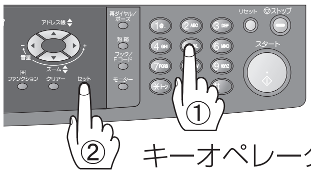


ファンクション設定モードを解除する

**キーオペレーター専用モードを選択したとき：**
（例：共通機能設定）

**4**

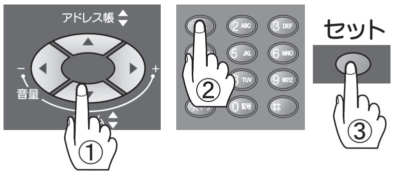
```
09 キーオペ レーター センヨウ
    _▮▮
```




セット

キーオペレーター用のパスワードを入力する（3 桁）

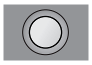
**5** 機能を設定する




①設定したいモードをカーソルキーかテンキーで選ぶ
②設定内容を選ぶ
③設定内容を確認し、 セット を押す

**6**

リセット



ファンクション設定モードを解除する

本体管理編

**お知らせ**

* モード No. について
共通機能（一般用）のモード No. を入力するときは、2 桁表示の最初の「0」を入力せずに 1 桁目の番号のみ入力します。

## ■共通機能（一般用）

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 00 | ﾃﾞﾝｹﾞﾝONｼﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | 電源投入時のモードを切り替えたいとき。<br>1: ｺﾋﾟｰ、2: ﾌｧｸｽ、3: ﾌﾟﾘﾝﾀｰ、4: ｽｷｬﾅｰ<br>（ｽｷｬﾅｰ : ネットワークスキャナーユニット装着時に有効となります） | 1: ｺﾋﾟｰ |
| 01 | ｿｰﾄﾒﾓﾘｰ ｼﾖｳﾘﾂ | ソート用内部メモリーの使用状況（%）を表示させたいとき。<br>1: ｵﾌ、2: ﾋｮｳｼﾞｽﾙ | 1: ｵﾌ |
| 02 | ﾌﾞﾓﾝﾍﾞﾂ ｶｳﾝﾀｰ | 指定部門のカウント枚数と制限枚数および全部門のカウント値を表示させたいとき。 | 本モードを使用の場合は、別途事前のサービス設定が必要です |
| 03 | ｶｲﾃﾝ ｿｰﾄ | カイテン ソートモードにしたいとき。<br>1: ｵﾌ、2: ｵﾝ | 1: ｵﾌ |
| 07 | ﾄﾅｰ ｼｭﾄﾞｳ ﾎｷｭｳ | コピー濃度がうすく、トナーを手動で補給し、コピーを濃くしたいとき。<br>ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ | |
| 09 | ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｾﾝﾖｳ | キーオペレーター専用の設定モードを開きたいとき。<br>● パスワード（3 桁）を入力してください。<br>（☞ 80 ページの（お知らせ）） | |

お知らせ　● モード No. をテンキーで入力するときは、2 桁表示の最初の「0」を入力せずに 1 桁目の番号のみ入力します。

## ■ 共通機能（キーオペレーター専用）

● 共通機能（一般用）の「09 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｾﾝﾖｳ」にて、キーオペレーター専用のパスワードを入力し、［セット］を押したときのみ、各モードが表示され設定可能となります。

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 00 | ｷｮｳﾂｳｷﾉｳ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ | 共通機能で設定されている内容を印刷したいとき。 | |
| 01 | ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ | 給紙カセット 1 ～ 4 の紙サイズを設定したいとき。<br>● 最初に給紙カセットを選択し、用紙サイズを選んでください。（☞ 32 ページ）<br>1: ｶｾｯﾄ -1、2: ｶｾｯﾄ -2、3: ｶｾｯﾄ -3、4: ｶｾｯﾄ -4<br>（カセット 2 ～ 4 はオプション装着時のみ表示）<br>A3 ▭→ B4 ▭→ A4 ▯→ A4 ▭→ B5 ▯→ B5 ▭→ A5 ▯→ A5 ▭→ FLS1 ▭→ FLS2 ▭→ LEDGER ▭→ LEGAL ▭→ LETTER ▯→ LETTER ▭→ INVOICE▭→ | 1: ｶｾｯﾄ -1<br>A3 ▭ |
| 03 | ｵｰﾄｸﾘｱｰﾀｲﾑ | コントロールパネル操作設定後の自動クリアー時間を変更したいとき。<br>● 操作後のパネル設定内容は、指定した時間を経過するとクリアー（消去）されてしまいます。<br>1: ｵﾌ（自動クリアーなし）、2:30 ﾋﾞｮｳ、3:1 ﾌﾝ、4:2 ﾌﾝ、5:3 ﾌﾝ、6:4 ﾌﾝ | 3:1 ﾌﾝ |
| 04 | ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ | 本機が動作していないときの節電機能のモード切り替えと節電機能に自動移行する時間を設定したいとき。<br>● 最初にモードを選択し、時間を設定してください。<br>1: ﾅｼ（機能なし）、2: ｾﾂﾃﾞﾝ、3: ｽﾘｰﾌﾟ、4: ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ *<br>時間（分）:1 ～ 240/1 分単位 | 3: ｽﾘｰﾌﾟ<br>10 ﾌﾝ |

お知らせ　* 本機は、節電機能の「シャットダウンモード」を設定しても、「シャットダウンモード」に移行せず、「セツデンモード」になります。もし、「シャットダウンモード」に移行させたいときは、システム登録の「96 NTT ﾌｧｸｼﾐﾘﾂｳｼﾝﾓｳ」を「1: ナシ」に設定してください。（設定の手順は、取扱説明書「ファクス / インターネットFAX/E メール編」を参照してください。）

## ■ 共通機能（キーオペレーター専用）（つづき）

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 05 | ｾﾂﾃﾞﾝ ｼﾞｶﾝ | 本機の節電機能（スリープ / シャットダウン）の開始 / 終了時刻を設定したいとき。<br>● 曜日ごとの設定は、できません。毎日同一時刻の設定となります。<br>● 本設定時刻内は、スリープ / シャットダウンモードへ自動移行しません。<br>ｶｲｼ 00:00、ｵﾜﾘ 00:00<br>● 両方が「00:00」のとき、本モードは動作いたしません。 | ｶｲｼ 00:00<br>ｵﾜﾘ 00:00 |
| 07 | ｽﾍﾟｼｬﾙﾄﾚｲ 1 | オプションの給紙カセット２～４を装着時のみ有効なモードです。給紙カセット１～４または手差しトレイのいずれかが自動的に選択されないよう設定したいとき。<br>1: ﾅｼ、2: ｶｾｯﾄ -1、3: ｶｾｯﾄ -2、4: ｶｾｯﾄ -3、5: ｶｾｯﾄ -4、6: ﾃｻﾞｼ<br>（例）給紙カセット１を色紙専用にしたいときなど。 | 1: ﾅｼ |
| 08 | ｽﾍﾟｼｬﾙﾄﾚｲ 2 | オプションの給紙カセット３～４を装着時のみ有効なモードです。給紙カセット１～４または手差しトレイのいずれかが自動的に選択されないよう設定したいとき。<br>1: ﾅｼ、2: ｶｾｯﾄ -1、3: ｶｾｯﾄ -2、4: ｶｾｯﾄ -3、5: ｶｾｯﾄ -4、6: ﾃｻﾞｼ<br>（例）給紙カセット１を色紙専用にしたいときなど。 | 1: ﾅｼ |
| 09 | ｷｰ ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ | コントロールパネルのキーを操作したときに確認音を出したいとき。<br>1: ｵﾌ、2: ﾁｲｻｲ、3: ｵｵｷｲ | 2: ﾁｲｻｲ |
| 10 | ﾃｻﾞｼ ｾｯﾄｵﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ | 手差しトレイに用紙をセットしたときに確認音を出したいとき。<br>1: ﾅｼ、<br>2: ｱﾘ（上記「09 ｷｰ ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ」が「1: ｵﾌ」のときは、確認音が出ません。また、「2: ﾁｲｻｲ、3: ｵｵｷｲ」も連動して変わります。） | 1: ﾅｼ |
| 11 | ADF ｾｯﾄｵﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ | ADF に原稿をセットしたときに確認音を出したいとき。<br>1: ﾅｼ、<br>2: ｱﾘ（上記「09 ｷｰ ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ」が「1: ｵﾌ」のときは、確認音が出ません。また、「2: ﾁｲｻｲ、3: ｵｵｷｲ」も連動して変わります。） | 2: ｱﾘ |
| 12 | ｶﾐﾅｼ ｼﾞ ｶｲﾃﾝ ｷﾉｳ | 指定した用紙がコピー中になくなったとき他のカセットに方向違いの同サイズ用紙があった場合に回転してコピーするかどうかを指定したいとき<br>1: ｵﾌ、2: ｵﾝ | 1: ｵﾌ |
| 13 | ﾌﾞﾓﾝ ｶｳﾝﾀｰ ﾓｰﾄﾞ | ｺﾋﾟｰ / ﾌﾟﾘﾝﾄの印刷枚数（カウント）を部門別に管理したいとき。<br>1: ﾄｰﾀﾙ ｶｳﾝﾀｰ（全部門のカウント値を表示させたいとき）<br>2: ﾌﾞﾓﾝ ﾍﾞﾂ ｶｳﾝﾀｰ（部門別管理のための部門設定をしたいとき、☞ 90 ページ参照）<br>3: ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ（上記の 2: ﾌﾞﾓﾝ ﾍﾞﾂ ｶｳﾝﾀｰのリストを印刷したいとき） | 本モードを使用の場合は、別途事前のサービス設定が必要です。 |
| 17 | ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ | 日付時刻表示用の電池を交換したとき。（☞ 100 ページ）<br>● 年（西暦４桁）、月、日、時（24 時間表示）、分の順に設定してください。 | |
| | <No. 19 ～ 23 を設定したときは、電源スイッチを入れ直してください。> | | |
| 19 | IP ｱﾄﾞﾚｽ (DHCP) | ネットワーク設定（変更）をしたいとき、ご使用のネットワーク環境が DHCP サーバーの場合は、設定の必要がありません。<br>●「22 DHCP ｷﾉｳ」の設定を「1: ﾅｼ」にすると、「19 TCP/IP ｱﾄﾞﾚｽ」の表示となり、IP アドレス設定が可能となります。 | DHCP で自動付与されたアドレス |
| 20 | ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ (DHCP) | ネットワーク設定（変更）をしたいとき、ご使用のネットワーク環境が DHCP サーバーの場合は、設定の必要がありません。<br>●「22 DHCP ｷﾉｳ」の設定を「1: ﾅｼ」にすると、「20 TCP/IP ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」の表示となり、アドレス設定が可能となります。 | DHCP で自動付与されたアドレス |
| 21 | ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ DHCP | ネットワーク設定（変更）をしたいとき、ご使用のネットワーク環境が DHCP サーバーの場合は、設定の必要がありません。<br>●「22 DHCP ｷﾉｳ」の設定を「1: ﾅｼ」にすると、「21 TCP/IP G/W ｱﾄﾞﾚｽ」の表示となり、アドレス設定が可能となります。 | DHCP で自動付与されたアドレス |

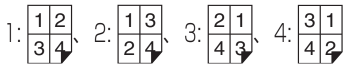
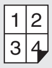
＜次ページへつづく＞

本体管理編

## ■ 共通機能（キーオペレーター専用）（つづき）

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 22 | DHCP ｷﾉｳ | ご使用のネットワーク環境が DHCP サーバーの場合、この設定を変更する必要はありません。DHCP 環境でないときは、設定を変更してください。また、本機をネットワーク共有プリンタとして使う場合には、DHCP をナシに設定して、前ページの No.19-21 で固定アドレスの設定をされることをお勧めします。<br>1: ﾅｼ、2: ｱﾘ | 2: ｱﾘ |
| 23 | DNS ｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽ | 本設定は、ネットワークの DNS サーバー機能を使用するインターネット FAX/E メール機能をご使用になるときに設定が必要です。<br>1: ﾅｼ<br>2: ｱﾘ（液晶ディスプレイの表示にしたがい、下記の内容を順番に設定します。）<br><DNS サーバー設定＞<br>1: ﾎｽﾄ ﾒｲ、2: ﾄﾞﾒｲﾝ ﾒｲ、3:DNS ｻｰﾊﾞｰ1、4:DNS ｻｰﾊﾞｰ2 | 2: ｱﾘ |
| 24 | MAC ｱﾄﾞﾚｽﾋｮｳｼﾞ | MAC アドレス（Ethernet アドレス）を表示させたいとき。<br>● 本内容は、表示のみで、設定する項目ではありません。 | |
| 25 | ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸｼｮｷｶ | ●ﾌｫｰﾏｯﾄ、ﾃﾞｰﾀｻｸｼﾞｮ<br>「ﾃﾞｰﾀｻｸｼﾞｮ」選択時は、更に「ﾚﾍﾞﾙ 1」と「ﾚﾍﾞﾙ 2」の選択があります。<br>「ﾚﾍﾞﾙ 1」より「ﾚﾍﾞﾙ 2」の方が、より確実にデータを削除できますが、削除に要する時間が長くなります。データ削除中は、本機を使用することができませんので、ハードディスクを交換するときか、本機を廃棄されるとき以外は、「ﾃﾞｰﾀｻｸｼﾞｮ」を選択されないことをお勧めします。<br>〈時間の目安〉ﾚﾍﾞﾙ 1:2 時間程度<br>ﾚﾍﾞﾙ 2:3 時間程度 | |
| 26 | ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸｴﾗｰﾁｪｯｸ | オプションのハードディスク動作が不安定と考えられるとき、動作エラーチェックを実施。 | |
| 27 | ｸﾞﾙｰﾌﾟ ID | アドレス帳（ネットワークスキャナー機能使用時）を本体添付 CD 内のソフトウェアを使用してパソコンから自動登録される場合のグループ ID を変更したいとき。<br>0 ～ 99 | 0 |
| | <No. 28 ～ 31 を設定したときは、電源スイッチを入れ直してください。> | | |
| 28 | ｺﾐｭﾆﾃｨﾈｰﾑ 1 | SNMP Community Name(1) を変更したいとき。<br>● 読み取り / 書き込み可で設定します。 | public |
| 29 | ｺﾐｭﾆﾃｨﾈｰﾑ 2 | SNMP Community Name(2) を変更したいとき。<br>● 読み取り / 書き込み可で設定できます。 | public |
| 30 | ﾃﾞﾊﾞｲｽﾈｰﾑ | 本体添付 CD 内のソフトウェア（Device Monitor 機能）で本機のデバイス名情報が必要なときに変更する。 | Panasonic DP-8020 |
| 31 | ﾛｹｰｼｮﾝ | 本体添付 CD 内のソフトウェア（Device Monitor 機能）で本機の設置場所情報が必要なときに変更する。 | |
| 32 | ｹﾞﾝｺｳ ｾｯﾄｵﾝﾉ ｾｯﾃｲ | 原稿台ガラスに原稿をセットしたときに、確認音を出したいとき。<br>1: ﾅｼ、<br>2: ｱﾘ（83 ページの「09 ｷｰ ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ」が「1: ｵﾌ」のときは、確認音は出ません。また、「2: ﾁｲｻｲ、3: ｵｵｷｲ」も連動して確認音が変わります。） | 1: ﾅｼ |
| 41 | HD ﾃﾞｰﾀｼｮｳｷｮﾚﾍﾞﾙ | コピー終了時、中止時やその他でハードディスク内のデータを削除するときの削除レベルを設定したいとき。<br>● ﾋｮｳｼﾞｭﾝ、ﾚﾍﾞﾙ 1、ﾚﾍﾞﾙ 2<br>「ﾚﾍﾞﾙ 1」より「ﾚﾍﾞﾙ 2」の方が、より確実にデータを削除できますが、削除に要する時間が長くなります。（時間は、文書のデータ量により異なりますので具体的には記載できません）データ削除中は、本機を使用することができませんので、特に重要な書類を除き、「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」のまま使用されることをお勧めします | ﾋｮｳｼﾞｭﾝ |

## ■ コピー機能（一般用）

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 00 | ﾄｼﾞｼﾛ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | とじ代位置と幅を変更したいとき。<br>1: ｲﾁ、2: ｱﾀｲ<br>＜サブ設定＞<br>1: ﾋﾀﾞﾘ、2: ﾐｷﾞ、3: ｳｴ、4: ｼﾀ<br>**手順 :**<br>“1: ｲﾁ” でとじ代位置を選び、とじ代幅（5 〜 99mm）をテンキーで変更する。 | 1: ﾋﾀﾞﾘ<br>10mm |
| 01 | ｴｯｼﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | エッジ幅を変更したいとき。<br>1: ｼｭｳｲ ﾖﾊｸ (X & Y)、2: ｺﾍﾞﾂ ﾖﾊｸ<br>**手順 :**<br>周囲共通または個別の設定かを選び、液晶ディスプレイ表示にしたがって余白（5 〜 99mm）をテンキーで変更する。 | 1: ｼｭｳｲ ﾖﾊｸ (X & Y)<br>5mm |
| 02 | ﾌﾞｯｸ ﾄｼﾞｼﾛ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | 中ぬき幅を変更したいとき。<br>5mm 〜 99mm | ｼﾛﾇｷ ﾊﾊﾞ =20mm |
| 03 | ﾄｼﾞｼﾛ ｼｭｸｼｮｳ | とじ代をつけるために画像を縮小するとき。ただし、50%以下のコピー倍率になる場合は、とじ代幅を狭める。<br>1: ﾅｼ、2: ｱﾘ | 1: ﾅｼ |
| 04 | ﾘｮｳﾒﾝ ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ | コピー機能選択時に両面コピーを初期値にしたいとき。<br>1: ｵﾌ（片面コピー）、2:1->2（片面原稿を両面コピー）、<br>3:2->2（両面原稿を両面コピー）、4: ﾌﾞｯｸ ->2（ブック原稿を両面コピー） | 1: ｵﾌ |
| 05 | N ｲﾝ 1 ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ | N イン 1 コピー時の原稿内容の向きやレイアウト（コピー配置）を変更したいとき。<br>原稿内容の向きを先に選び、その後レイアウト（コピー配置）を指定してください。<br>● 原稿内容の向きが正しく指定されていないと、コピー順がおかしくなります。<br>1: ｹﾞﾝｺｳ ﾎｳｺｳ<br>原稿サイズごと（右記参照）に原稿の向きを選びます。<br>1: ﾀﾃ、2: ﾖｺ<br>2: ﾚｲｱｳﾄ<br>2 ｲﾝ 1 か 4 ｲﾝ 1 を選び、その後レイアウトを指定します。<br>1:2 ｲﾝ 1<br>1:1->2 2:2->1<br>2:4 ｲﾝ 1<br> | 1: ｹﾞﾝｺｳ ﾎｳｺｳ<br>A3 ▭ : ﾖｺ<br>B4 ▭ : ﾖｺ<br>A4 ▯ : ﾀﾃ<br>A4 ▭ : ﾖｺ (A4R)<br>B5 ▯ : ﾀﾃ<br>B5 ▭ : ﾖｺ (B5R)<br>A5 ▯ : ﾀﾃ<br>A5 ▭ : ﾖｺ (A5R)<br>2: ﾚｲｱｳﾄ<br>2 ｲﾝ 1<br>1->2<br>4 ｲﾝ 1<br> |
| 06 | N ｲﾝ 1 ｼﾞﾉ ﾖﾊｸ | N イン 1 コピー時にコピーイメージ間に余白を付けたいとき。<br>1: ﾅｼ、2: ｱﾘ | 1: ﾅｼ |
| 07 | ｽｶｲｼｮｯﾄ ﾉ ｷﾘｶｴ | スカイショットモード機能あり、なしを選択したいとき。<br>1: ｵﾌ（機能なし）、2: ﾁｸｼﾞ、3: ﾍﾟｰｼﾞ | 2: ﾁｸｼﾞ |
| 08 | ﾃﾞﾝﾋﾟｮｳ ﾓｰﾄﾞ ｷﾘｶｴ | 伝票モードを使用したいとき<br>1: ｵﾌ、2:M1 ｵﾝ、3:M2 ｵﾝ、4:M1,M2 ｵﾝ | 1: ｵﾌ |
| 09 | ｼﾞﾄﾞｳ ﾉｳﾄﾞﾁｮｳｾｲ | 原稿読み取り時の濃度調整機能の初期設定値（デフォルト値）を自動か、手動に切り替えたいとき。<br>1: ﾅｼ（手動）、2: ｱﾘ（自動） | 2: ｱﾘ |
| 10 | ADF ｺﾋﾟｰｼｱｹﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | ADF からコピー時のソート機能を選びたいとき。<br>1: ﾉﾝｿｰﾄ、2: ｿｰﾄ | 2: ｿｰﾄ |
| 11 | FB ｺﾋﾟｰ ｼｱｹﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | 原稿台ガラスからコピー時のソート機能を選びたいとき。<br>1: ﾉﾝｿｰﾄ、2: ｿｰﾄ | 1: ﾉﾝｿｰﾄ |
| 12 | 1->2 ﾄｼﾞｲﾁ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | 1 → 2 コピーするときのコピーの綴じ方向を選択したいとき。<br>1: ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ、2: ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ | 1: ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼ |
| 13 | 2->1 ﾄｼﾞｲﾁ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | 2 → 1 コピーするときの原稿の綴じ方向を選択したいとき。<br>1: ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ、2: ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ | 1: ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼ |

＜次ページへつづく＞

## ■ コピー機能（一般用）（つづき）

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 14 | ﾌﾞｯｸ ->2 ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | ブック原稿から両面コピー時のページ設定を変更したいとき。<br>1: ﾌﾞｯｸ ﾌｫｰﾏｯﾄ<br>＜サブ設定＞<br>1: ﾐﾋﾗｷ、2: ｾｱﾜｾ<br>2: ﾍﾟｰｼﾞ ｼﾞｭﾝ<br>＜サブ設定＞<br>1:1->2、2:2->1 | 1: ﾌﾞｯｸ ﾌｫｰﾏｯﾄ<br>2: ｾｱﾜｾ<br>2: ﾍﾟｰｼﾞ ｼﾞｭﾝ<br>1:1->2 |
| 15 | ｲﾒｰｼﾞﾘﾋﾟｰﾄｼﾞ ﾐｼﾝﾒ | イメージリピートを行う際のミシン目の印刷をなしにしたいとき。<br>1: ﾅｼ、2: ｲﾝｻﾂ | 2: ｲﾝｻﾂ |
| 16 | ﾍﾟｰｼﾞﾚﾝｼｬ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | ページ連写時のページ順を変更したいとき。<br>1:1->2、2:2->1 | 1:1->2 |
| 19 | ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｾﾝﾖｳ | キーオペレーター専用の設定モードを開きたいとき。<br>● パスワード（3 桁）を入力してください。 | |

## ■ コピー機能（キーオペレーター専用）

● コピー機能（一般用）の「19 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｾﾝﾖｳ」にて、キーオペレーター専用のパスワードを入力し、［セット］を押したときのみ、各モードが表示され設定可能となります。

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 00 | ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ | コピー機能で設定されている内容を印刷したいとき。 | |
| 01 | ｶﾞｼﾂ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | 読み取りモードの初期値を変更したいとき。<br>1: ﾓｼﾞ（文字中心の原稿）、2: ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ（文字･写真 / イメージ混在の原稿）、3: ｼｬｼﾝ（写真 / イメージ中心の原稿） | 2: ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ |
| 02 | ﾉｳﾄﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ﾓｼﾞ | 読み取りモードが「文字」のときのコピー濃度初期値を変更したいとき。<br>1 ～ 5 | 3 |
| 03 | ﾉｳﾄﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｼﾞ ｼｬｼﾝ | 読み取りモードが「文字 / 写真」のときのコピー濃度初期値を変更したいとき。<br>1 ～ 5 | 3 |
| 04 | ﾉｳﾄﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｼｬｼﾝ | 読み取りモードが「写真」のときのコピー濃度初期値を変更したいとき。<br>1 ～ 5 | 3 |
| 05 | ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ ｾｲｹﾞﾝ | 設定できるコピー部数を制限したいとき。<br>1 ～ 999 | 999（制限なし） |
| 06 | M1 ｻｲｽﾞ | M1 キーに登録された伝票サイズを変更したいとき。<br>**手順：**<br>① X 方向（5 ～ 432）を入力して［セット］を押し、<br>② Y 方向（5 ～ 297）を入力して［セット］を押す。 | 120×220mm |
| 07 | M2 ｻｲｽﾞ | M2 キーに登録された伝票サイズを変更したいとき。<br>**手順：**<br>① X 方向（5 ～ 432）を入力して［セット］を押し、<br>② Y 方向（5 ～ 297）を入力して［セット］を押す。 | 150×230mm |
| 08 | ﾒﾓﾘｰﾌﾙｼﾞ ﾉ ﾄﾞｳｻ | メモリーフル時のソートコピー動作を指定したいとき。<br>1: ｲﾝｻﾂ（読み込んだ原稿までコピーするか、どうかのメッセージが表示される）<br>2: ﾁｭｳﾀﾞﾝ（読み込んだ原稿を削除） | 1: ｲﾝｻﾂ |
| 09 | ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ（T）* | 読み取りモードが「文字」のときにトナー消費をセーブしたいとき。<br>1: ﾅｼ、2: ﾚﾍﾞﾙ 1、3: ﾚﾍﾞﾙ 2 | 1: ﾅｼ |
| 10 | ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ（T/P）* | 読み取りモードが「文字 / 写真」のときにトナー消費をセーブしたいとき。<br>1: ﾅｼ、2: ﾚﾍﾞﾙ 1、3: ﾚﾍﾞﾙ 2 | 1: ﾅｼ |
| 11 | ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ（P）* | 読み取りモードが「写真」のときにトナー消費をセーブしたいとき。<br>1: ﾅｼ、2: ﾚﾍﾞﾙ 1、3: ﾚﾍﾞﾙ 2 | 1: ﾅｼ |
| 12 | SADF ﾃﾞﾌｫﾙﾄ | SADF モードを使用したいとき。（☞ 62 ページ）<br>1: ｵﾌ、2: ｵﾝ | 1: ﾅｼ |

*T: 文字、T/P: 文字 / 写真、P: 写真

## ■ プリンター機能（一般用）

本機で印刷される場合、ご使用のパソコンのアプリケーションソフトにて印刷設定を行いますので、通常設定する必要は、ほとんどありません。本機で設定しても、ご使用のアプリケーションソフトで設定された内容が優先されます。設定が必要となった場合は、パソコン関連知識のある方にご相談のうえ、設定し、印刷後は、設定前の状態に戻しておかれることをお勧めします。

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 00 | プリントマイスウ | 1 ～ 999 | 1 |
| 01 | ヨウシ サイズ | A4、B5、A5、LEDGER、LEGAL、LETTER、INVOICE、FLS1、FLS2、A3、B4 | A4 |
| 02 | カセット センタク | カセットを指定したいとき。<br>ジドウ、テサシ、カセット-1、カセット-2、カセット-3、カセット-4<br>（カセット２～４はオプション装着時） | ジドウ |
| 03 | インサツ ホウコウ | 1: タテ、2: ヨコ | 1: タテ |
| 04 | プリント キョウセイ ハイシュツ | セット デ プリント | |
| 05 | リョウメン インサツ | 両面プリントを初期設定にしたいとき。<br>1: オフ、2: オン | 1: オフ |
| 06 | トジ イチ | 1: チョウヘン トジ、2: タンペン トジ | 1: チョウヘン トジ |
| 07 | カイゾウド | 1:300dpi、2:600dpi、3:1200dpi | 2:600dpi |
| 08 | PCL フォント | 0 ～ 99 | 0 |
| 09 | PCL シンボルテーブル | 0 ～ 35 | 11 |
| 10 | PCL ピッチ | 0.44 ～ 99.99（ポイント） | 10.00 |
| 11 | PCL ポイントサイズ | 4.00 ～ 999.75（ポイント） | 12.00 |
| 12 | PCL ギョウスウ | 5 ～ 128（行） | 60 |
| 13 | PCL フッキモジ | 1:CR（キャリッジリターン）、2:CR+LF（ラインフィード） | 1:CR |
| 14 | A4,LTR ダイタイ インサツ | 1: オフ、2: オン | 1: オフ |
| 15 | メールボックス メモリー | オプションのハードディスクユニット装着後に設定されたハードディスク内メールボックスのメモリー使用状況を表示させたいとき。 | |
| 19 | キーオペレーター センヨウ | キーオペレーター専用の設定モードを開きたいとき。<br>●パスワード（3 桁）を入力してください。 | |

お知らせ

● No. 08 ～ 13 は、オプションの PDL ユニットを装着時のみ有効なモードです。

本体管理編

## ■ プリンター機能（キーオペレーター専用）

本機で印刷される場合、ご使用のパソコンのアプリケーションソフトにて印刷設定を行いますので、通常設定する必要は、ほとんどありません。
本機で設定しても、ご使用のアプリケーションソフトで設定された内容が優先されます。
もし、設定が必要となった場合は、パソコン関連知識のある方にご相談のうえ、設定し、印刷後は、設定前の状態に戻しておかれることをお勧めします。

● 設定するときは、プリンター機能（一般用）の「19 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｾﾝﾖｳ」にて、キーオペレーター専用のパスワードを入力し、［セット］を押したときのみ、各モードが表示され設定可能となります。

| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 00 | ﾌﾟﾘﾝﾀｰ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ | 設定されたプリンター機能一覧を印刷したいとき。 | |
| 01 | ｶﾝﾘｮｳ ｼﾞｶﾝ | パソコンから印刷ジョブ終端検出用信号の受信待機制限時間を変更したいとき。<br>1 ～ 999 ﾋﾞｮｳ | 180 ﾋﾞｮｳ |
| 02 | ﾒﾓﾘｰﾌﾙｼﾞｱｯｼｭｸ | メモリーフル時に、印刷品質は落ちるが、とりあえず印刷させたいとき、LOSSY 形式で圧縮処理し、印刷させるかどうかを指定する。<br>1: ｵﾌ、2: ｵﾝ | 1: ｵﾌ |
| 03 | ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂ | 1: ｵﾌ、2: ｵﾝ | 2: ｵﾝ |
| 04 | ｽﾌﾟｰﾘﾝｸﾞ ｷﾉｳ | 1: ｵﾌ、2: ｵﾝ | 2: ｵﾝ |
| 05 | ﾃｷｽﾄ ｲﾝｻﾂ | 文字情報のみ印刷を指定したいとき。<br>1: ｵﾌ、2: ｵﾝ | 2: ｵﾝ |
| 07 | ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ ,PCL | ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ | |
| 09 | ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾃﾞｰﾀﾎｼﾞ | オプションのハードディスクユニット装着後に設定されたハードディスク内メールボックスの印刷データ保持期間を変更したいとき。VまたはΛキーで選択します。<br>ﾑｷｹﾞﾝ、1 ﾆﾁ、2 ﾆﾁ、3 ﾆﾁ、4 ﾆﾁ、5 ﾆﾁ、6 ﾆﾁ、7 ﾆﾁ | 7 ﾆﾁ |
| 10 | ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾃﾞｰﾀ ｻｸｼﾞｮ | オプションのハードディスクユニット装着後に設定されたハードディスクユニット内メールボックスの印刷データを手動で削除したいとき<br>1: ｾﾞﾝﾌﾞﾝｼｮ、2: ﾋﾂﾞｹｼﾃｲ | |
| 11 | ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻｸｼﾞｮ ｹﾝｹﾞﾝ | プリントキューを削除する権限を選ぶとき<br>1: ﾌﾘｰ、2: ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ | 2: ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ |

**お知らせ**
- No. 07 は、オプションの PDL ユニットを装着時のみ有効なモードです。
- No. 04、09、10 は、オプションのハードディスクユニットを装着時のみ有効なモードです。

## ■スキャナー機能（スキャナーパラメーター）

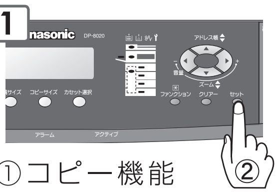
| No. | 設定モード | 設定内容 | 初期設定値（デフォルト値） |
|---|---|---|---|
| 00 | ｽｷｬﾅｰ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ | 設定されたスキャナー機能一覧を印刷したいとき。 | |
| 01 | ｶﾞｼﾂ | 読み取りモードの初期値を変更したいとき。<br>1: ﾓｼﾞ（文字中心の原稿）、2: ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ（文字･写真 / イメージ混在の原稿）、3: ｼｬｼﾝ（写真 / イメージ中心の原稿） | 2: ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ |
| 02 | ｱｯｼｭｸ ｹｲｼｷ | 読み取った原稿イメージデータの圧縮方式の初期値を変更したいとき。<br>1:MH、2:MR、3:MMR、4:JBIG | 3:MMR |
| 03 | ｶｲｿﾞｳﾄﾞ | 読み取り解像度の初期値を変更したいとき。<br>1: ﾌﾂｳ（読み取りモードが「ﾓｼﾞ」のみ）、2: ﾁｲｻｲ、3: ｻｲﾐﾂ | 2: ﾁｲｻｲ |
| 04 | ﾄｼﾞ ｲﾁ | 両面原稿を読み取るときの綴じ方向を選びたいとき。<br>1: ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ、2: ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ | 1: ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ |
| 05 | ｿｳｼﾝ ﾌｧｲﾙ ﾀｲﾌﾟ | イメージデータのファイル形式を選びたいとき。<br>1:TIFF、2:PDF | 2:PDF |

# 設定のしかた（例）

## ■ ネットワークの設定をしたいとき

本機をネットワークに接続するときは、下記の手順でネットワークのアドレスなどを設定します。
「22 DHCP ｷﾉｳ」の設定が「2: ｱﾘ」の場合は、設定の必要がありません。ネットワークのアドレス詳細は、ネットワーク管理者にご相談ください。本機能の設定には、キーオペレーター専用のパスワードが必要です。ネットワーク設定については、事前の予備知識が必要です。手順上で出てくる表示の意味が分からない方は、ネットワーク管理者へ設定をお願いしてください。ネットワーク管理者がおられないときは、サービス実施会社へご依頼ください。

**1**

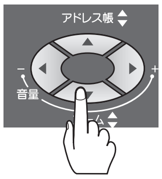


①コピー機能を選択する

② ファンクション

**2**

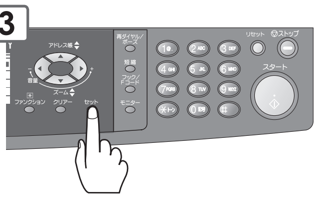
```
ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ   (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ  ﾏﾀﾊ V Λ
```



または

1: ｷｮｳﾂｳ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ

**3**



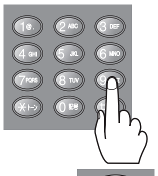
セット

→ **4**

**4**

```
ｷｮｳﾂｳ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ (0-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ■ ﾏﾀﾊ V Λ
```

または

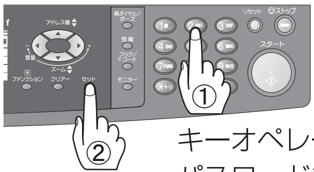


09 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰｾﾝﾖｳ

のみ

**5**

```
09 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｾﾝﾖｳ
  _■■
```



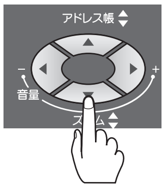
② セット

キーオペレーター用のパスワードを入力する（3 桁）

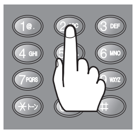
→ **6**

**6**

```
ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰｾﾝﾖｳ(00-32)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ■ ﾏﾀﾊ V Λ
```



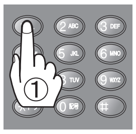
または



22 DHCP ｷﾉｳ

**7**

```
22 DHCP ｷﾉｳ
 2:ｱﾘ
```

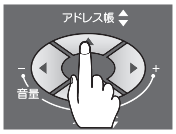


セット

1: ﾅｼ

**8**

"19 TCP/IP ｱﾄﾞﾚｽ" を選択



▲（4 回押す）

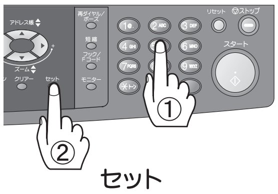
→ **9**

**9**

```
19 TCP/IP ｱﾄﾞﾚｽ
■
```

➡

```
19 TCP/IP ｱﾄﾞﾚｽ
192.168.1.100■
```



セット

TCP/IP ｱﾄﾞﾚｽを入力する
**例：** 192.168.1.100
"." を入力するときは "＊" を押す
1 → 9 → 2 → ＊ → 1 → 6 → 8 → ＊ → 1 → ＊ → 1 → 0 → 0

**10**

```
20 TCP/IP ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
■
```

サブネットマスクを手順 **9** と同じ方法で入力する

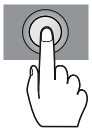
→ **11**

**11**

```
21 TCP/IP G/W ｱﾄﾞﾚｽ
■
```

ゲートウェイアドレスを手順 **9** と同じ方法で入力する

**12** リセット



**13** 本機右側の電源スイッチを「OFF」「ON」する

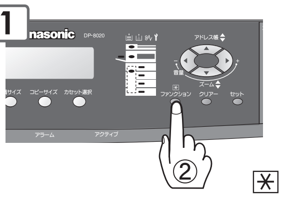
本体管理編

# 設定のしかた（例）

## ■ 部門カウンター管理機能を設定したいとき

部門ごとの暗証番号（ユーザーコード）の登録・管理や部門ごとのコピー枚数の管理ができます。（最大 300 部門）
本機能の設定には、キーオペレーター専用の暗証番号入力が必要です。
部門カウンターをご使用になるときは、別途サービス設定が必要です。サービス実施会社へご依頼ください。

**1**



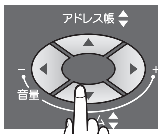
① コピー機能を選択する

ファンクション

**2** ネットワークの設定をしたいとき（☞ 89 ページ）の手順 2 ～ 5 を設定する

**3**

```
キーオペ レーターセンヨウ(00-32)
バ ンゴ ウヲ イレル   マタハ V Λ
```



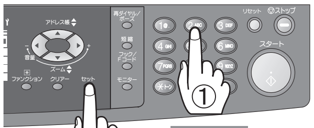
または

13 ブ モンカウンターモード

→ **4**

**4**

```
13 ブ モン カウンター モード
 1:トータル カウンター
```



セット

2: ブ モンベ ツカウンター

**5**

```
ユーザ ーベ ツ カンリ (1-300)
バ ンゴ ウヲ イレル   マタハ V Λ
```

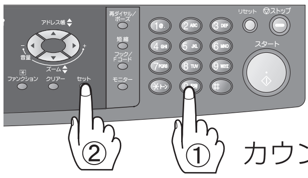
セット

部門番号を入力（1-300）
3 桁を入力したときは セット を押さない

→ **6**

**6** **部門カウント値**

```
ブ モンベ ツ カウンター
001      12345
```

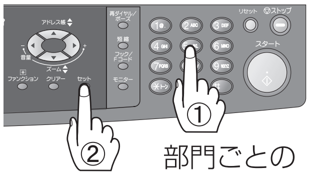


セット

カウント値を“0”にする

**部門制限値**

```
サイダ イ ブ スウ
001 12345678
```

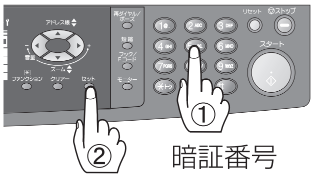


セット

部門ごとの制限枚数（8 桁）

**暗証番号**

```
アンショウ バ ンゴ ウ
001 12345678
```



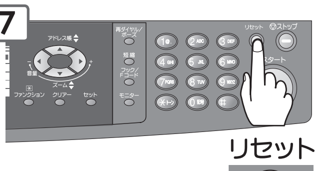
セット

暗証番号（1 ～ 8 桁）

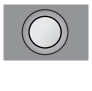
→ **7**

続けて設定するときは、手順 6 を繰り返します。
または、▼ ▲ で部門番号を選んでから手順 6 を繰り返します。

**7**



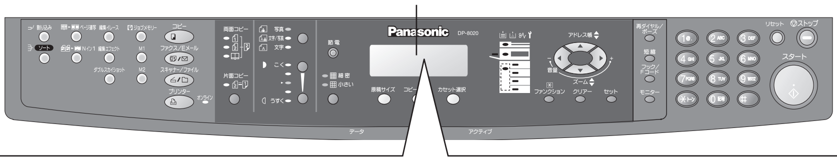
リセット



# 印刷ができないとき／異常と思われるとき

## 異常／エラー表示一覧

液晶ディスプレイ



| メッセージ | 処置内容 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 給紙カセットまたは手差しトレイに用紙を補給する、またはカセットをきちんと閉じてください。 | 92 |
| ﾄﾅｰ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ | 新しいトナーボトルと交換してください。 | 94 |
| ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｽ | 新しいトナーボトルを準備してください。 | 94 |
| ﾊｲﾄﾅｰ ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 新しい廃トナーボックスと交換してください。 | 94 |
| ｶﾐｼﾞﾏﾘｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ J## | 紙づまりを取り除き、メッセージが消えていることを確認してください。 | 96 |
| U## | 下記の表にしたがい処置してください。 | 下表 |
| E#-## | 電源を OFF、ON してメッセージが消えないときは、サービス実施会社へご連絡ください。 | — |
| ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ | 部門別に設定された暗証番号を入れてください。<br>・暗証番号は、キーオペレーターにお問い合わせください。 | 18 |

● 用紙を補給する、または給紙カセットをきちんと閉じても「ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示されている場合は、紙づまりやカバーが開いているなどの異常がないか確認してください。

### ■「U##」エラーコード

| コード | 内　容 |
|---|---|
| U01 | 前／左カバーが開いている |
| U07 | 給紙（フィード）カバーが開いている |
| U13 | トナーが少ないか、ない |
| U14 | 廃トナーボックスが満杯 |
| U15 | 廃トナーボックスが正しくセットされていない |
| U16 | 現像ユニットが正しく装着されていない（サービス実施会社へご連絡ください） |
| U20 | ADF の送信ドアが開いている |
| U21 | 原稿給紙中に ADF が開かれた |
| U22 | i-ADF の排紙カバーが開いている |
| U25 | トナーボトル内のトナーが固まっている。トナーボトルを外し、よく振る |
| U90 | 日付・時刻表示用電池の残量が少ない（☞ 100 ページ） |

### ■「J##」エラーコード

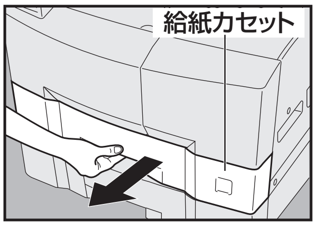
| コード | 紙づまり位置（目安） |
|---|---|
| J00 | 手差しトレイ（用紙を引き抜き、前カバーを開け・閉めする） |
| J01, J02 ～ J04, J07 ～ J09, J12 ～ J14, J22 ～ J24, J90 | 給紙カセット |
| J19, J30 ～ J33, J45, J46, J48, J82, J85, J87, J90, J95* | 本機内部（＊ J95：給紙カセットの設定サイズと用紙サイズを確認する） |
| J70 ～ J73, J76, J78, J79, J92, J93 | ADF（自動原稿送り装置）、i-ADF（両面自動原稿送り装置） |

● 紙づまりは、複数位置で発生している場合もありますので、紙づまりを取り除いた後にエラーメッセージおよび、エラーコード表示が消えていることを確認してください。

# 用紙がないとき

## ■ 給紙カセット

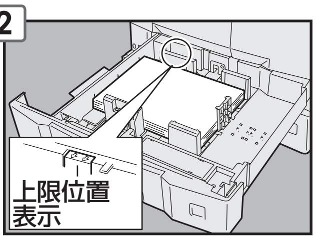
1 給紙カセット（1 〜 4：2 〜 4 はオプション）
下記手順は、本体のカセット（カセット 1）ですが、オプション装着時のカセット（2 〜 4）も同じ手順です。




お知らせ

- “ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ” というメッセージが表示されているときは、用紙がないか給紙カセットがしっかりと閉じていない場合があります。用紙を補給するか、給紙カセットをしっかりと閉じてください。

2

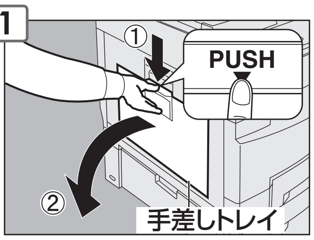



用紙をセット：印刷面上向き
用紙厚さ　：60 〜 90g/m$^2$
（両面印刷時：64 〜 90g/m$^2$）
容量　　　：550 枚（75g/m$^2$）

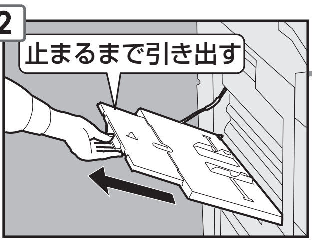
## ■ 手差しトレイ

コピーサイズの用紙が給紙カセットにないとき、または、ラベル、OHP フィルム、光沢紙などの特殊な用紙にコピーするとき

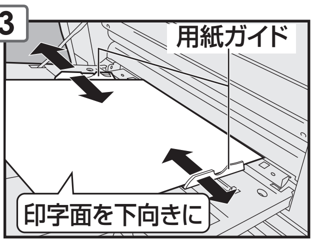
1




2



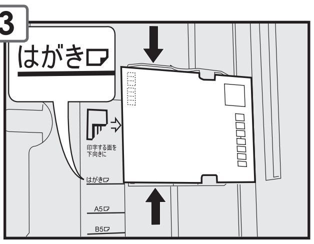

3




用紙ガイドを用紙幅に正しくセットする。
正しくセットしないとカールや紙づまりの原因になります。

はがきにコピーするとき

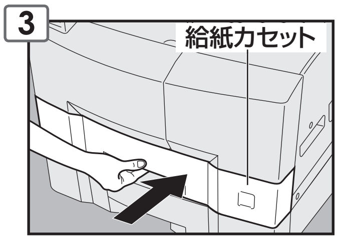
3




用紙ガイドをはがき幅に合わせる。

お願い

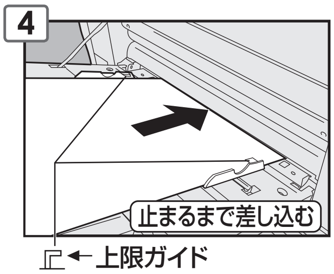
- 熱転写で印字された裏紙は、使用しないでください。
- 折り目やしわ、カールした用紙は、使用しないでください。
- 残った用紙は、必ず、袋に入れ、口を閉じて保管してください。
そのまま放置するとカールや紙づまり、紙しわ、画質低下の原因となります。



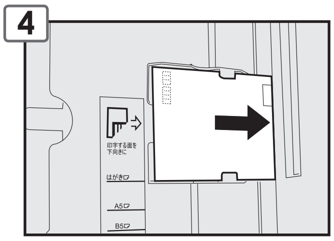
確実に給紙カセットを閉じる

お知らせ

- 用紙ガイドを紙のサイズに正しく合わせないと紙づまりの原因となります。(☞ 32 ページ)
- 用紙サイズを変更するとき。(☞ 32 ページ)
- 用紙の量は、用紙上限位置表示以下までです。
- 給紙カセットに用紙を継ぎ足すときは、紙づまりを少なくするため、残っている用紙を取り出し、新しい用紙と合わせ、よくさばいてからセットしてください。



(上限ガイドまで)
用紙厚さ：55 ～ 133g/m²
容量　　：50 枚（75g/m²)、10 枚（ラベル、OHP フィルム、光沢紙などの特殊な用紙)、5 枚（はがき）



止まるまで差し込む。
(最大 5 枚まで)

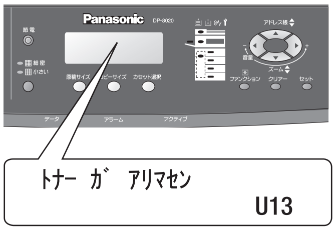
お知らせ

- 用紙については「用紙について」(☞ 104 ～ 106 ページ）を参照してください。

困ったときには

# トナーがないとき

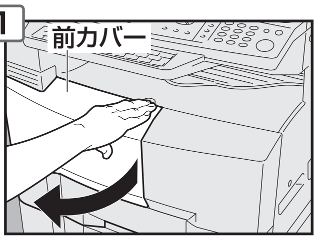
## ■ トナーボトル／廃トナーボックスを交換する



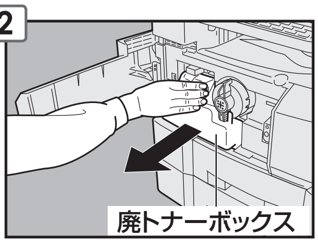

**お願い**

- 印刷品質に悪影響が生じますので、当社指定のトナーボトルを使用してください。
トナーボトルは、暗い涼しい場所に保管してください。
- 廃トナーボックス内のトナーは使用しないでください。

1

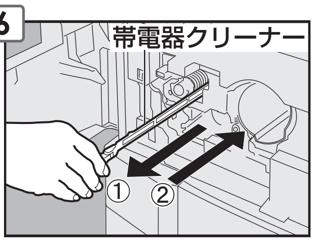



2



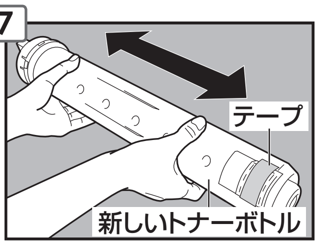

はずした廃トナーボックスは、中の廃トナーがこぼれないように廃トナー回収口を上に向けて静かに置く。

6



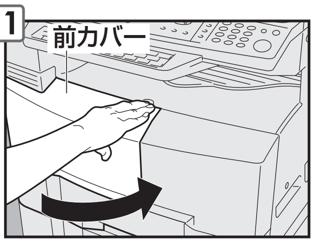

帯電器クリーナーを３～４回前後させ、クリーナーつまみを元の位置に戻す。

7

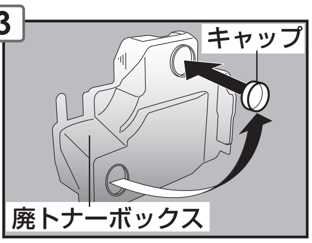



よく振り、中のトナーをほぐしてから、テープをはがす。

11



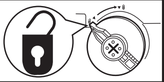
3



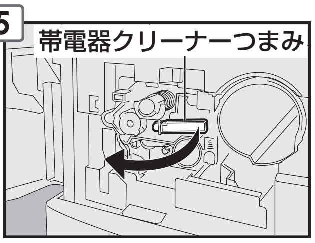

新品と交換するときはキャップをする。

4

解除するとき

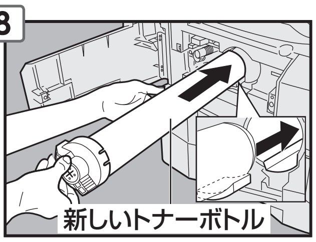


5

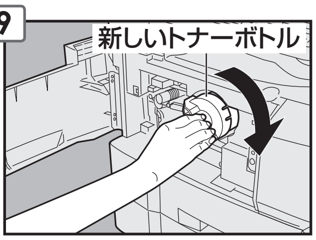


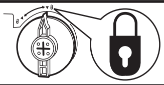

6

8



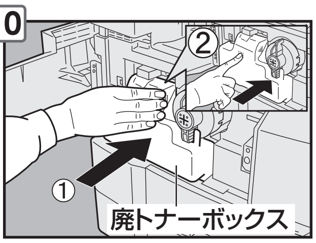

9



固定するとき

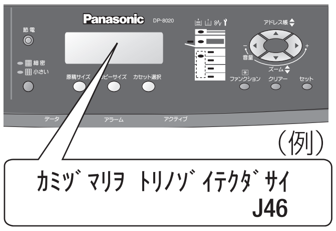
10

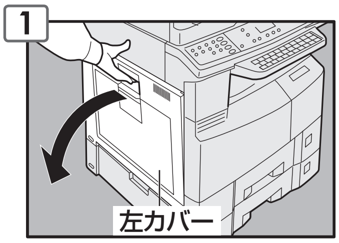


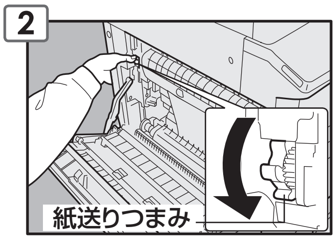

11

# 紙づまりのとき

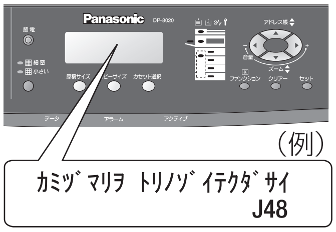
## ■紙づまりを取り除く（排紙部）（J46）

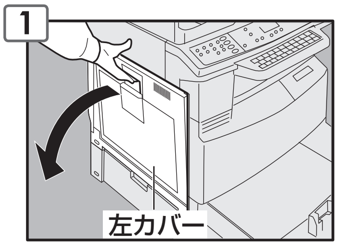


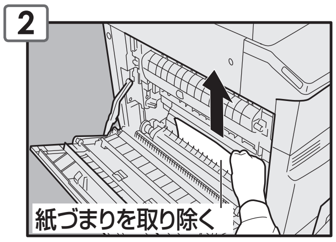




## ■紙づまりを取り除く（搬送部、定着部）（J01, J30, J31, J33, J45, J48, J95）



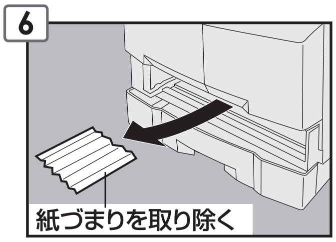



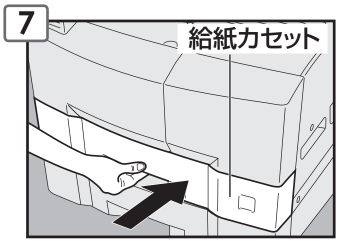

**お 願 い**

- ドラムを傷つけたり、表面を手で触らないでください。
  ドラムに直射日光や明るい光を当てないでください。

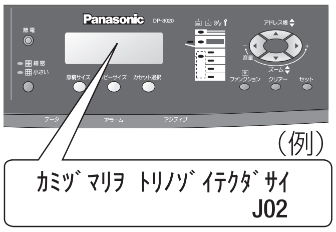
**お知らせ**

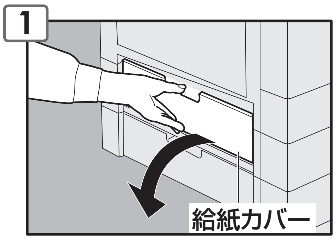
- 紙づまり処理中に、給紙カセットへの用紙補給表示が出ることがありますが、すべての紙づまり処置が終了した時点で、表示は出なくなります。



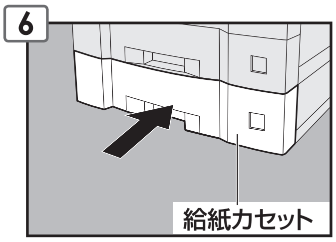

## ■紙づまりを取り除く（オプション：第 2/3/4 段目給紙カセット部）（J02, J03, J04, J07, J08, J09, J12, J13, J14, J22, J23, J24）

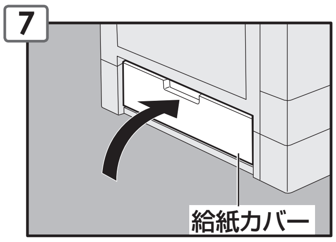


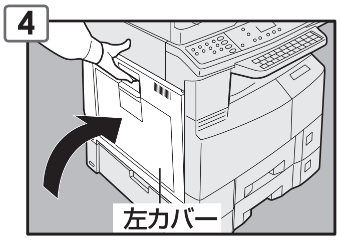



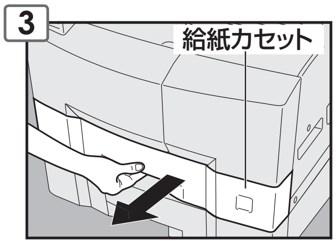
**お知らせ**

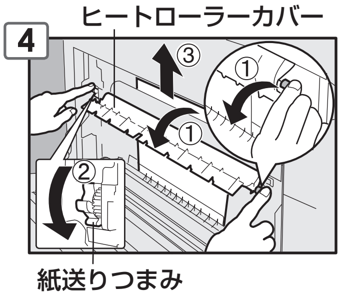
- 紙づまり処理中に、給紙カセットへの用紙補給表示が出ることがありますが、すべての紙づまり処置が終了した時点で、表示は出なくなります。

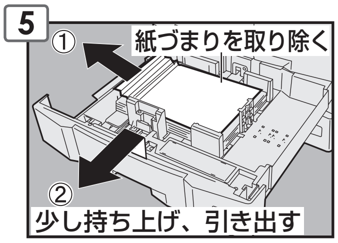


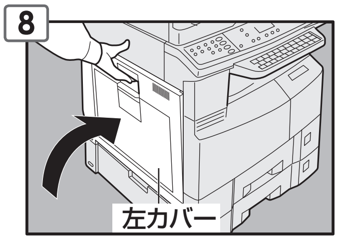


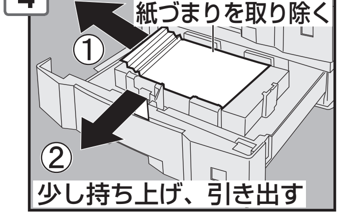

→ 6

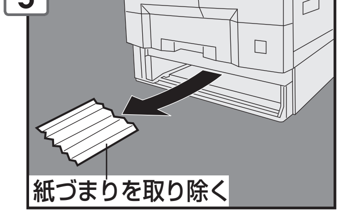



| | |
|---|---|
| ⚠注意 | 火傷の恐れあり<br>高温部に手を<br>触れないでください |

お知らせ

- ヒートローラー部近辺は高温になっていますので火傷に注意願います。



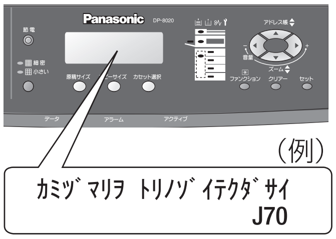



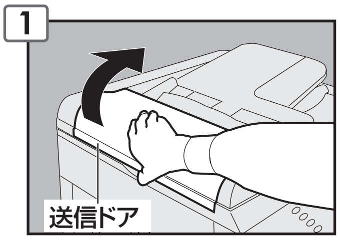

→ 6

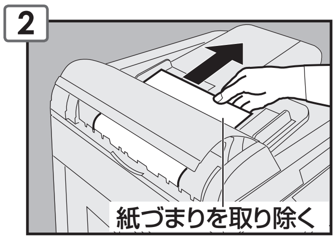
困ったときには

# 紙づまりのとき

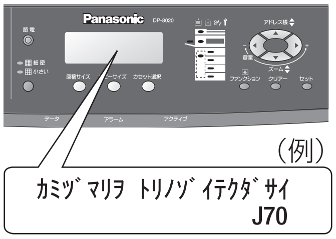
## ■紙づまりを取り除く（ADF：オプション）（J70, J71, J79, J92, J93）

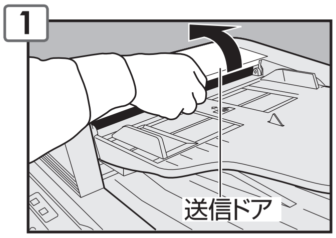


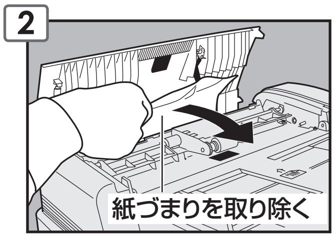



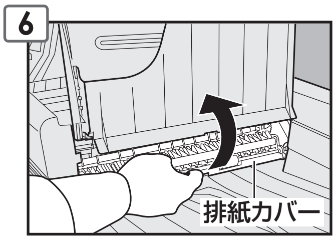



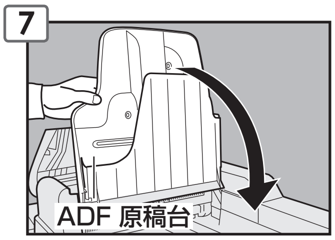

## ■紙づまりを取り除く（i-ADF：DP-8020VA は標準装備、DP-8020P はオプション）（J70, J71, J72, J73, J76, J78, J79, J92, J93）



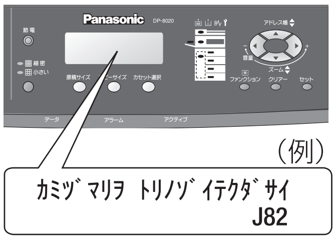



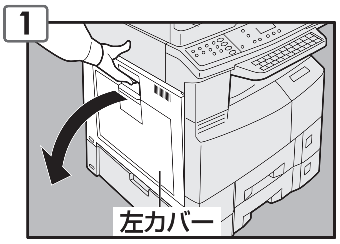



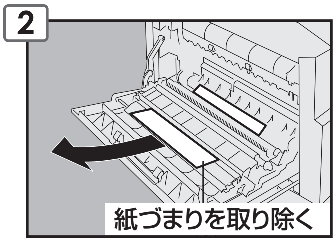



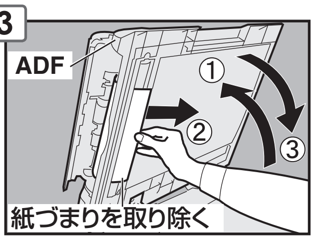



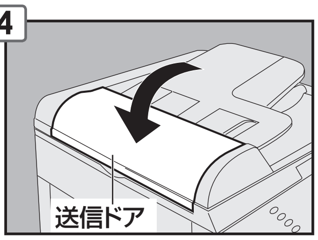

## ■紙づまりを取り除く（J19, J32, J82, J85, J87：自動両面部）

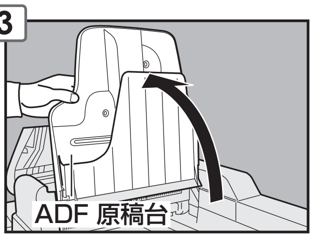


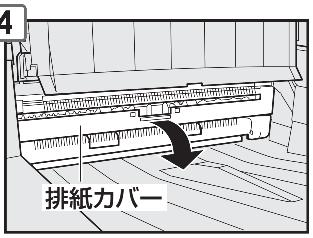



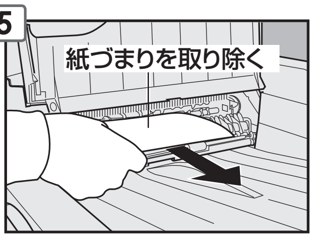



3


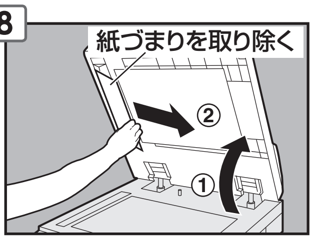

4


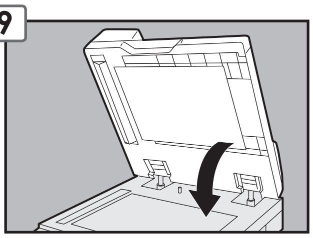

3


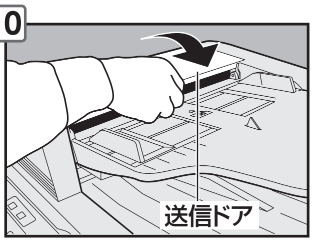

4


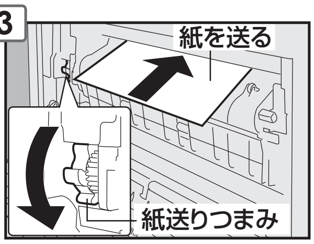

5


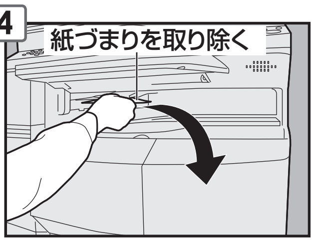

6

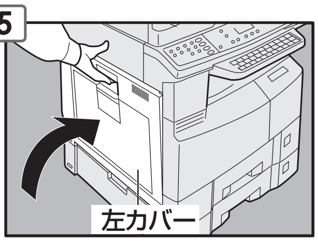
8



9


10



3



4



5


## 印刷ができないとき／異常と思われるとき

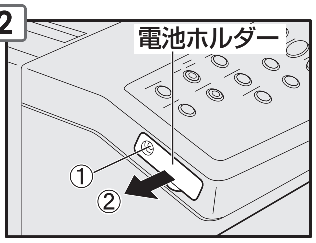
# 電池交換／日付・時刻表示の調整が必要なとき

本機は日付・時刻表示用電池の残量が少なくなると液晶ディスプレイに交換要求メッセージと“U90”エラーが表示されます。
以降の手順で電池を交換してください。

```
ﾃﾞﾝﾁｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
                U90
```

**1** 本機右側の電源スイッチを「OFF」にする。

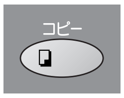
**2**



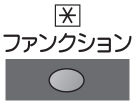

①ビス（1 本）を取り外す。
②電池ホルダーを引き抜く。

**日付・時刻表示のみを調整するときは、手順 6 ～ 13 を行ってください。**

**6**

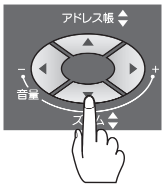



コピー機能以外が選択されているとき

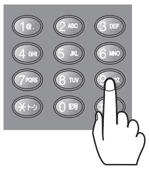



**9**

```
ｷｮｳﾂｳ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ (0-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ■ ﾏﾀﾊ V Λ
```




または

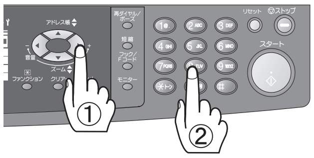


09 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｾﾝﾖｳ

※「9」のみ入力する。

**12**

```
17 ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
   2008-01-01 00:01
```

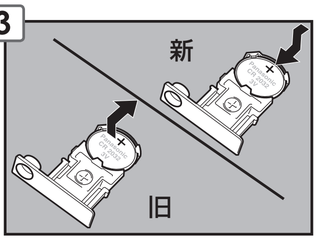



カーソル（■）を年／月／日／時刻の下に移動し、テンキーで変更する。
（時刻は、24 時間表示です）

**お知らせ**

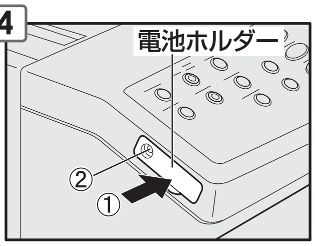
- 電池の寿命は、本機の電源が切れた状態で約 1 年です。

**3**




電池の＋極側を上面にして取り付けてください。

**4**



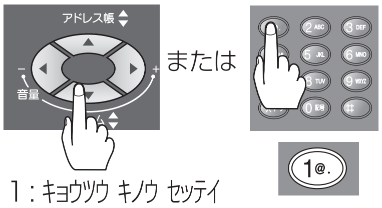

①電池ホルダーを取り付ける。
②ビス（1 本）を取り付ける。

**5** 本機右側の電源スイッチを「ON」にする

**6**

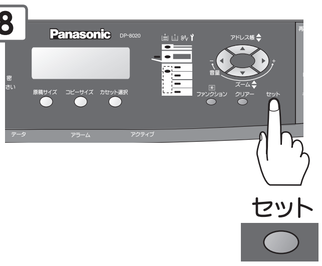
**7**

キノウ セッテイ モード　(1-2)
バンゴウヲ イレル　マタハ V Λ




1：キョウツウ キノウ セッテイ

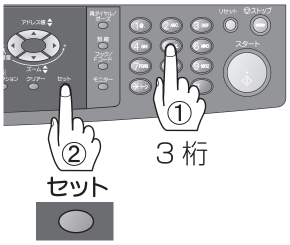
**8**




**9**

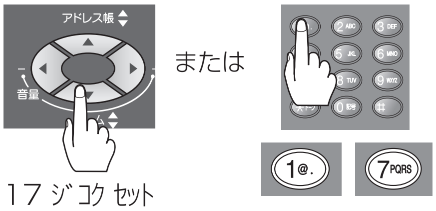
**10**

09 キーオペレーター センヨウ
_▮▮




**11**

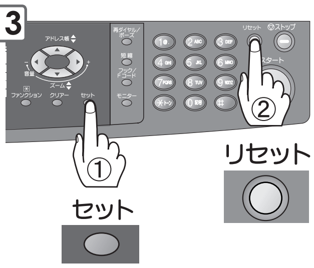
キーオペレーターセンヨウ(00-32)
バンゴウヲ イレル▮ マタハ V Λ




17 ジコク セット

**12**

**13**




困ったときには

# 異常と思われるとき

**機械の不具合点や操作上の指示は、コントロールパネルの液晶ディスプレイに表示されます。メッセージをよく確認のうえ、適切に処置してください。**

## 機械が動作しない

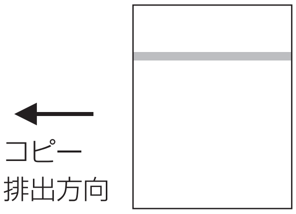
| | (はい) | 〈 処 置 〉 |
|---|---|---|
| コントロールパネル上の［節 電］のランプが点灯または点滅しているか | → | ［節 電］を押してください。 |
| ↓（いいえ） | | |
| 液晶ディスプレイに何も表示されない | → | 電源スイッチおよび電源プラグを確認してください。 |
| ↓ | | |
| 液晶ディスプレイ上に U## 表示およびメッセージが出ているか | → | メッセージにしたがって処置してください。(☞ 91 ページ) |
| ↓ | | |
| 液晶ディスプレイに用紙補給メッセージが出ているか | → | 用紙を補給してください。(☞ 92 ページ) |
| ↓ | | |
| 液晶ディスプレイに紙づまりメッセージが出ているか | → | 紙づまりを取り除いてください。(☞ 91、96 ページ) |
| ↓ | | |
| 液晶ディスプレイに「E#-##」表示およびメッセージが出ているか | → | 電源スイッチ（右側面）を「OFF」、「ON」する。表示やメッセージが消えないときは、数字を確認（メモ）して電源スイッチを切り（または電源プラグを抜いて）サービス実施会社へご連絡ください。 |
| ↓ | | |
| コピーモード設定時に機械がロックし、次の操作を受け付けないままとなっている | → | 電源スイッチ（右側面）を「OFF」、「ON」してください。 |

## コピーがうすい

| | (はい) | 〈 処 置 〉 |
|---|---|---|
| 読み取り濃度表示が「うすい」方になっていないか | → | ［読み取り濃度調整］で「こく」の方にしてください。(☞ 45 ページ) |
| ↓（いいえ） | | |
| 濃い原稿を多量にコピーしませんでしたか | → | 手動でトナー補給を 1 回行ってください。(☞ 82 ページ) |
| ↓ | | |
| 液晶ディスプレイにトナー補給メッセージが出ているか | → | トナーボトルを交換してください。(☞ 94 ページ) |

### 汚れたコピーがでる

| | （はい） | 〈 処 置 〉 |
|---|---|---|
| 原稿台ガラスまたは、ADF の原稿押えが汚れていないか | ➡ | 清掃してください。<br>（☞ 107 ページ） |
| ⇩（いいえ） | | |
| OHP シート、第 2 原図など透明度の高い原稿をコピーしているか | ➡ | 原稿を白紙でカバーしてコピーしてください。 |
| ⇩ | | |
| コピーの排出方向に 2 ～ 3cm 幅で汚れがついていないか | ➡ | ① 帯電器クリーナーで帯電器のワイヤーを清掃してください。<br>（☞ 95 ページ手順 5、94 ページ手順 6）<br>② コピーをチェックしてください。<br>もし、汚れが残っていたら上記の清掃を再度行ってください。 |




● 以上の点検を行っても症状がなおらないときは、サービス実施会社へ連絡ください。

困ったときには

# 用紙について

## ■ 用紙についてのお願い

良好なコピー / プリントをおとりいただくため、下記の表に合った用紙をご使用ください。（詳細は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。）

| 用紙種別 | 用紙サイズ | 給紙カセット | 手差しトレイ | 増設給紙ユニット（オプション） | 両面プリント |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通紙 | A3 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | B4 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | A4 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | B5 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | A5 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | レジャー | ○ | ○ * | ○ | ○ |
| | レター | ○ | ○ * | ○ | ○ |
| | リーガル | ○ | ○ * | ○ | ○ |
| | インボイス | ○ | ○ * | ○ | ○ |
| | FLS1 | ○ | ○ * | ○ | ○ |
| | FLS2 | ○ | ○ * | ○ | ○ |
| 厚紙 | A3 | × | ○ | × | × |
| | B4 | × | ○ | × | × |
| | A4 | × | ○ | × | × |
| | B5 | × | ○ | × | × |
| | A5 | × | ○ | × | × |
| | レジャー | × | ○ * | × | × |
| | レター | × | ○ * | × | × |
| | リーガル | × | ○ * | × | × |
| | インボイス | × | ○ * | × | × |
| | FLS1 | × | ○ * | × | × |
| | FLS2 | × | ○ * | × | × |
| OHP | レター | × | ○ * | × | × |
| | A4 | × | ○ | × | × |
| ラベル紙 | レター | × | ○ * | × | × |
| | A4 | × | ○ | × | × |
| はがき | はがき | × | ○ | × | × |
| 封筒 | 長形３号 | × | ○ | × | × |

*：プリンター時のみ使用できます。

## ■ 用紙重量・容量について

| | 用紙種別 | 給紙カセット | 手差しトレイ | 増設給紙ユニット（オプション） | 両面プリント |
|---|---|---|---|---|---|
| 用紙重量 | 普通紙 | 60 ～ 90g/$m^2$ | 55 ～ 90 g/$m^2$ | 60 ～ 90g/$m^2$ | 64 ～ 90g/$m^2$ |
| | 厚紙 | × | 91 ～ 133 g/$m^2$ | × | × |
| 用紙容量 | 普通紙（75 g/$m^2$） | 550 枚 | 50 枚 | 550 枚 | 550 枚 |
| | OHP | × | 10 枚 | × | × |
| | ラベル紙 | × | 10 枚 | × | × |
| | はがき | × | 5 枚 | × | × |
| | 封筒 | × | 5 枚 | × | × |

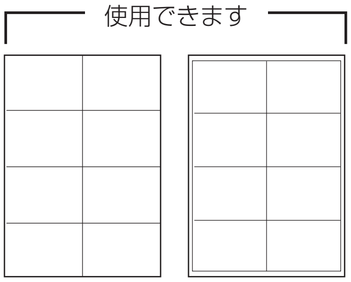
## ■ OHP・ラベル紙について

印刷専用の OHP やラベル紙にも印刷できます。以下のタイプのシートの使用をおすすめします。

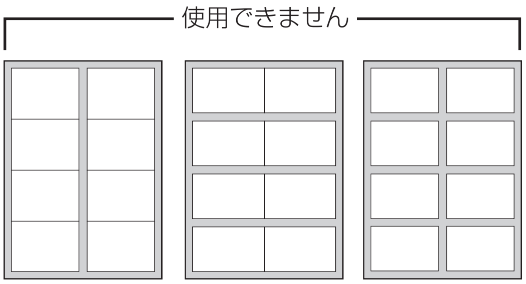
| 用紙種別 | 用紙サイズ | 推奨品 品番 |
|---|---|---|
| OHP | レター /A4 | 3M PP2500 |

- ●インクジェットプリント用の OHP は使用しないでください。
- ●一度プリンターを通した OHP を再度使用しないでください。

注：ラベル紙の場合、各ラベルが以下のように隙間なく台紙に貼られているものを使用してください。




各ラベルがすき間なく台紙を
覆っているもの




すき間から台紙が見えるもの

# 用紙について

## ■封筒について

封筒にコピー / プリントする場合は、以下の内容に合ったものをご使用ください。
また、試しコピー / プリントをして、問題のないことを確認してからご使用ください。

- 薄く、しっかりと折り目を付けられたもの
- 用紙重量が 80 g/$m^2$ までのもの
- 平らで、カール、しわ、刻み目などがないもの

次のような封筒は用紙づまりや印刷品質に関わる問題を起こす可能性がありますので、おすすめできません。

- 不定形サイズの封筒
- カール、しわ、刻み目、ねじれ、折れ曲がりなどの傷がある封筒
- 側面で継ぎ合わせられた（糊付けされた）封筒
- 特殊な用紙による封筒（表面に凹凸のあるもの、光沢のあるものなど）
- 封緘用のシールが付いた封筒
- のりの付いた封筒
- 膨れた封筒、または折り目のない封筒
- エンボス加工がされた封筒
- 以前にレーザープリンターで印刷された封筒
- 以前に内側に印刷された封筒

次のような封筒は本機を破損させるおそれがありますので、使用しないでください。

- 締め金などが付いた封筒
- 透明窓を備えた封筒
- 0.1 秒間 200℃の環境に耐えられない封筒（溶ける、変色する、こげるなど）
- 圧力を加えることで溶け出すおそれのある接着剤を使用した封筒

**最良の印刷結果を得るために**

- 高い湿度の中で印刷しないようにしてください。
  高い湿度は封筒がカールする原因となります。また、定着前のトナーがこすれて、汚れる場合があります。
  高い湿度は封筒ののりが溶け出すこともあります。
- 封筒の保管場所に注意してください。
  水平に置くことができ、変形を避けることができる場所で、湿気を避けて保管してください。

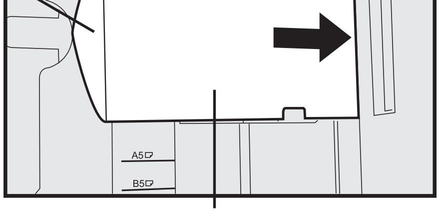
## ●封筒のセット方法

封筒は手差しトレイにセットします。

封筒のフラップ（ふた）は開いて、図のようにセット方向の反対側になるように置いてください。

**お願い**

のり付きの封筒は使用しないでください。



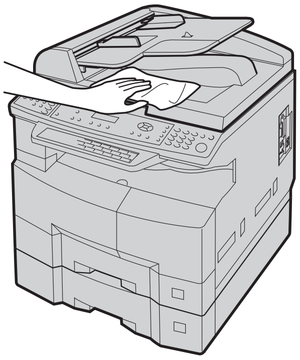

プリントする面を下向きにセットします。

# 日常のお手入れ

快適にご使用いただくために、本機をいつもきれいにしておいてください。

## ■ 本体のお手入れ

柔らかい布にうすめた台所用洗剤を含ませてよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、からぶきをしてください。



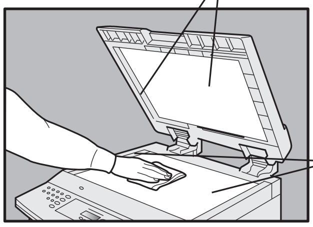
お 願 い

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、みがき粉、熱湯、アルコールなどは使わないでください。本体が変色したり、変形することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

## ■ 読取部のお手入れ

相手の方が受信した用紙や、コピーした用紙が黒く汚れてきたら、読取部のお手入れをしてください。

① ADF を開けて、ガラス面、原稿押さえをふきます。



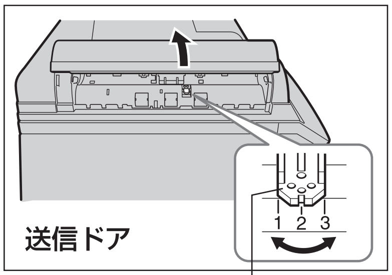

② ADF を確実に閉めます。

お 願 い

- 読取面（ガラス面）に傷をつけないよう、ご注意ください。

## ■ 自動給紙圧の調整（ADF：DA-AS181 のみ）

原稿が繰り込まれなかったときや、重なって繰り込まれるときは、ADF の送信ドアを開けて、自動給紙圧を調整してください。

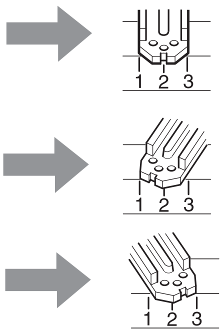



スイッチの位置

標準位置（通常はここにしておきます）

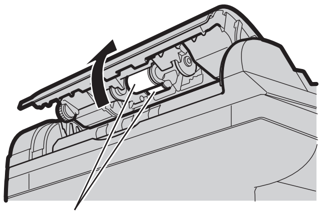
原稿が繰り込まれない

2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれる

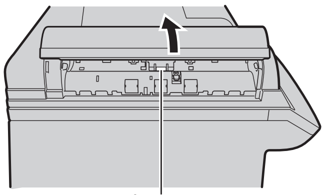



お知らせ

- 給紙圧を調整しても原稿が繰り込まれない場合は、ADF の送信ドアを開け、大小 2 つのローラーを清掃します。ローラーをふくときは、ふいたあとにゴミが残るティッシュペーパーなどは使わないでください。




- 給紙圧を調整しても 2 枚以上の原稿が繰り込まれる場合は、ADF の送信ドアを開け、セパレーターを清掃します。



# ご参考に

## 仕　様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

### ■本体部

| | |
|---|---|
| 形　式 | デスクトップ |
| 原稿台方式 | 固定式 |
| 複写原稿 | シート・ブック（最大 A3） |
| 複写方式 | レーザー電子写真方式 |
| 定着方式 | ヒートローラー定着方式 |
| 現像方式 | 乾式 2 成分現像方式 |
| 解像度 | 600dpi |
| 操作表示方式 | 液晶ディスプレイ |
| 複写サイズ | A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、はがき（はがきは手差しトレイ） |
| 画像欠け幅 | 5.0mm 以内 |
| ウォームアップタイム | 約 30 秒（20℃） |
| ファーストコピー | 約 7 秒（A4、給紙カセット 1 よりコピー時） |
| 連続複写速度 | 20 枚／分（A4） |
| 複写倍率 | 等倍　：1：1<br>拡大　：2.0/1.73/1.63/1.41/1.22/1.15<br>縮小　：0.87/0.82/0.71/0.61/0.58/0.50<br>ズーム：50 ～ 200%（1% 単位） |
| 給紙方式 | 給紙カセット（550 枚 1 段）＋手差しトレイ（50 枚）<br>〈オプション〉<br>給紙ユニット（550 枚× 3 段） |
| 用紙厚 | 給紙カセット：60 ～ 90 g/$m^2$<br>手差しトレイ：55 ～ 133 g/$m^2$<br>両面印刷時　：64 ～ 90 g/$m^2$ |
| 連続複写枚数 | 最大 999 枚（排紙トレイ：250 枚 /A4） |
| 電　源 | AC 100V ± 10V、50/60Hz |
| 消費電力 | 最大 1.3kW |
| 寸法（幅×奥行×高さ）<br>（突起部含まず） | DP-8020VA：約 558 × 660 × 623 mm<br>DP-8020P　：約 558 × 557 × 508 mm |
| 質　量 | DP-8020VA：約 51.5kg（添付品、トナーボトル、現像剤を除く）<br>DP-8020P　：約 43.6kg（添付品、トナーボトル、現像剤を除く） |
| 使用環境 | 温度：10 ～ 30℃　湿度：30 ～ 80%<br>（ただし、30℃のときは湿度 70% 以下、湿度 80% のときは 27℃以下） |

## ■ ADF（DA-AS181）／ i-ADF（DA-AR202）（DP-8020VA：標準装備）

| | |
|---|---|
| 原稿セット枚数 | A4、B5、A5 ：50 枚（75g/m$^2$）<br>A3、B4 ：30 枚（75g/m$^2$） |
| 原稿サイズ | A5/B5/A4/B4/A3 |
| 原稿紙厚 | 50 ～ 110 g/m$^2$ |
| 電　源 | 本体より供給 |
| 寸法（幅×奥行×高さ） | DA-AS181：558 × 501 × 112 mm<br>DA-AR202：552 × 520 × 162 mm |
| 質　量 | DA-AS181：5.0 kg　DA-AR202：9.3 kg |

## ■ ネットワークスキャナーユニット（DA-NS180）（DP-8020VA：標準装備）

| | | |
|---|---|---|
| 読み取り方法 | | CCD イメージセンサー |
| 読み取り速度<br>（転送速度は含まず） | | 20 枚／分（A4） |
| 解像度 | | 普通 150 × 150 dpi、小さい 300×300dpi、細密 600×600dpi<br>（普通：読み取りモードで、文字を選択したときのみ） |
| 最大読み取り領域 | （原稿台ガラス） | A3（297 × 420 mm） |
| | （ADF） | A3（297 × 420 mm） |
| 読み取りモード | | 文字、文字／写真、写真 |
| 読み取り階調 | | 白黒 2 値、256 階調グレースケール |
| 圧縮形式 | | MH、MR、MMR、JBIG（256 階調） |
| ファイル形式 | | TIFF、PDF |
| 宛先指示 | | 有り |
| ポップアップダイアログ表示 | | 有り |
| プロトコル | | LPR、TCP/IP |
| 対応 OS | | Windows 2000 / XP / Windows Server 2003 / Vista |

## ■ 2/3/4 段目増設給紙ユニット（DA-DS190/DS191/DS192）（オプション）

| | |
|---|---|
| 用紙サイズ | A3/B4/A4/A4R/B5/B5R/A5/A5R |
| 給紙カセット | DA-DS190：550 枚給紙カセット× 1 段<br>DA-DS191：550 枚給紙カセット× 2 段<br>DA-DS192：550 枚給紙カセット× 3 段 |
| 用紙厚 | 60 ～ 90 g/m$^2$ |
| 電源 | 本体より供給 |
| 寸法（幅×奥行×高さ） | DA-DS190：558 × 544 × 138 mm<br>DA-DS191：558 × 544 × 263 mm<br>DA-DS192：558 × 544 × 388 mm |
| 質　量 | DA-DS190：約 9.0 kg<br>DA-DS191：約 18.4 kg<br>DA-DS192：約 27.4 kg |

●製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

ご参考に

# オプションと消耗品

本機のオプション・消耗品は以下のものがあります。

## ■オプション

| 品　　名 | 品　番 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 自動原稿送り装置 | DA-AS181 | ADF |
| 両面自動原稿送り装置 | DA-AR202 | i-ADF（DP-8020VA：標準装備<br>DP-8020P：オプション） |
| 第 2 給紙ユニット | DA-DS190 | |
| 第 2/3 給紙ユニット | DA-DS191 | |
| 第 2/3/4 給紙ユニット | DA-DS192 | |
| 1 段用専用台 | DA-DA188 | オプションの給紙ユニット未装備時 |
| 2 段用専用台 | DA-DA189 | オプションの第 2 給紙ユニット装備時 |
| 3 段用専用台 | DA-DA190 | オプションの第 2/3 給紙ユニット装備時 |
| 4 段用専用台 | DA-DA191 | オプションの第 2/3/4 給紙ユニット装備時 |
| メモリーボード（16 MB） | DA-SM16B | 電子ソート用 |
| メモリーボード（64 MB） | DA-SM64B | 電子ソート用 |
| メモリーボード（128 MB） | DA-SM28B | 電子ソート用 |
| 機能拡張ユニット | DA-EM600 | DA-PC820 装着時に使用 |
| PDL ユニット | DA-PC820 | プリンターコントローラー PCL6 用 * |
| ハードディスクユニット | DA-HD18 | メモリーボード（16/64/128MB）の装着が必要 |
| キーボード | DA-KB180 | DP-8020P 用（DP-8020VA は標準装備） |
| ネットワークスキャナーユニット | DA-NS180 | DP-8020P 用（DP-8020VA は標準装備） |
| インターネット FAX ／ E メールユニット | DA-NF180 | DP-8020P 用（DP-8020VA は標準装備） |
| 課金管理ソフトウェア | DA-WA11 | |

*PCL6 は、HP（米国ヒューレットパッカード社）のページプリンター言語です。

## ■消耗品

| 品　　名 | 品　番 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 電池 | CR2032 | ボタン電池 |
| トナー　2,500 枚キット | DQ-KJ2-P | 2,500 枚相当 (*1)（エコパック） |
| トナー　5,000 枚キット | DQ-KJ5-P | 5,000 枚相当 (*1)（エコパック） |
| トナー　10,000 枚キット | DQ-KJ10-P | 10,000 枚相当 (*1)（エコパック） |

（∗1）A4 標準原稿（黒率 6%）を基準としています。
（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

メ　モ

# アフターサービスについて

## ■ 本機ではいつも良好な状態でお使いいただくために、アフターサービス契約もしくはスポット保守サービスのいずれかを結んでいただけます。

**●アフターサービス契約について**

機器を良好に使用していただくために定期的に点検および部品交換をいたします。万一の故障にも迅速に対応いたします。又、通常使用状態の故障は無償で修理いたします。（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

**●スポット保守サービスについて**

保守サービスと感光体・現像剤および消耗品などの供給はお客様の要請に基づき、つど有料でお引き受けするものです。
（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

- 本機の保守契約期間は、ご使用開始日より５年間、または、プリント枚数が 48 万枚のいずれか早く到来する日までです。
- 本機の補修用性能部品の保有期間は、本機製造終了後７年間です。

## ■ 用紙

良好なコピー／プリントをおとりいただくため、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

**ご相談窓口における個人情報のお取り扱い**

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

**お知らせ**

- 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化･消失する場合があります。（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）
- 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
  （This product is designed for use in Japan.
  Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.）

# 索引


### 数字

2 枚／ 4 枚の片面原稿を 1 枚の片面にコピーしたいとき ........ 52

### A

ADF ........ 20, 38, 69
ADF にセットできる原稿 ........ 38
ADF を開けたままコピーしたいとき ........ 60

### I

i-ADF ........ 69

### J

J## ........ 91

### L

LAN 接続用ポート ........ 21

### M

M1/M2 ........ 24

### N

N イン 1 ........ 52
N イン 1 コピー ........ 25

### O

OHP ........ 105

### P

PDL ユニット ........ 69

### S

SADF モード ........ 62

### U

U## ........ 91
USB ポート ........ 21

### あ

アース端子 ........ 22
アイコン、イラスト説明 ........ 4
アクティブランプ ........ 26
アフターサービスについて ........ 112
アラームランプ ........ 26
暗証番号 ........ 18
安全上のご注意 ........ 10

### い

異常と思われるとき ........ 102
イメージリピート ........ 58
イメージを取り込みたいとき ........ 72
印刷ができないとき ........ 91
インターネット FAX ／ E メールユニット ........ 69

### え

液晶ディスプレイ ........ 26
エッジ ........ 56
エラー表示一覧 ........ 91

### お

オートクリアータイム ........ 42
オプション ........ 69, 110
オンラインランプ ........ 26

### か

カーソル ........ 25
回線種別 ........ 28
回線用モジュラージャック ........ 21
解像度 ........ 25
外部電話用モジュラージャック ........ 21
課金管理ソフトウェア ........ 69
画質 ........ 24
カセット選択 ........ 24
片面原稿を両面コピーしたいとき ........ 46
紙づまりのとき ........ 96
換気について ........ 16

### き

キーボード ........ 24, 36, 69
機械が動作しない ........ 102
機器の設置 ........ 27
機能拡張ユニット ........ 69
給紙カセット ........ 20, 30, 92
給紙カバー ........ 22

### く

クリアー ........ 25

### け

警告・注意ラベル ........ 15
警告表示 ........ 26

# 索引


原稿受け ........ 20
原稿ガイド ........ 20
原稿サイズ ........ 24
原稿サイズと同じサイズでコピーしたいとき ... 44
原稿サイズとセット方向 ........ 39, 41
原稿台ガラス ........ 20, 40
原稿台ガラスにセットできる原稿 ........ 40
原稿の読取範囲 ........ 41
原稿をセットする ........ 38

こ

固定または任意倍率でコピーしたいとき ........ 44
コピー ........ 24
コピーがうすい ........ 102
コピーサイズ ........ 24
コピー動作組み合わせ表 ........ 68
コピー部数設定 ........ 43
コンカレントコピー ........ 62
コントロールパネル ........ 20, 24

し

自局登録のしかた ........ 34
自動給紙圧の調整 ........ 107
自動原稿送り装置 ........ 20
終了通知 ........ 66
仕様 ........ 108
消耗品 ........ 110
除湿ヒーターに関するお願い ........ 19
ジョブメモリー ........ 24, 64

す

スカイショットモード ........ 60
スキャナーパラメーター ........ 76
スキャナー／ファイル ........ 24
スタート ........ 25
ストップ ........ 25
スリープ／シャットダウンモード ........ 64

せ

設置場所 ........ 16
節電 ........ 24, 64
節電機能 ........ 18
セツデンモード ........ 64
セット ........ 25
セレクトモード ........ 76
センタリング ........ 58

そ

操作キー ........ 24
送信ドア ........ 22
ソート ........ 25, 58

た

第 2 給紙ユニット ........ 69
第 2/3 給紙ユニット ........ 69
第 2/3/4 給紙ユニット ........ 69
ダイレクト接続 ........ 78
ダブルスカイショット ........ 25, 54

て

データランプ ........ 26
手差しトレイ ........ 22, 31, 92
テンキー ........ 25, 37
電源コード差込口 ........ 22
電源スイッチ ........ 19, 21
電池交換 ........ 100
電池ホルダー ........ 22
伝票モード ........ 60

と

とじ代 ........ 56
トナーがないとき ........ 94
トナーボトル ........ 94
取扱上のお願い ........ 15

に

日常のお手入れ ........ 107
入力モード ........ 36

ね

ネットワークスキャナー ........ 70
ネットワークスキャナーユニット ........ 69
ネットワーク設定についてのお願い ........ 17
ネットワークの設定をしたいとき ........ 89

は

ハードディスクユニット ........ 69
はがき ........ 31
パスワード ........ 19

ひ

ヒータースイッチ ........ 21
左カバー ........ 22

日付・時刻の合わせかた ........................................ 34
日付・時刻表示の調整が必要なとき .............. 100

ふ

ファクス／Ｅメール .............................................. 24
ファンクション ...................................................... 25
ファンクション設定モード .................................. 80
ブック ...................................................................... 56
ブック原稿を両面でコピーしたいとき ............... 50
部門カウンター管理機能を設定したいとき ....... 90
プリンター ............................................................. 24

へ

ページ連写 ........................................................ 24, 54
編集イレース .................................................. 24, 56
編集エフェクト .............................................. 24, 58

ほ

本体のお手入れ .................................................. 107

ま

前カバー ................................................................. 20

め

メモリーカードカバー .......................................... 21
メモリーフル .......................................................... 43
メモリーボード ...................................................... 69

も

文字入力のしかた .................................................. 36

よ

用紙受け ................................................................. 20
用紙がないとき ...................................................... 92
用紙サイズを変更する .......................................... 32
用紙・トナーに関するお願い ............................. 16
用紙について .......................................... 104, 106
用紙をセットする .................................................. 30
汚れたコピーがでる .......................................... 103
余白を付けたいとき .............................................. 56
読み取り濃度調整 .................................................. 24
読取部のお手入れ .............................................. 107

ら

ラベル紙 ............................................................... 105
ランプ表示 ............................................................. 26

り

リセット ................................................................. 25
両面原稿を両面 / 片面コピーしたいとき ........... 46
両面原稿を両面または片面でコピーしたいとき 48
両面コピー ............................................................. 25

わ

割り込み ................................................................. 24
割り込みモード ...................................................... 64

**便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）**

| | | |
|---|---|---|
| お買い上げ日 | 年　　月　　日 | 品番 |
| 販売店名 | 電話（　　）　　― | |
| サービス実施会社名 | 電話（　　）　　― | |

本機の製品情報をホームページで見ることができます。
http://panasonic.co.jp/pcc/

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ドキュメントソリューションズカンパニー

© Panasonic Communications Co., Ltd. 2009

L0408-3079
PJQMC1133ZD
July 2009
Printed in Philippines